

2012年3月期
第2四半期
(2011年4~9月期)
決算アナリスト説明会

 SoftBank

2011年10月28日
ソフトバンク株式会社

免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略およびその他の歴史的事実でないものは、作成時点において入手可能な情報に基づく将来に関する見通しであり、さまざまなリスクおよび不確実性が内在しています。実際の業績は経営環境の変動などにより、これら見通しと大きく異なる可能性があります。

また、本資料に記載されている当社および当社グループ以外の企業などにかかわる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

2010年度から「セグメント情報等の開示に関する会計基準」「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」を適用しています。（以下、当該会計基準等を「新基準」といいます。）

新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示しています。

経理編 4

連結P/L増減分析 5

連結B/S増減分析 16

連結C/F増減分析 26

財務編 31

事業編 53

ブロードバンド・インフラ事業 55

固定通信事業 59

移動体通信事業 63

経理編

ソフトバンク株式会社
経理部長 兼 内部統制室長

君和田 和子

連結P/L增減分析

連結P/L総括

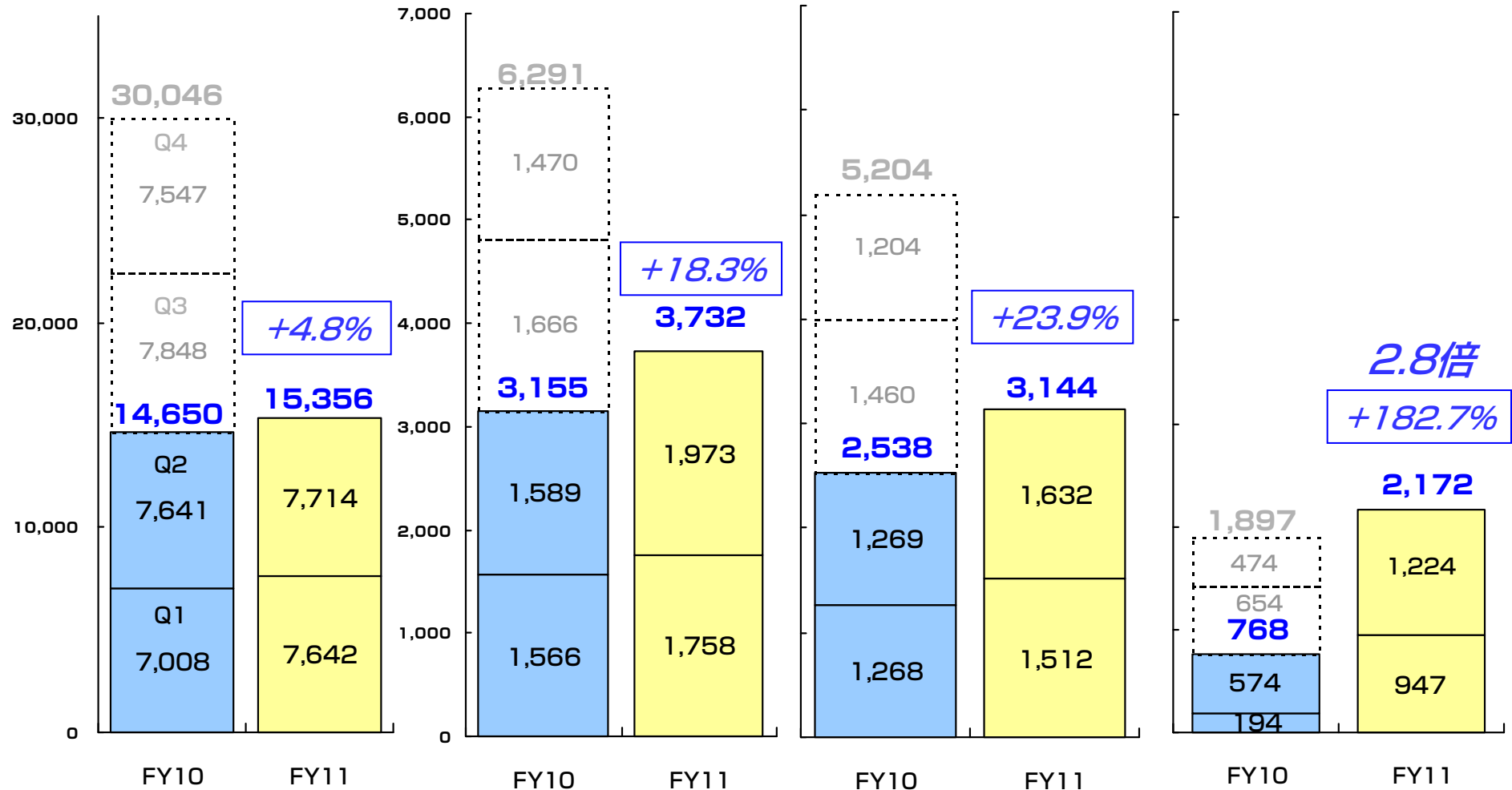
<億円>

売上高

営業利益

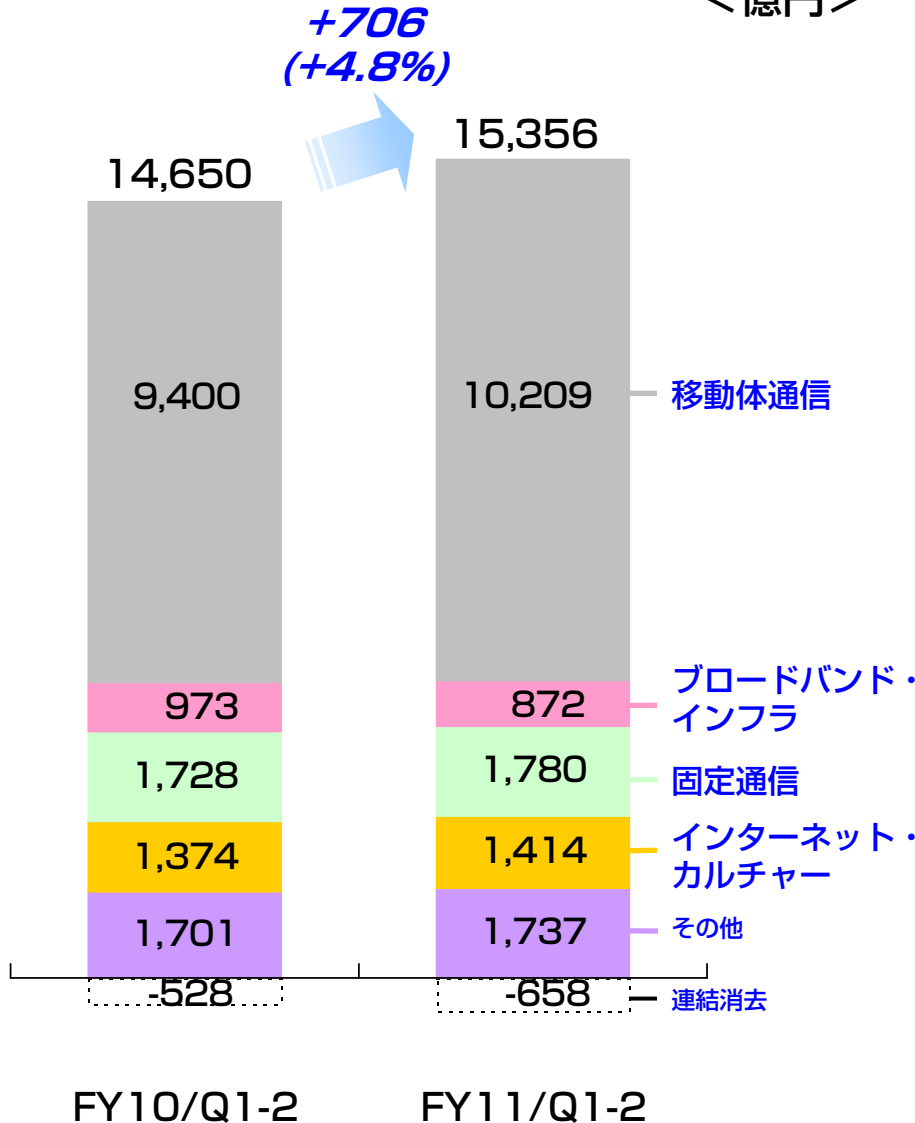
経常利益

当期純利益



連結売上高

<億円>



移動体通信事業 +808億

- 電気通信事業収益の増加 +865億
 - 〔契約数の増加 +911億〕
- 附帯事業収益（携帯電話端末売上等）の減少 ▲57億

ブロードバンド・インフラ事業 ▲101億

- 主な増減要因
 - 〔Yahoo! BB ADSL課金回線数の減少〕
 - 〔ARPUの低い「Yahoo! BB 光 with フレッツ」契約数の増加〕

固定通信事業 +51億

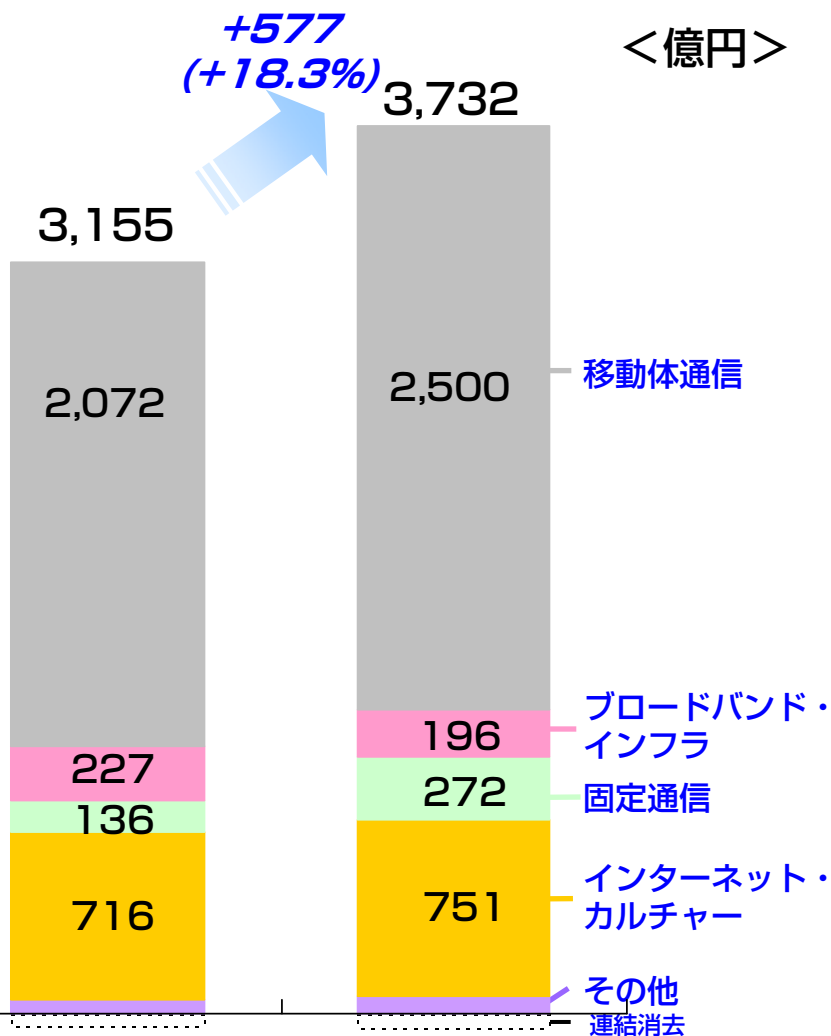
- 主な増減要因
 - 〔SBMなどグループ通信会社へのネットワークの提供による売上の増加(セグメント間の内部売上)〕
 - 〔マイライン売上の減少〕

インターネット・カルチャー事業 +40億

- 主な増減要因
 - 〔リスティング広告、ゲーム関連、情報掲載サービス、Yahoo!ショッピングの売上増加〕

連結営業利益

<億円>



移動体通信事業

+428億

- ・売上高の増加 +808億
 - ・売上原価、販売費及び一般管理費の増加 ▲380億
- (主な増減要因)
- 基地局増設などによる減価償却費の増加
 - 販売台数増加による販売手数料および販売促進費の増加
 - 仕入単価の低い端末比率上昇に伴う商品原価の減少

ブロードバンド・インフラ事業

▲30億

- ・売上高の減少 ▲101億
 - ・売上原価、販売費及び一般管理費の減少 +70億
- (主な増減要因)
- ADSL回線数減少などによる通信サービス回線使用料の減少

固定通信事業

+136億

- ・売上高の増加 +51億
 - ・売上原価、販売費及び一般管理費の減少 +84億
- (主な増減要因)
- 事業者間接続料金の改定に伴う通信設備使用料の減少
 - 販売手数料および販売促進費の減少

インターネット・カルチャー事業

+35億

- ・売上高の増加 +40億

FY10/Q1-2

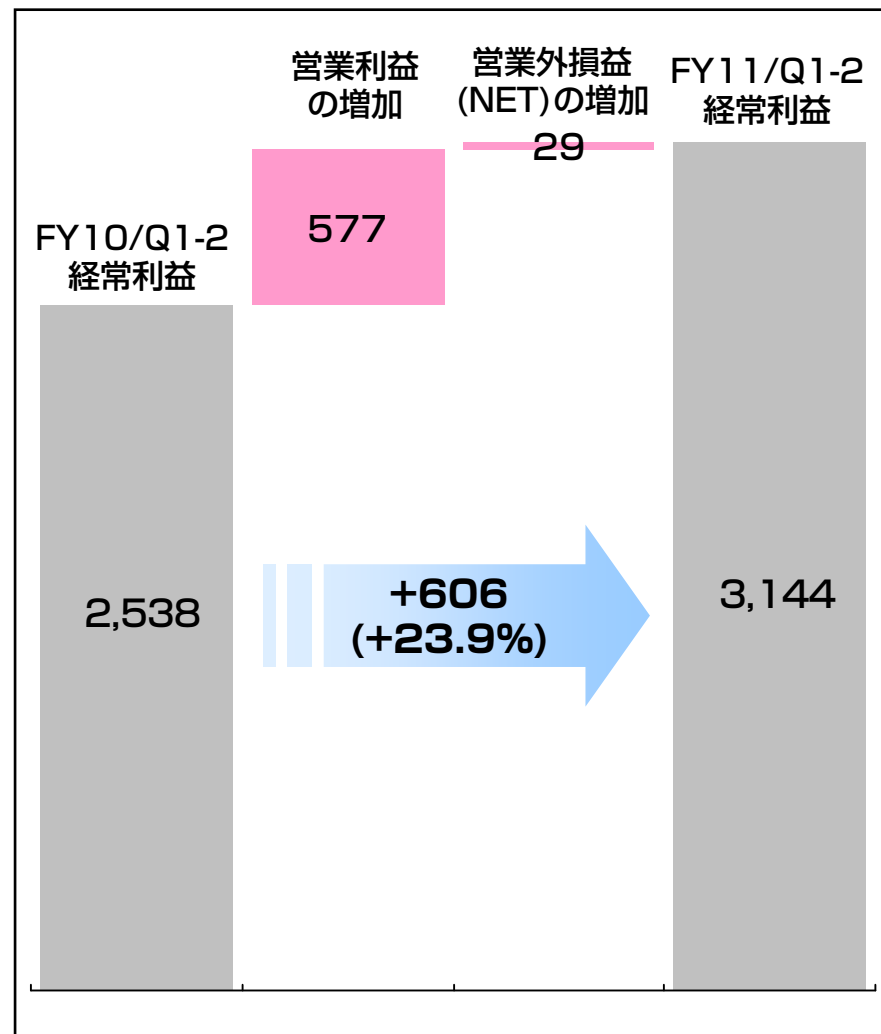
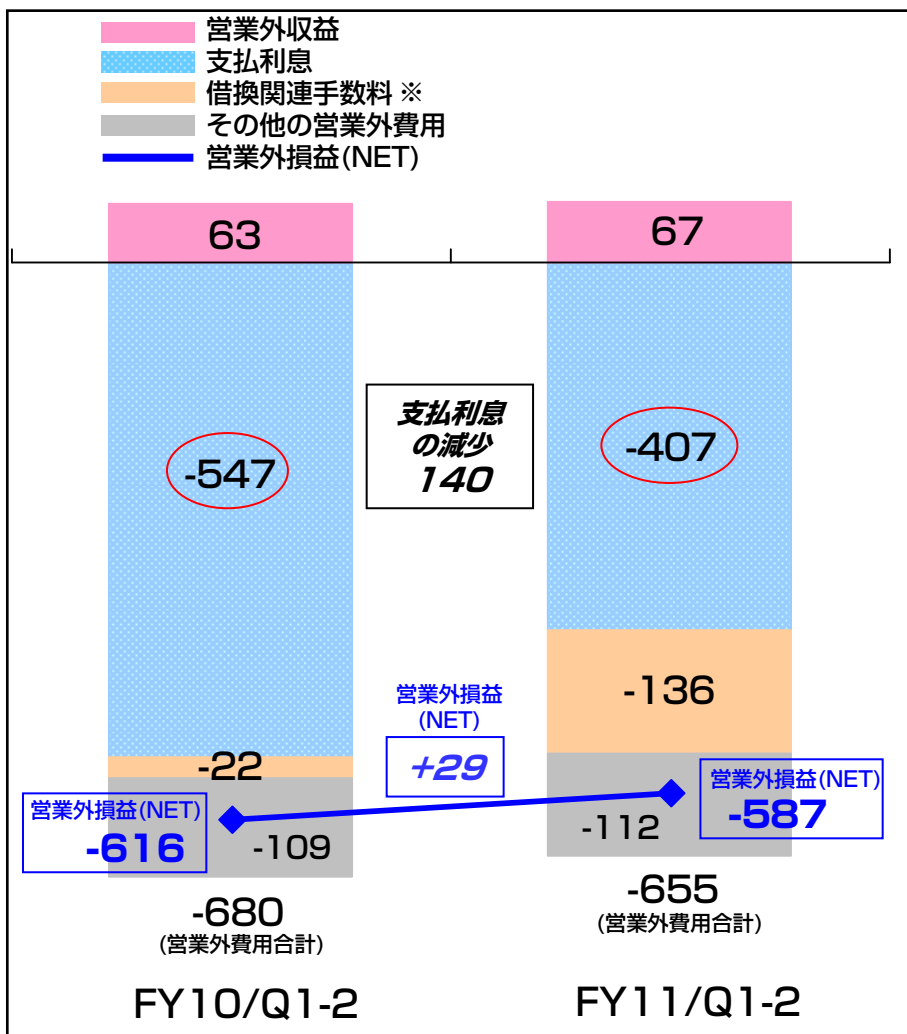
FY11/Q1-2

営業外損益と経常利益

<億円>

営業外損益

経常利益



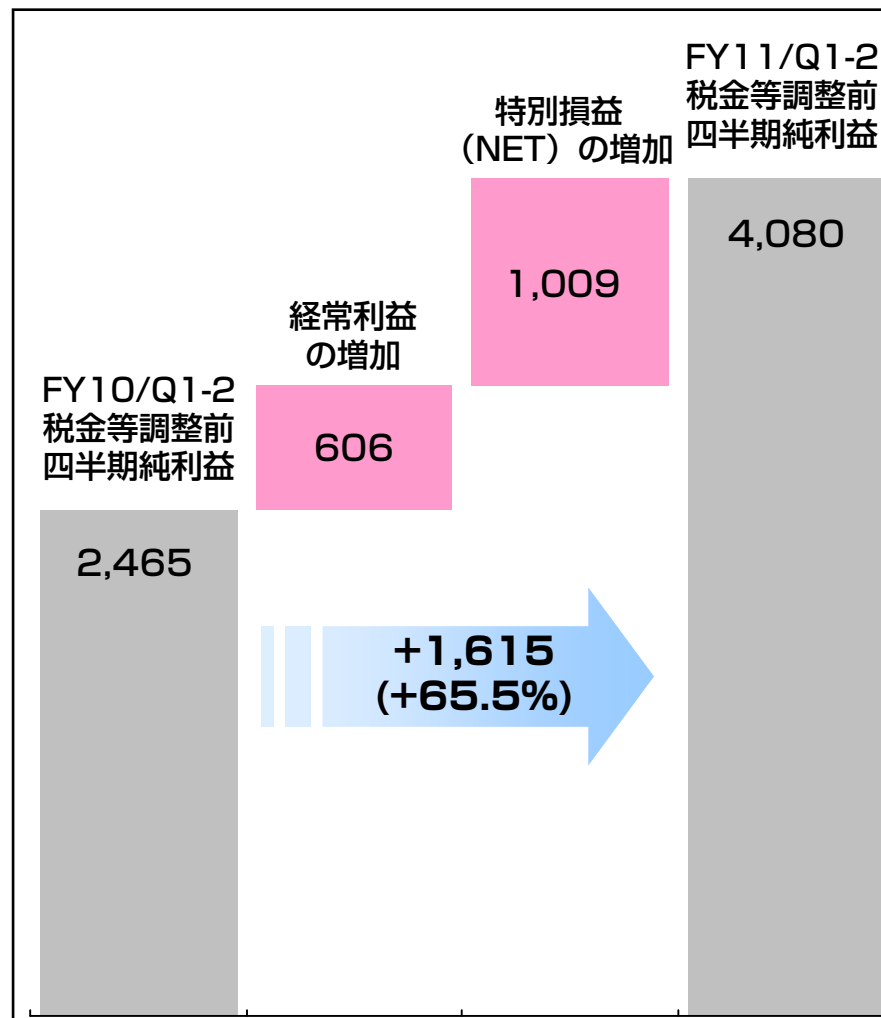
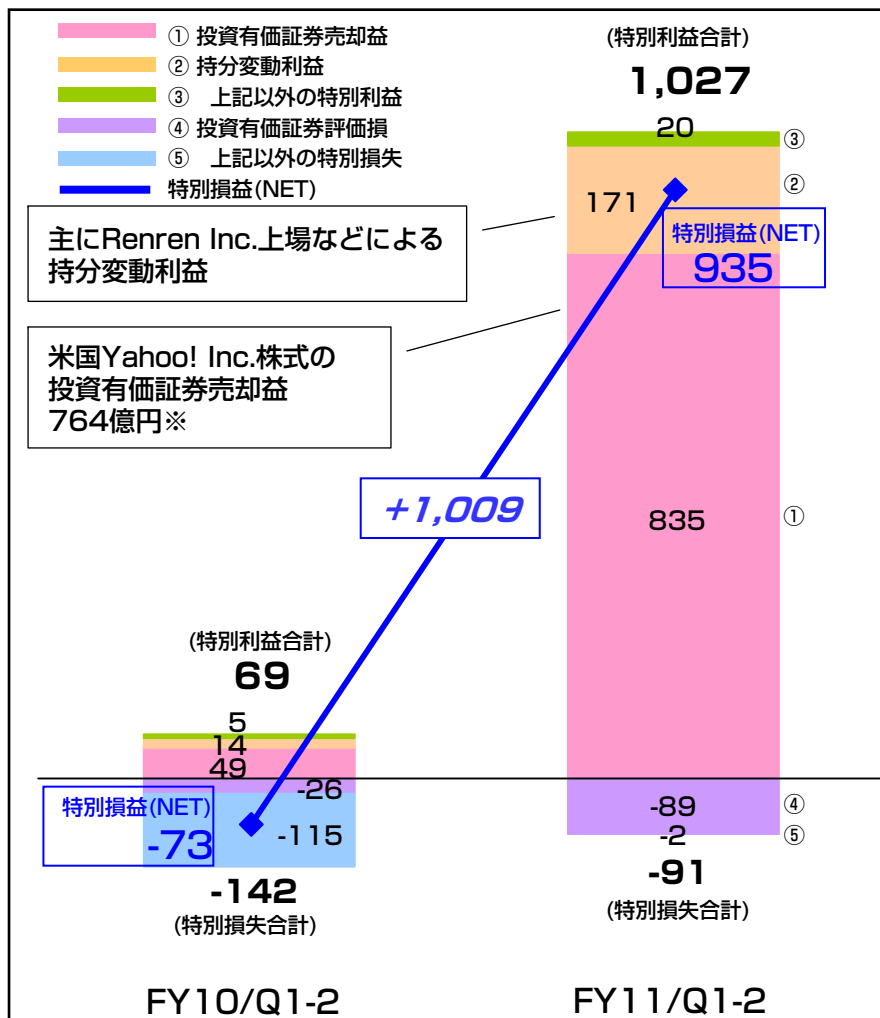
※主にSBMローン(ボーダフォン株の買収資金調達のための借入のうち、2006年11月に事業証券化スキームにより行った借入)のリファイナンスに伴う借換関連手数料126億円(通期で約230億円程度の見込み)

特別損益と税金等調整前四半期純利益

特別損益

税金等調整前四半期純利益

<億円>

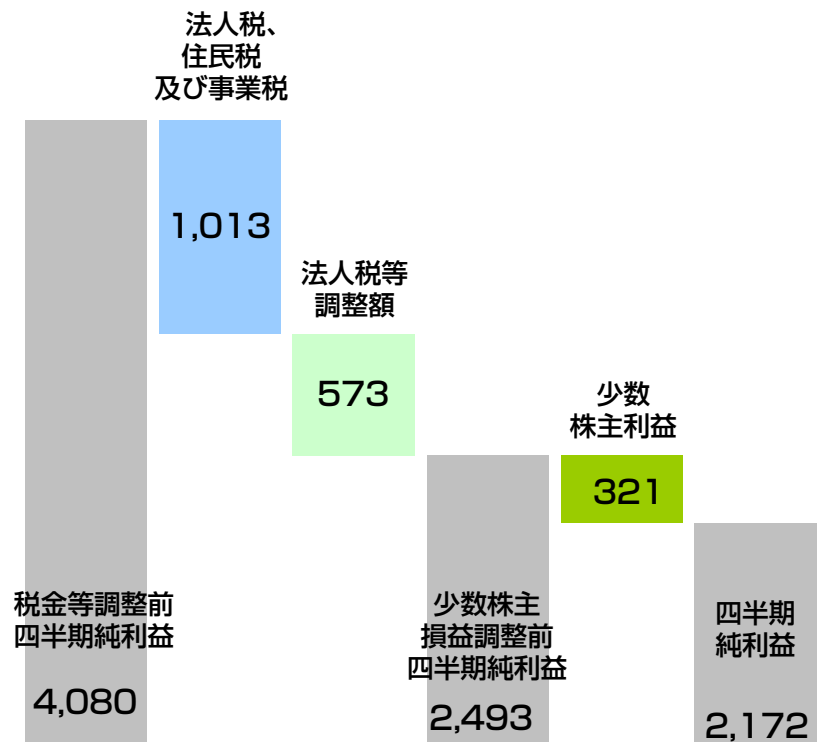


※詳細は本資料P.28を参照

四半期純利益

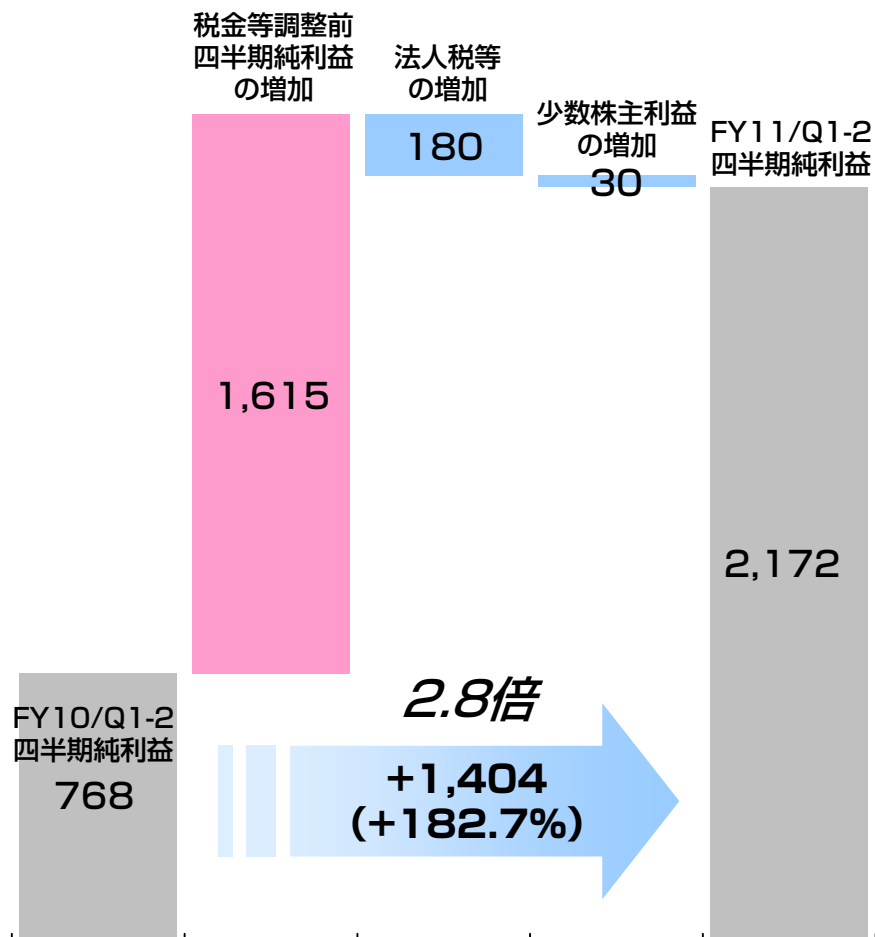
FY11/Q1-2 四半期純利益

<億円>



前年同期比増加要因

<億円>



(参考) FY11/Q1-2 四半期包括利益

<億円>

	B/S 前期末残高 ①	期中変動額			B/S Q2末残高 (①+②-③+④)	P/L (②-③)
		四半期 包括利益 ②	(調整) 少数株主 持分相当額 ③	(調整) 持分法適用会社 に対する 持分相当額 ④		
少数株主損益調整前四半期純利益		2,493	321			2,172
その他の包括利益			少数株主利益			四半期純利益
その他有価証券評価差額金	349	▲371	▲17	▲1	▲5	
繰延ヘッジ損益	112	▲129	▲4	-	▲12	
為替換算調整勘定	▲502	▲31	+0	+3	▲530	
持分法適用会社に対する持分相当額 ^{※1}		+2	-	▲2	-	
その他の包括利益合計	▲40	▲530	▲21	-	▲549	
四半期包括利益		1,963	299			1,663

少数株主に係る
四半期包括利益

親会社株主に係る
四半期包括利益

※1. その他の包括利益各項目に含まれる、持分法適用会社に対する持分相当額を区分して表示

税金・その他調整額の内訳

FY11/Q1-2 主な税金費用の内訳

<億円>

A	法人税、住民税および事業税	1,013
	(主な内訳)	
	1. BBM 連結納税グループ法人税	375
	2. SBM 住民税および事業税 (BBM連結納税対象外)	228
	3. ヤフー	301
B	法人税等調整額	573
	(主な内訳)	
	4. SBH 一時差異解消	250
	5. SBM 一時差異解消 (概算未払金・ポイント引当金など)	240
	6. SBM 減価償却費等調整 (SBM連結時全面時価評価に伴うものの調整)	46
	7. SB 繰越欠損金の利用など	44
	8. SBB 繰越欠損金の利用・一時差異解消など	36
	9. SBTM 繰延税金資産計上 (繰越欠損金)	▲72
	10. その他 一時差異	26
	税金費用合計(A+B)	1,586

税率差異および繰越欠損金（参考）

FY11/Q1-2 主な税率差異要因

	率(%)	(参考) 金額(億円)
税金等調整前四半期純利益		4,080
法定実効税率	40.7%	1,660
(主な税率差異要因)		
・ のれん償却 (主にソフトバンクモバイル)	3.0%	121
・ 評価性引当額の減少	▲3.4%	▲137
・ 持分変動損益	▲1.7%	▲69
・ その他	0.3%	12
法人税等の負担率	38.9%	1,586

<参考>繰越欠損金 (2011年9月末)

<億円>

会社名	前期末残高 課税所得 ベース	当Q1-2発生 課税所得 ベース	当Q1-2使用 課税所得 ベース	その他増減	当Q2末残高 課税所得 ベース	繰延税金資産 (税額ベース)	有効期限
ソフトバンクテレコム	759	-	▲251	-	508	213	2013年3月~2016年3月
ソフトバンクBB	105	-	▲35	-	69	28	2013年3月~2017年3月
その他	1,087	23	▲119	▲25	964	380	2012年3月~2018年3月
全社合計	1,952	23	▲406	▲25	1,543	622	

評価性引当額 ▲331

繰越欠損金に係る繰延税金資産B/S計上額(全社合計) 290

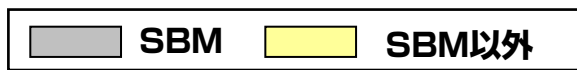
非連結子会社・関連会社等の業績

非連結子会社、持分法非適用関連会社の損益および有利子負債の状況			
	社数	純利益 (持分割合考慮後)	有利子負債 (グループ外部)
持分法非適用 非連結子会社	54	1.2億円	1.2億円
持分法適用 非連結子会社	4	-	-
持分法非適用 関連会社	23	▲0.8億円	該当なし
合計	81	0.4億円	1.2億円

※ソフトバンクは(株)ウィルコムが発行済株式100%を保有していますが、(株)ウィルコムは会社更生法上の更生会社であり、ソフトバンクとの間に有効な支配従属関係が存在しないと認められることから子会社としていません。そのため上表には含まれていません。

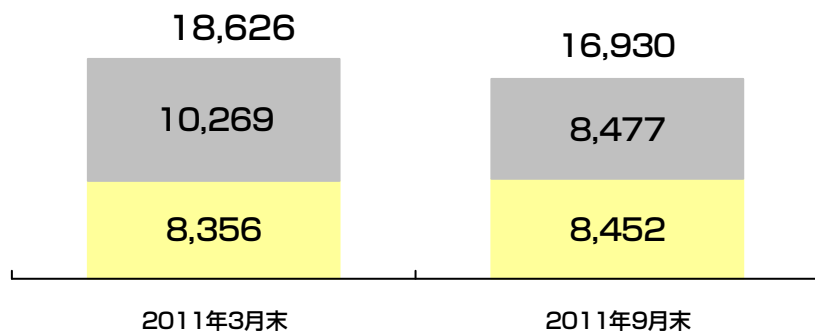
連結B/S增減分析

連結B/S 総括

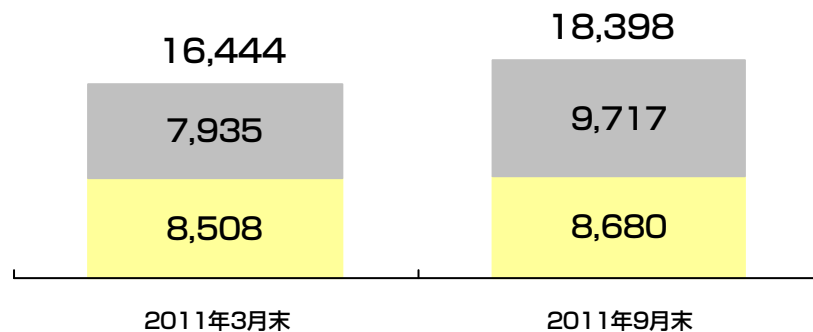


<億円>

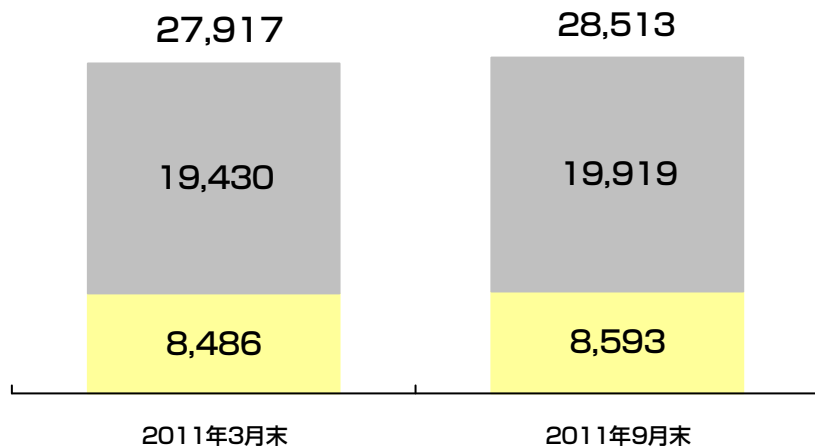
流動資産



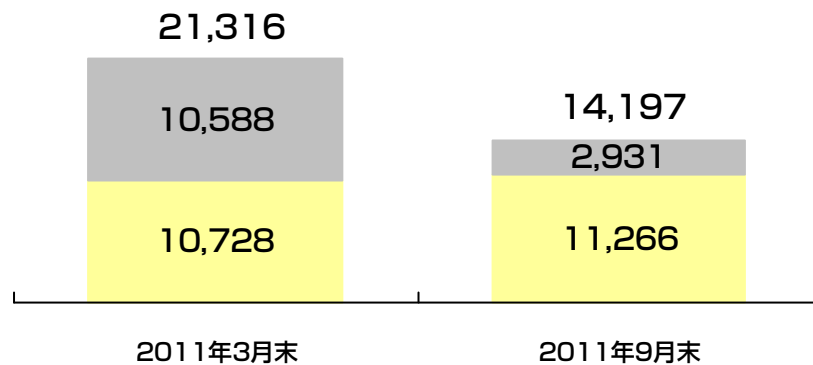
流動負債



固定資産



固定負債



連結B/S (1) 流動資産

<億円>

資産	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
流動資産	18,626	16,930	▲1,695	
SBM	10,269	8,477	▲1,792	
その他	8,356	8,452	96	
現金及び預金	8,616	9,027	411	
SBM	4,080	3,397	▲683	営業活動による増加 (+2,576)、固定資産取得による支出 (▲1,672)、SBMローン返済 (▲4,880)、割賦債権流動化による調達金の返済 (▲400)、新規取得設備のセール・アンド・リースバックによる収支 (収入+720、返済▲604)
その他	4,535	5,630	1,094	SB: 11/3末 (1,990) → 11/9末 (2,798) 内訳/第36・37回無担保普通社債発行 (+1,293)、借入金 (+2,419)、CP (▲250) 第25・27回無担保普通社債の償還 (▲1,135) ヤフー: 11/3末 (1,738) → 11/9末 (1,979)
受取手形及び売掛金	6,577	5,766	▲811	
SBM	4,981	4,271	▲709	携帯電話端末の割賦売掛金 11/3末 (2,521) → 11/9末 (1,988) うち割賦売掛金売却 (▲1,231) 通信収入等売掛金 11/3末 (1,723) → 11/9末 (1,820) 携帯電話端末販売 (代理店向け) 11/3末 (680) → 11/9末 (416)
その他	1,596	1,494	▲102	SBB: 11/3末 (585) → 11/9末 (561) SBTM: 11/3末 (448) → 11/9末 (379)
有価証券	780	39	▲741	
SBM	-	-	-	
その他	780	39	▲741	SBH: Yahoo! Inc株式会社(▲735) Yahoo! Inc株式をCITIBANK N.A.に譲渡し、借入金の返済に充当※
商品及び製品	498	330	▲167	
SBM	386	209	▲176	
その他	112	121	8	
繰延税金資産	909	754	▲154	
SBM	452	282	▲170	
その他	456	471	15	
その他	1,620	1,421	▲198	
SBM	689	669	▲20	
その他	931	752	▲178	SBH: デリバティブ資産(▲226) Yahoo! Inc株式譲渡に係る先物契約の決済により減少※
貸倒引当金	▲377	▲410	▲32	
SBM	▲320	▲352	▲31	
その他	▲56	▲57	▲0	

※詳細はP28を参照

SB: ソフトバンク SBM: ソフトバンクモバイル SBB: ソフトバンクBB SBTM: ソフトバンクテレコム SBH: SOFTBANK Holdings Inc.

連結B/S (2) 有形固定資産

<億円>

資産	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
固定資産	27,917	28,513	596	
SBM	19,430	19,919	488	
その他	8,486	8,593	107	
有形固定資産	11,134	11,912	777	
SBM	8,096	8,802	706	
その他	3,038	3,109	71	
建物及び構築物	748	743	▲5	
SBM	263	260	▲3	
その他	484	483	▲1	
通信機械設備	8,408	9,127	719	
SBM	7,135	7,851	715	機械設備取得 (+1,115)、空中線設備等取得(+151)、償却等 (▲552)
その他	1,272	1,276	4	SBTM: 11/3末 (981) → 11/9末 (954) SBB : 11/3末 (233) → 11/9末 (265)
通信線路設備	688	668	▲20	
SBM	74	78	4	
その他	613	589	▲24	SBTM: 11/3末 (613) → 11/9末 (589)
土地	228	229	0	
SBM	109	109	0	
その他	119	119	-	
建設仮勘定	556	575	18	
SBM	345	339	▲5	
その他	211	235	23	
その他	503	567	64	
SBM	167	163	▲4	
その他	335	404	68	

SBM: ソフトバンクモバイル SBB: ソフトバンクBB SBTM: ソフトバンクテレコム

連結B/S (3) 無形固定資産・投資その他の資産

億円>

資産	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
固定資産	27,917	28,513	596	
無形固定資産	11,203	11,071	▲132	
SBM	10,020	9,923	▲97	
その他	1,183	1,148	▲34	
のれん	8,392	8,079	▲312	
SBM	7,757	7,499	▲257	規則的な償却による減少
その他	635	579	▲55	規則的な償却による減少
ソフトウェア	2,488	2,675	187	
SBM	2,203	2,382	178	
その他	284	293	8	
その他	322	315	▲6	
SBM	59	40	▲18	
その他	262	275	12	
投資その他の資産	5,579	5,529	▲49	
SBM	1,313	1,193	▲120	
その他	4,265	4,336	70	
投資有価証券	3,404	3,504	100	
SBM	8	7	▲0	
その他	3,395	3,496	100	Renren Inc. : ニューヨーク証券取引所への上場(2011年5月)による持分変動など (+122) Gilt Groupe Inc.への出資 (+47)、InMobi Pte Ltdへの出資 (+78)
繰延税金資産	1,091	959	▲131	
SBM	907	792	▲114	
その他	184	167	▲17	
その他	1,233	1,227	▲5	
SBM	493	501	8	
その他	739	726	▲13	
貸倒引当金(長期)	▲150	▲162	▲12	
SBM	▲95	▲108	▲13	
その他	▲54	▲53	1	
繰延資産	13	67	53	
SBM	-	-	-	
その他	13	67	53	

20

連結B/S (4) 流動負債

<億円>

負債	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
流動負債	16,444	18,398	1,954	
SBM	7,935	9,717	1,782	
その他	8,508	8,680	171	
支払手形及び買掛金	1,936	1,485	▲450	
SBM	1,339	957	▲381	携帯端末仕入債務の支払いなど
その他	597	527	▲69	SBB: 11/3末 (393) → 11/9末 (326) SBTM: 11/3末 (42) → 11/9末 (36)
短期借入金	4,109	5,326	1,217	
SBM	499	2,943	2,444	SBMローン10月返済予定額を固定負債から振替 (+2,845) 割賦債権の流動化による調達資金の返済(▲400)
その他	3,610	2,383	▲1,227	SB: 11/3末 (2,636) → 11/9末 (2,369) SBH: 11/3末 (933) → 11/9末 (-) CITIBANK, N.A.からの借入金返済※
コマーシャルペーパー	250	-	▲250	
SBM	-	-	-	
その他	250	-	▲250	SB: 11/3末 (250) → 11/9末 (-)
1年内償還予定の社債	1,285	1,100	▲185	
SBM	-	-	-	
その他	1,285	1,100	▲185	SB: 第25・27回無担保普通社債の償還 (▲1,135) 第28・29回無担保普通社債を固定負債から振替 (+950) SBTM: 第2回無担保社債 11/9末(150)
未払金及び未払費用	5,614	7,268	1,654	
SBM	4,533	4,301	▲232	代理店手数料の未払金支払い (▲274)
その他	1,080	2,967	1,886	ボーダフォン向け優先株等の取得にかかる未払金を固定負債から振替 (+2,000)
リース債務	1,313	1,327	14	
SBM	1,114	1,101	▲13	
その他	198	225	27	
その他	1,935	1,889	▲46	
SBM	448	413	▲35	未払事業税・住民税 11/3末 (296) → 11/9末 (278)
その他	1,487	1,476	▲10	未払法人税等 BBM: 11/3末 (509) → 11/9末 (446) ヤフー: 11/3末 (324) → 11/9末 (306)

※詳細はP28を参照

SB: ソフトバンク SBM: ソフトバンクモバイル SBB: ソフトバンクBB SBTM: ソフトバンクテレコム SBH: SOFTBANK Holdings Inc. BBM: BBモバイル

連結B/S (5) 固定負債

<億円>

負債	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
固定負債	21,316	14,197	▲7,119	
SBM	10,588	2,931	▲7,657	
その他	10,728	11,266	537	
社債	5,073	4,923	▲150	
SBM	-	-	-	
その他	5,073	4,923	▲150	SB：第36・37回無担保普通社債の発行(+1,300) 第28・29回無担保普通社債を流動負債へ振替(▲950) 2014年満期ユーロ円建転換社債の株式への転換により減少(▲499)
長期借入金	10,309	5,275	▲5,034	
SBM	7,725	-	▲7,725	SBMローン 11/3末(7,725)→11/9末(-) 内訳：SBMローンの返済(▲4,880) 10月支払予定額を流動負債へ振替(▲2,845)
その他	2,583	5,275	2,691	SB：11/3末(2,579)→11/9末(5,265) SBMローンのリファイナンスに伴う借入(+3,525)
繰延税金負債	265	252	▲13	
SBM	-	-	-	
その他	265	252	▲13	SBMローンのリファイナンス：SBによる総額5,500億円の借入 第1回借入実施(7/27)：3,525億円 第2回借入実施予定(10/27)：1,975億円
ポイント引当金	419	330	▲88	
SBM	419	330	▲88	利用顧客に対するポイント割引
その他	-	-	-	
リース債務	1,997	2,151	154	
SBM	1,734	1,863	129	SBMローンのリファイナンスにより返済： 第1回SBMローン返済(7/27)：3,695億円 第2回SBMローン返済予定(10/27)：2,845億円(流動負債に振替)
その他	263	288	25	
その他	3,250	1,262	▲1,987	
SBM	709	737	27	
その他	2,541	525	▲2,015	ポータフォン向け優先株式等の取得にかかる未払金を流動負債へ振替(▲2,000)

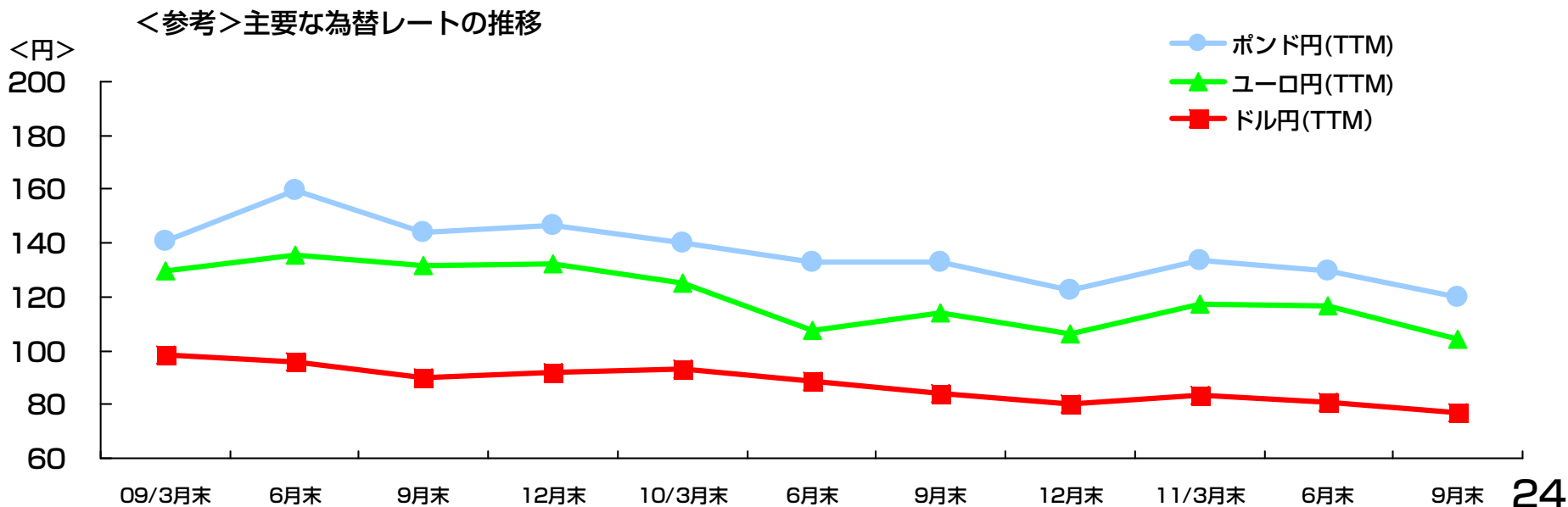
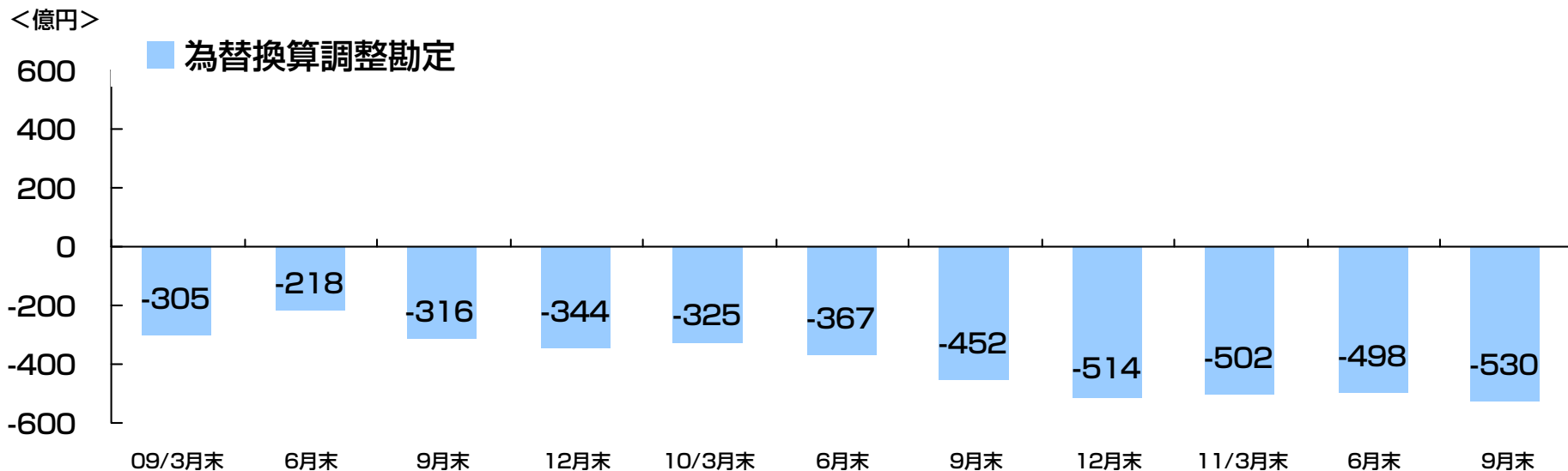
連結B/S (6) 純資産

<億円>

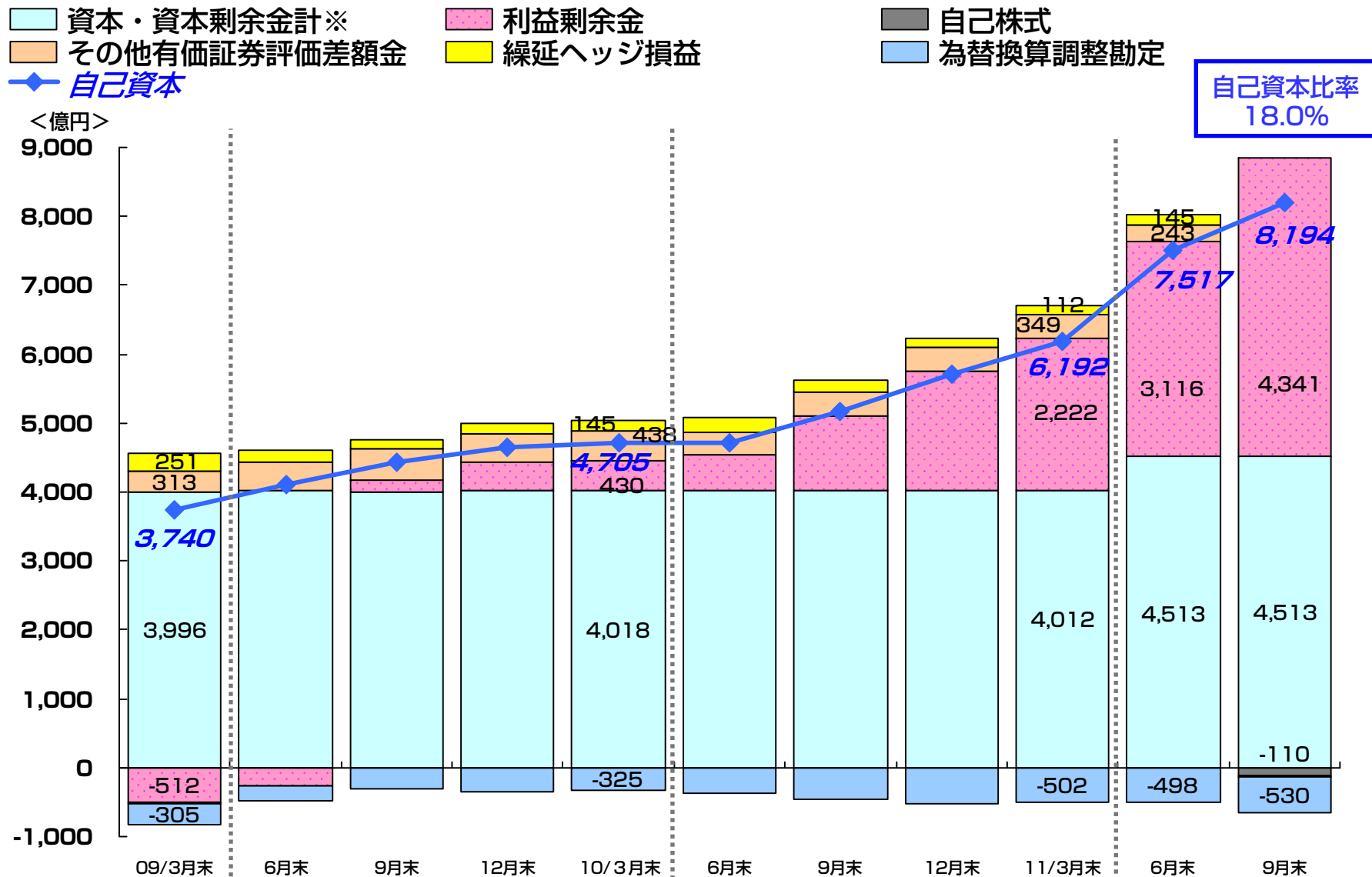
純資産	2011年3月末	2011年9月末	増減	摘要
純資産の部	8,796	12,915	4,119	
株主資本	6,233	8,743	2,510	
資本金	1,887	2,137	250	2014年満期ユーロ円建転換社債の株式への転換
資本剰余金	2,125	2,375	249	2014年満期ユーロ円建転換社債の株式への転換
利益剰余金	2,222	4,341	2,118	四半期純利益 (+2,172)、配当金 (▲54)
自己株式	▲2	▲110	▲108	自己株式の取得 (2011年9月実施)
その他の包括利益累計額	▲40	▲549	▲508	
その他有価証券評価差額金	349	▲5	▲354	Yahoo! Inc株式譲渡による減少 (▲367)※
繰延ヘッジ損益	112	▲12	▲124	Yahoo! Inc株式譲渡に係る先物契約決済による減少 (▲126)※
為替換算調整勘定	▲502	▲530	▲28	
新株予約権	7	8	1	
少数株主持分	2,596	4,713	2,116	子会社による議決権制限優先出資証券の発行 (+2,000) *P40参照 ヤフー 11/3末 (2,156) →11/9末 (2,315)

※詳細はP.28を参照

[純資産]為替変動による為替換算調整勘定への影響



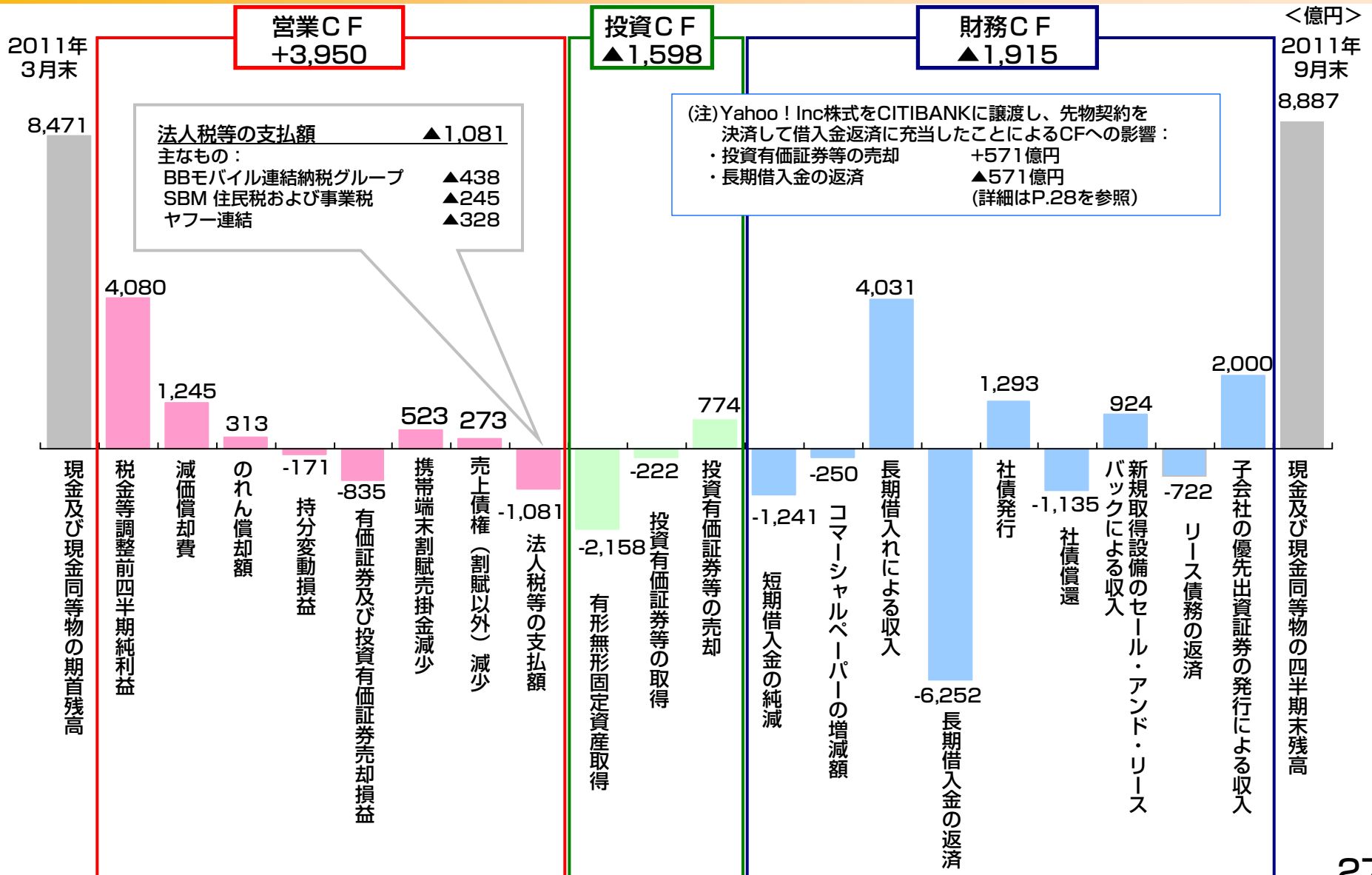
[純資産]自己資本の推移



※新株式申込証拠金を含む。

連結C/F增減分析

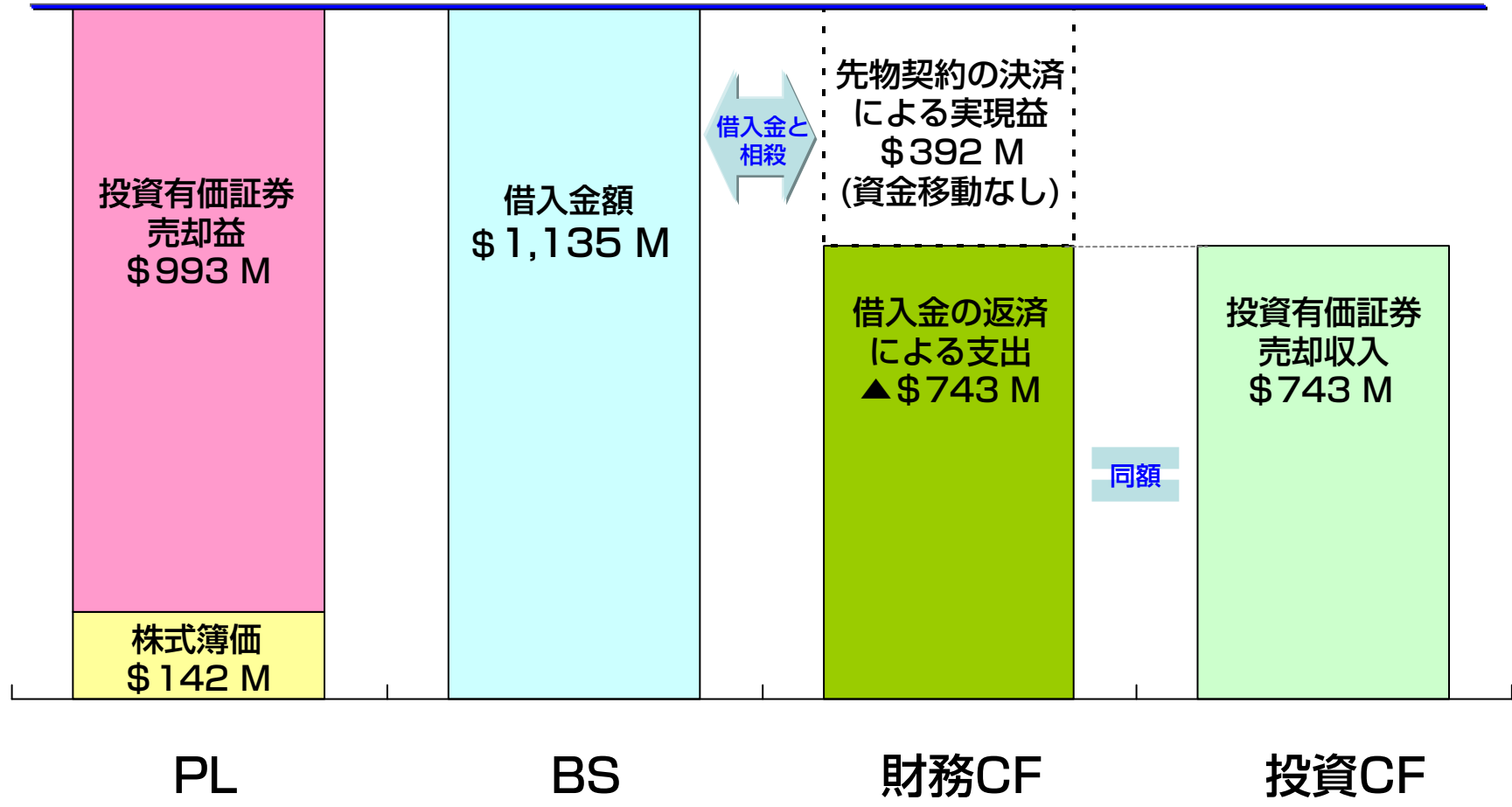
連結キャッシュフロー 主な内訳



※連結キャッシュフロー計算書に記載している項目のうち、主なものを記載しています。

Yahoo! Inc.株式譲渡による借入金の返済 連結財務諸表への影響について

\$1,135 M



 SoftBank

 SoftBank

財務編

ソフトバンク株式会社
財務部長

後藤 芳光

2011年度の主な財務活動

<主な財務活動>

<億円>

年月	内容	金額
2011年6月	第36回無担保普通社債発行（福岡ソフトバンクホークスbond）	1,000
6月	第37回無担保普通社債発行	300
6月	2014年満期ユーロ円転換社債の株式への転換（繰上償還権行使）	500
7月	ボーダフォン日本法人買収資金のリファイナンス （7月シンジケートローン組成・10月SBMローン完済）	5,500
9月	自己株式の取得	107
9月	連結子会社による優先出資証券の発行	2,000
9月	コミットメントライン更改	1,800
9月	米国子会社における株式（Yahoo! Inc.）を使用した借入の返済	USD 1,135m (908※)
10月	自己株式の取得	118

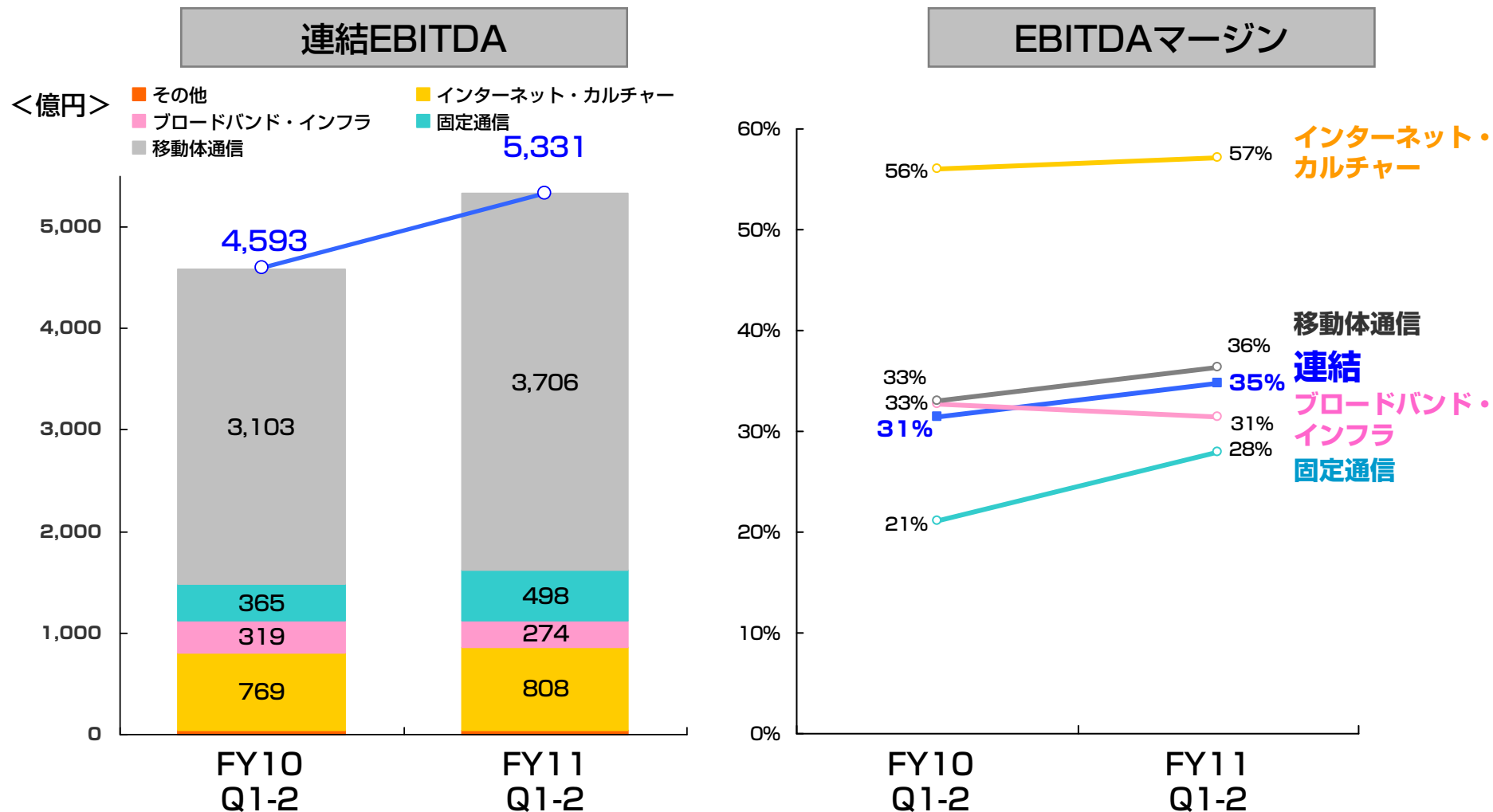
<主な事業投資>

主な投資先	投資額等
InMobi Pte. Ltd.	USD 100m (80億円※)
Gilt Groupe Inc.	USD 62.5m (50億円※)

※ 1米ドル80円で換算した参考値

EBITDA・EBITDAマージン（セグメント別）

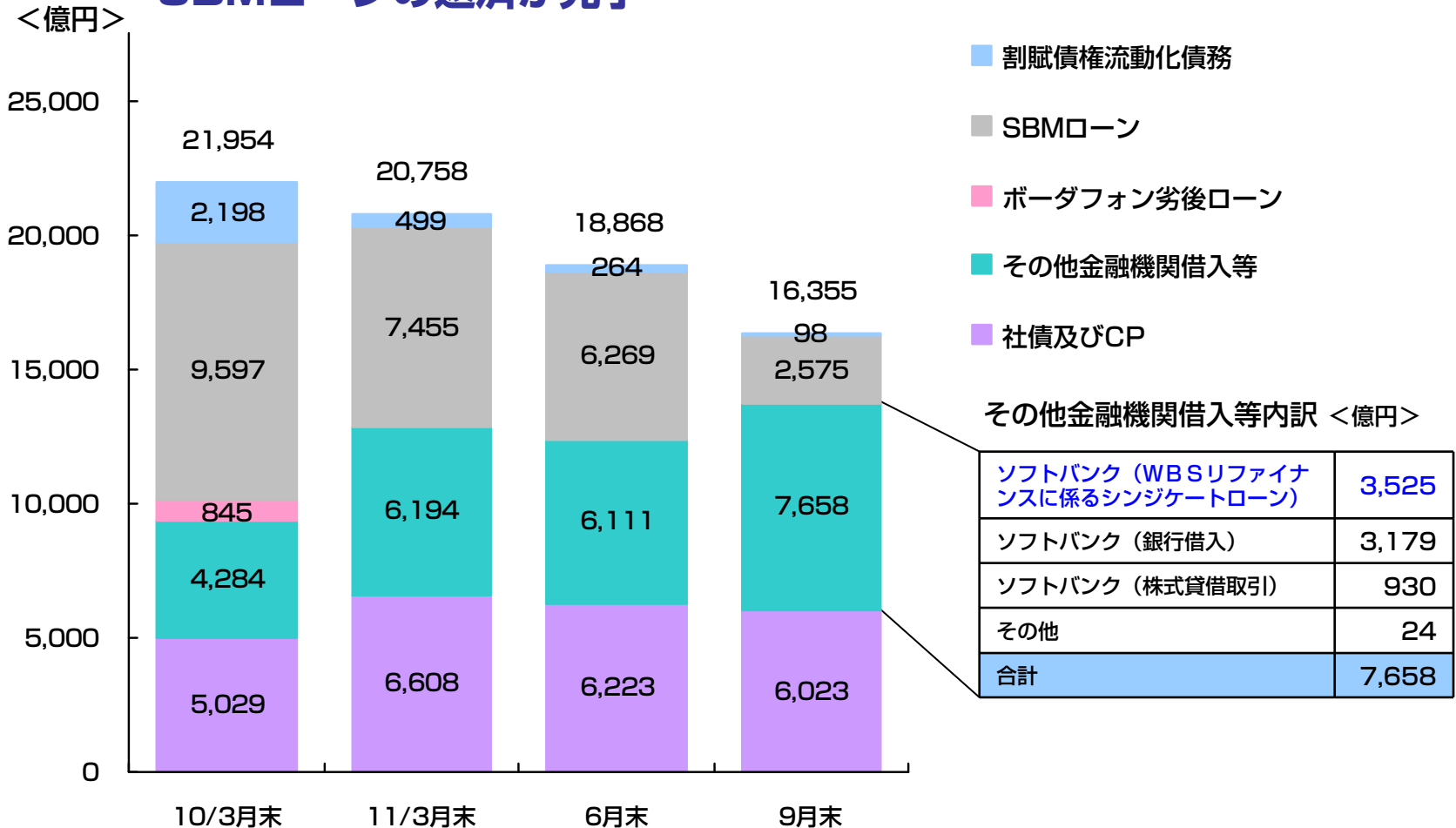
■ 連結EBITDAマージンは30%台で安定推移



※ EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

有利子負債（調達手段別）

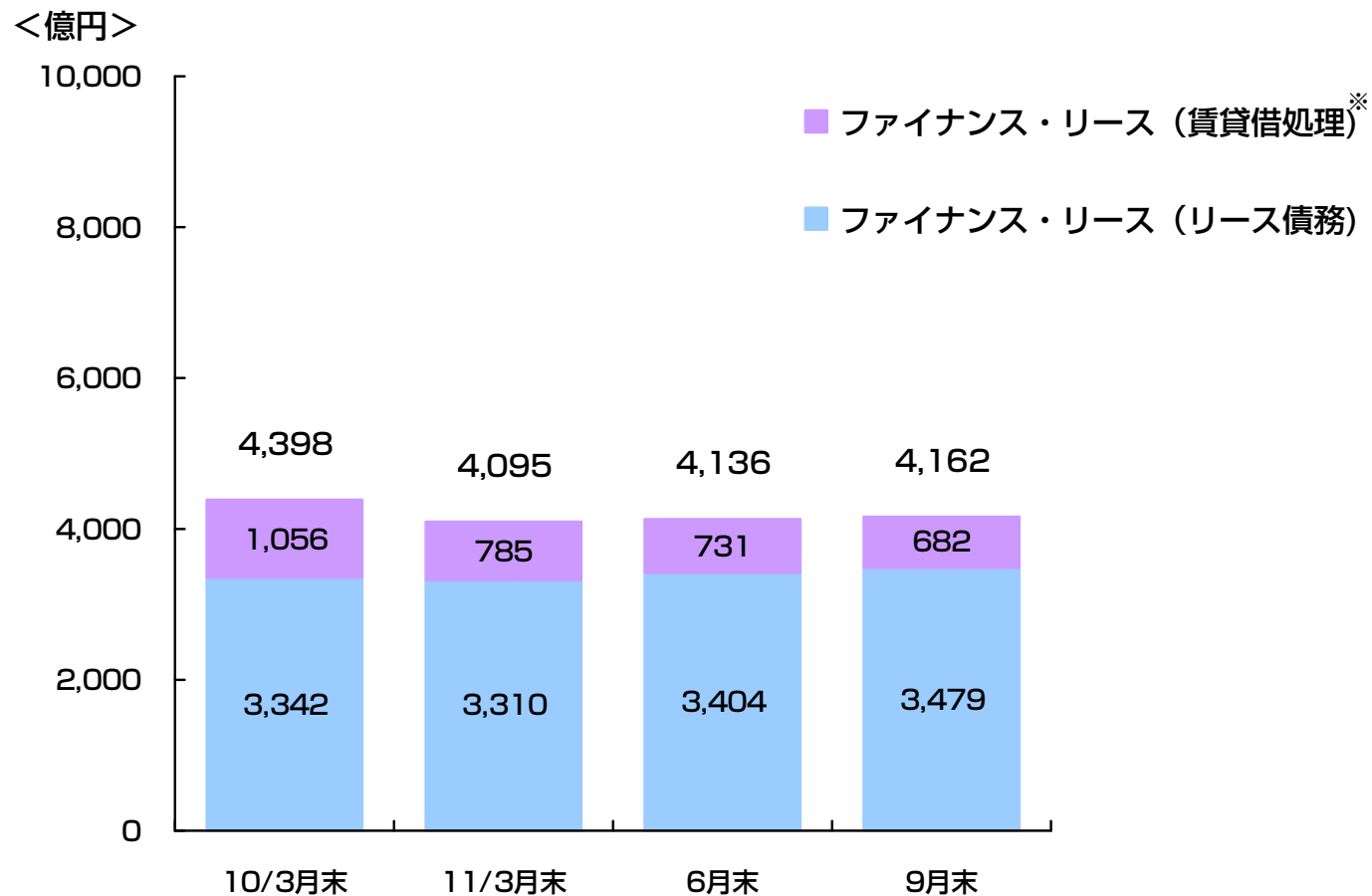
■ 携帯事業買収資金のリファイナンスに伴うシンジケートローン実行により、SBMローンの返済が完了



- ※ 1. 有利子負債＝短期借入金＋商業ペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を含まず
 2. SBMローン：ボーダフォン日本法人の買収のために調達した資金を、2006年11月に事業証券化（WBS）の手法によりリファイナンスしたものが取得したWBS Class B2 Funding Notes（実質的にSBMローンの一部）の額面270億円をSBMローンから控除

リース債務

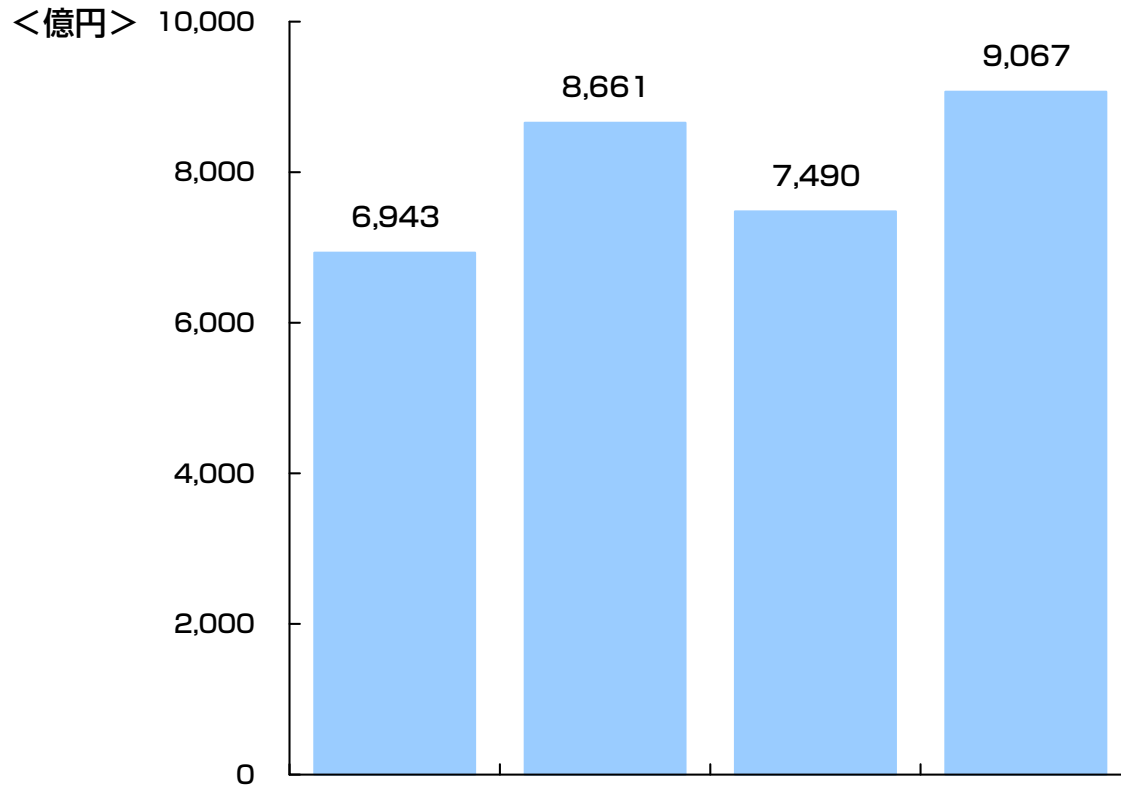
■ リース残高は安定的に推移



※ リース取引契約日が2008年4月1日より前の所有権移転外ファイナンス・リース取引

手元流動性

■ 潤沢な手元流動性を維持



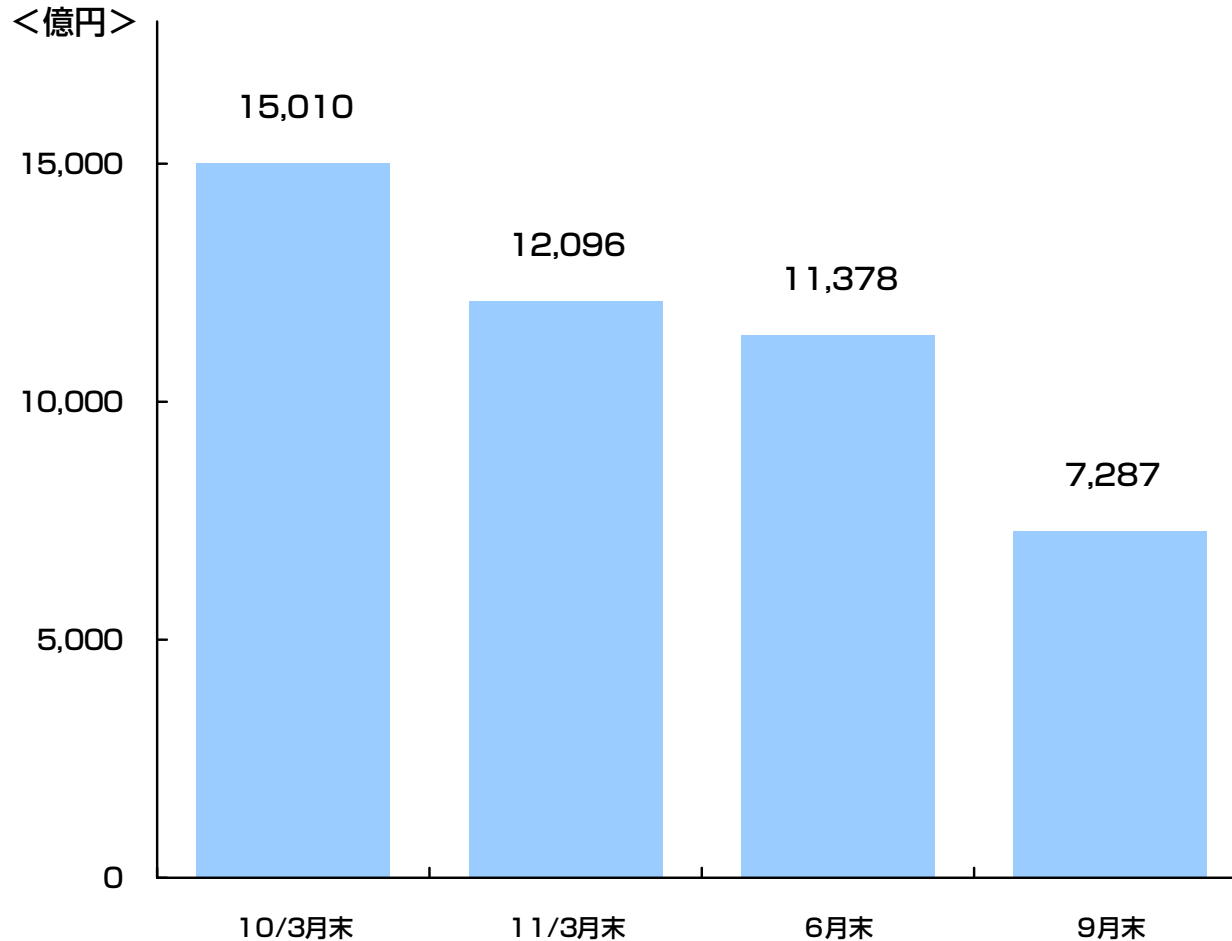
	10/3月末	11/3月末	6月末	9月末
コミットメントライン枠総額	1,610	1,870	1,870	1,800
未使用枠	1,010	1,070	1,570	1,800

※ 1. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券 (当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く)

2. コミットメントライン未使用枠=コミットメントライン枠総額-コミットメントライン借入額

純有利子負債

■ 純有利子負債半減目標を半年前倒し達成



※ 1. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

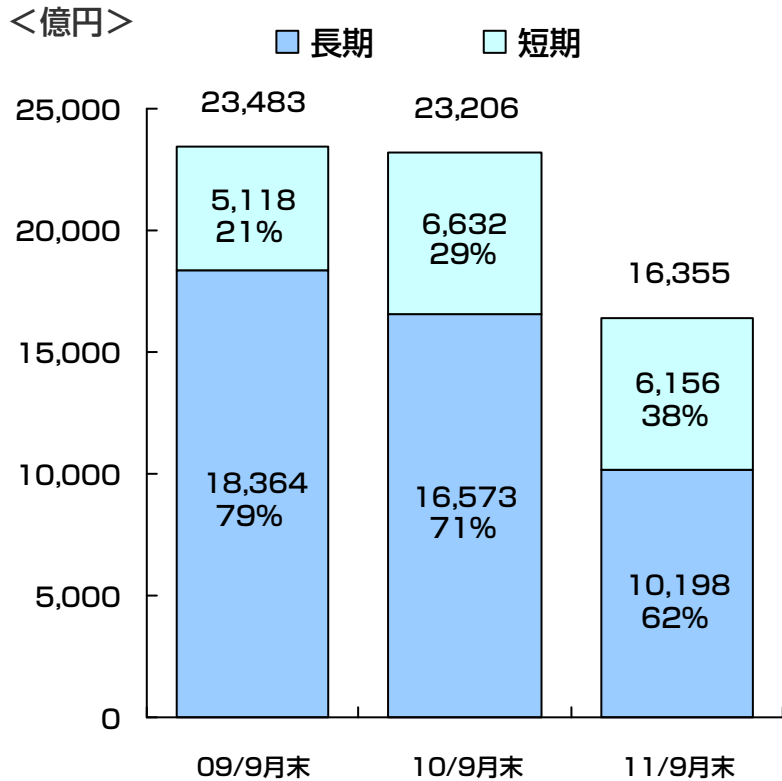
2. 有利子負債 = 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 1年内償還予定の社債 + 社債 + 長期借入金。リース債務を含まず
ポードフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、
発行体：J-WBSファンディング株）のうち、当社が取得した額面270億円を除く

3. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）

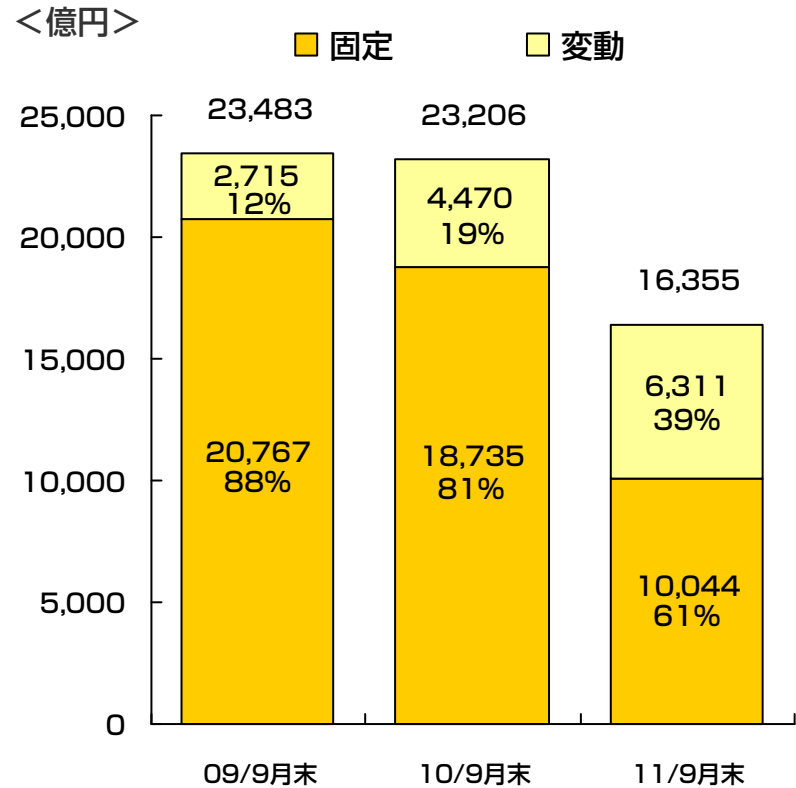
有利子負債の長短・固定変動比率推移

■ 長期債務の大幅返済に伴い、短期債務比率および変動金利比率が上昇

有利子負債
長短比



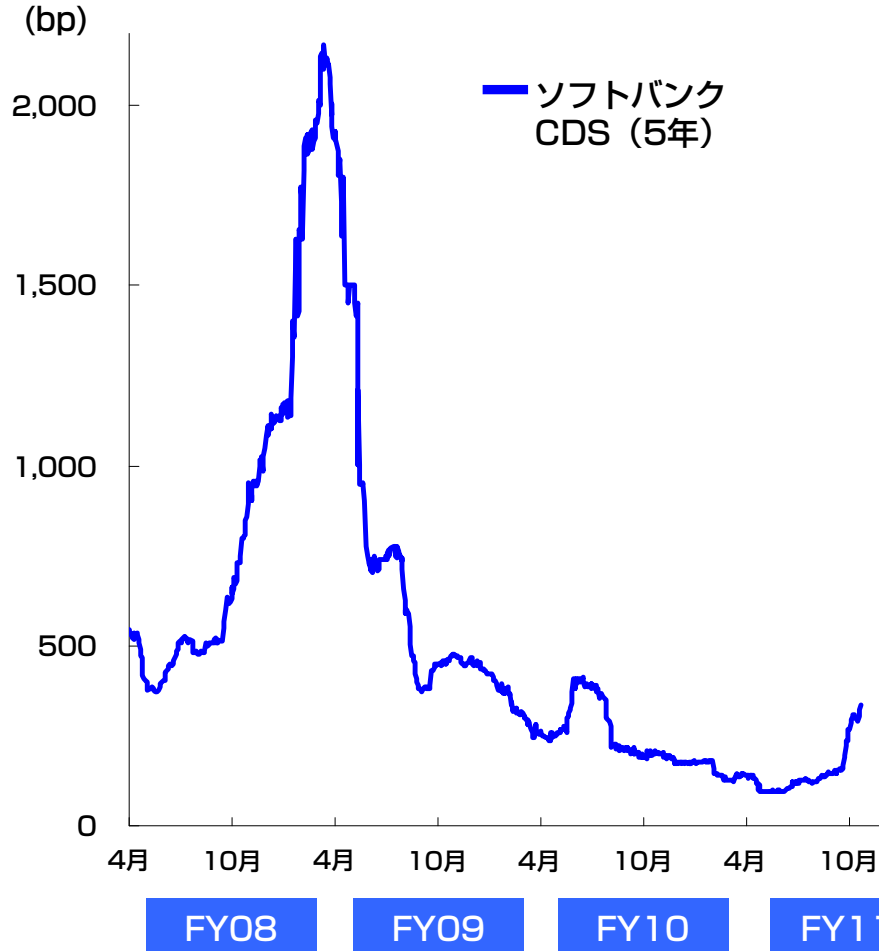
有利子負債
固定変動比



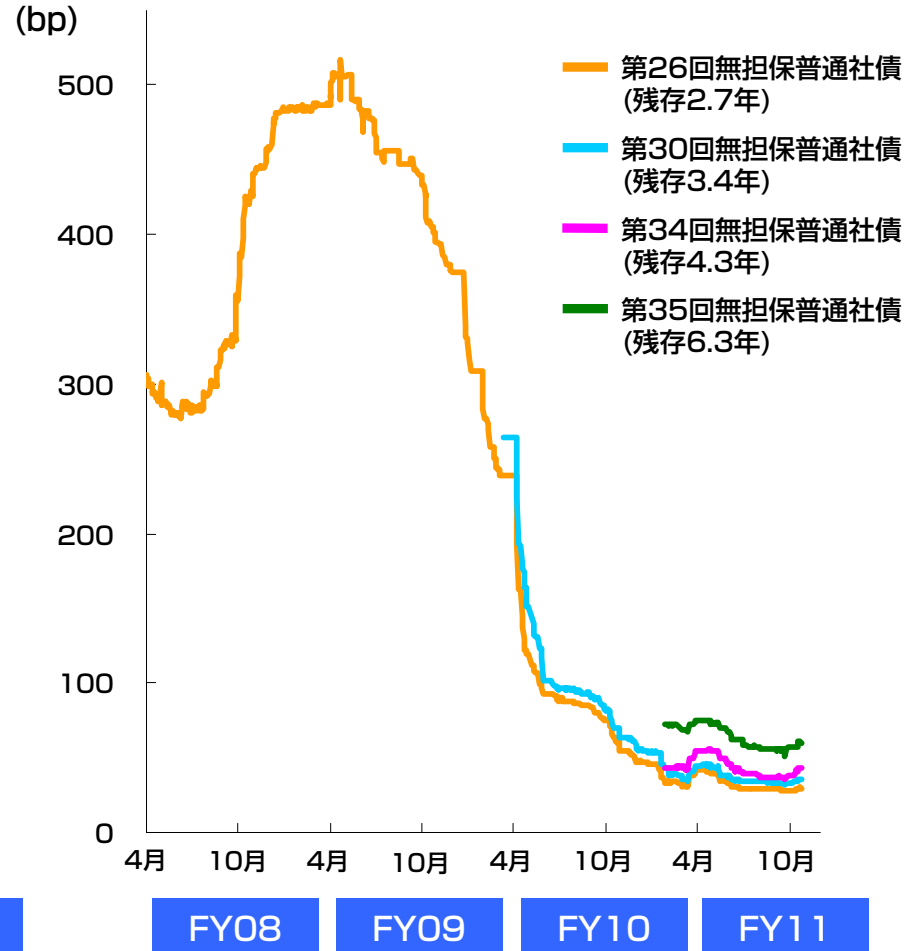
※ 有利子負債=短期借入金+商業ペーパー+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず
2010年3月末以降は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング(株)）のうち、当社が取得した額面270億円を除く

当社クレジット推移

CDS



社債スプレッド



出所: ・ CDSはBloomberg
 ・ 社債スプレッドは日本証券業協会の売買参考統計値を基に当社算出
 ※ CDS (Credit Default Swap)

優先出資証券の発行

連結子会社による優先出資証券の発行を通じて2,000億円を調達

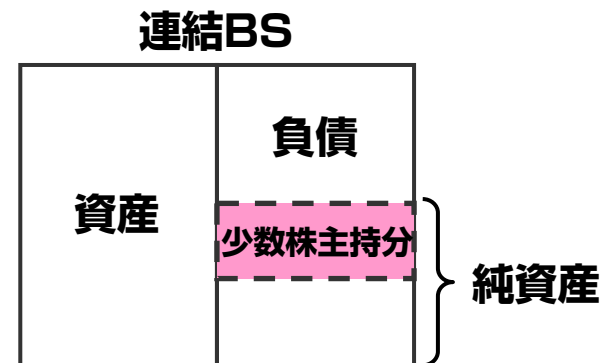
<概要>

金額：	2,000億円
配当率：	2.04%（2015年5月以降、ステップアップ）
資金使途：	主に英ボーダフォン・グループからのBBモバイル(株)の優先株式等の取得に係る支払い(2012年4月)に充当

早期償還が可能となる2015年5月に償還予定

<目的>

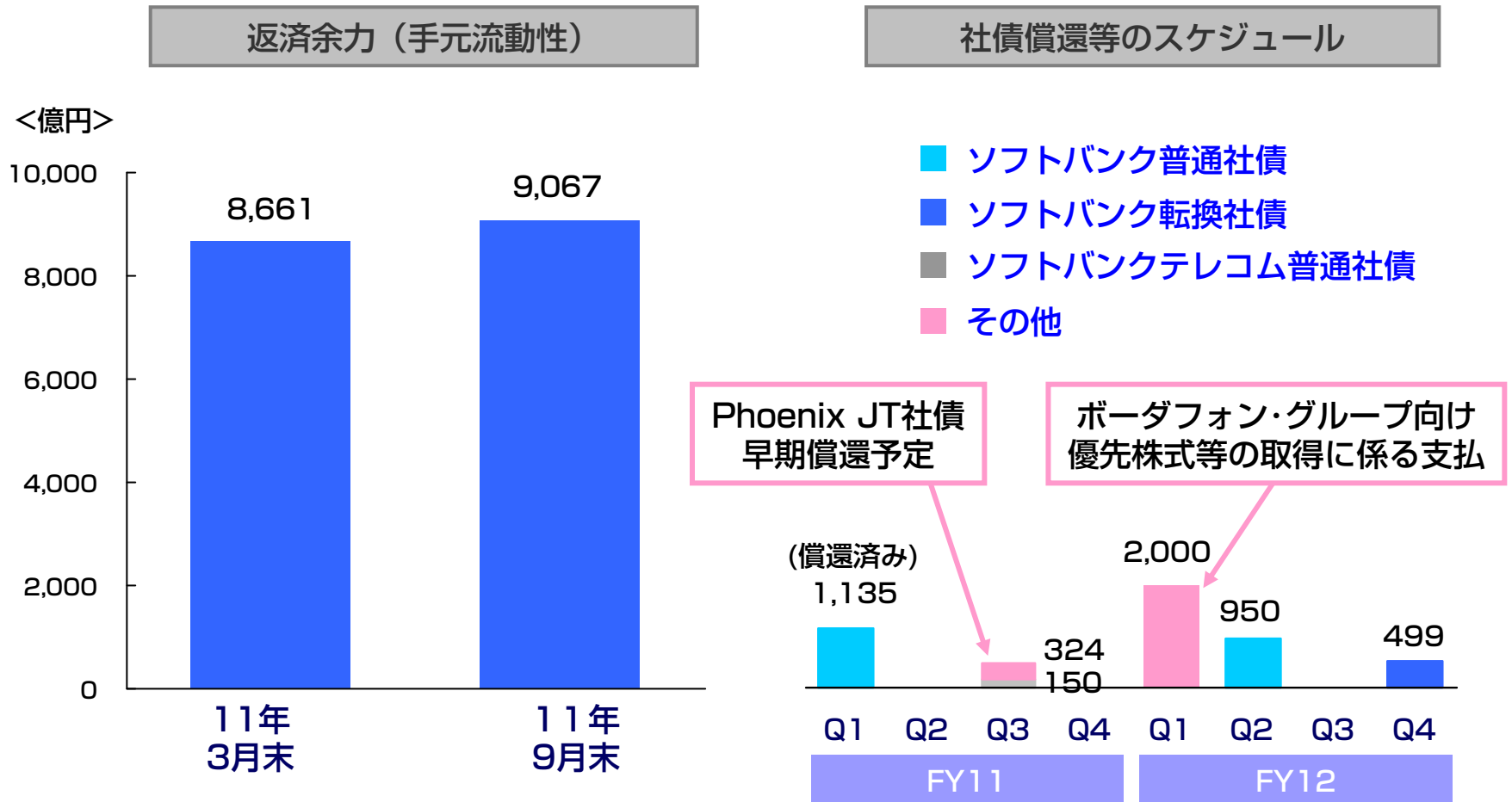
2010年12月に英ボーダフォン・グループからBBモバイル(株)の優先株等を取得したことにより、少数株主持分が減少



本優先出資証券は連結BS上で少数株主持分として計上
財務安定性が向上

社債償還等のスケジュール

■ 十分な返済余力を保有

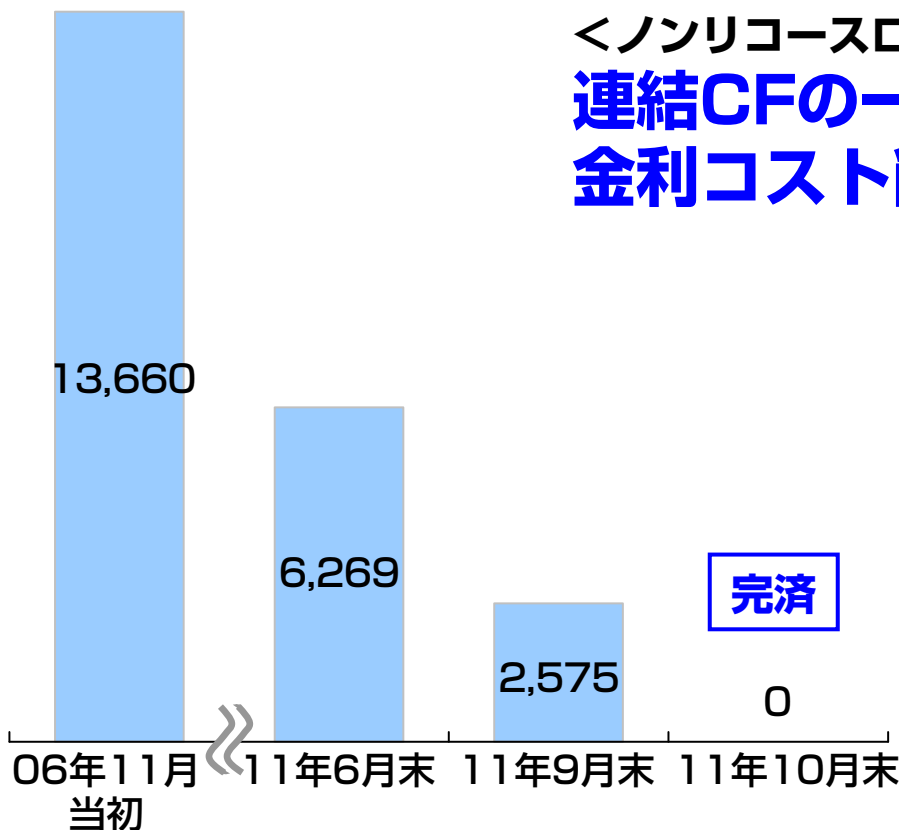


※ 手元流動性＝現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）

WBSリファイナンス：SBMローン早期完済

SBMローン残高

(億円)



<ノンリコースローン完済後>

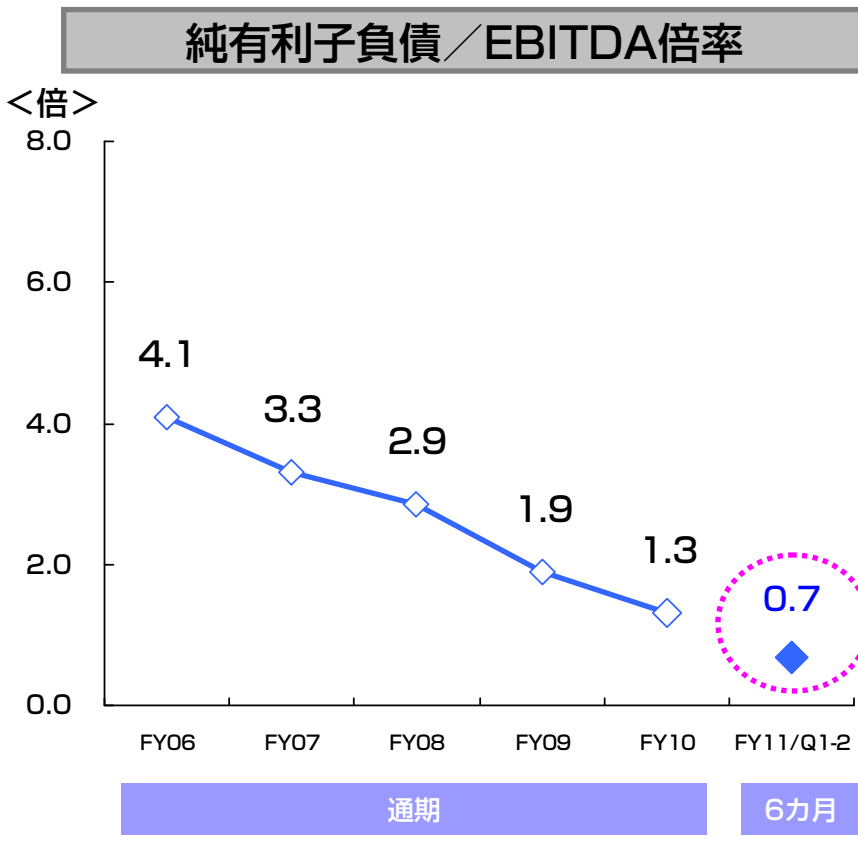
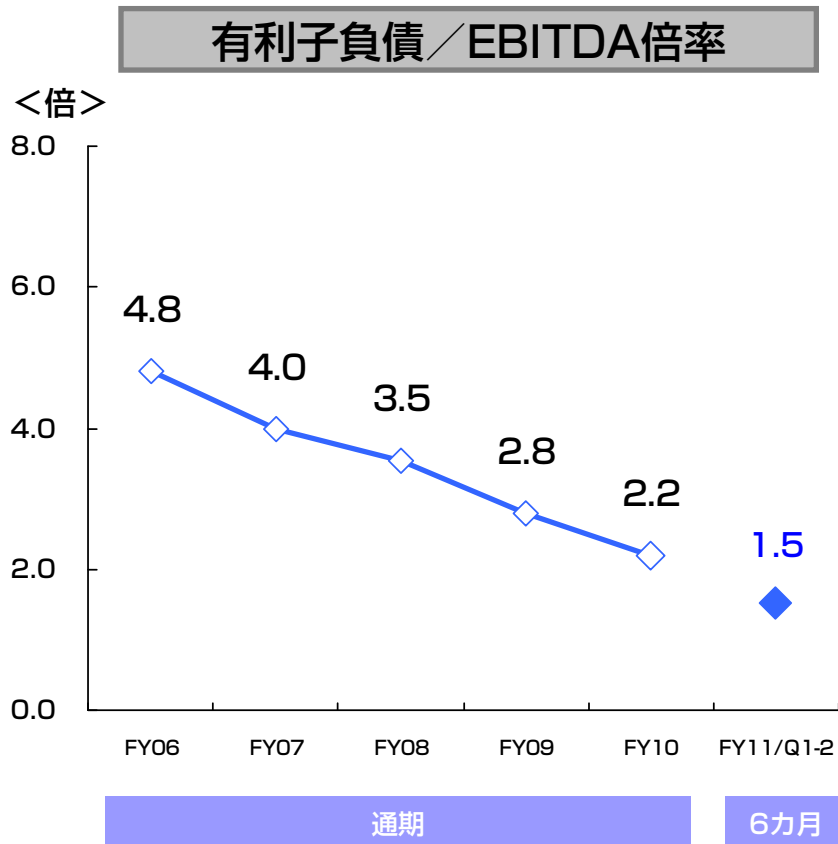
**連結CFの一体運営が可能、格付け向上へ
金利コスト削減**

7/22	リファイナンス 借入契約締結(総額 5,500億円)
7/27	第1回借入実行および SBM手元資金により返済
10/27	第2回借入実行および SBM手元資金により完済

※ SBMローン：ボーダフォン日本法人の買収のために調達した資金を、2006年11月に事業証券化（WBS）の手法によりリファイナンスしたもので、2010年3月末以降は、当社が取得したWBS Class B2 Funding Notes（実質的にSBMローンの一部）の額面270億円をSBMローンから控除

指標改善① 有利子負債／EBITDA倍率

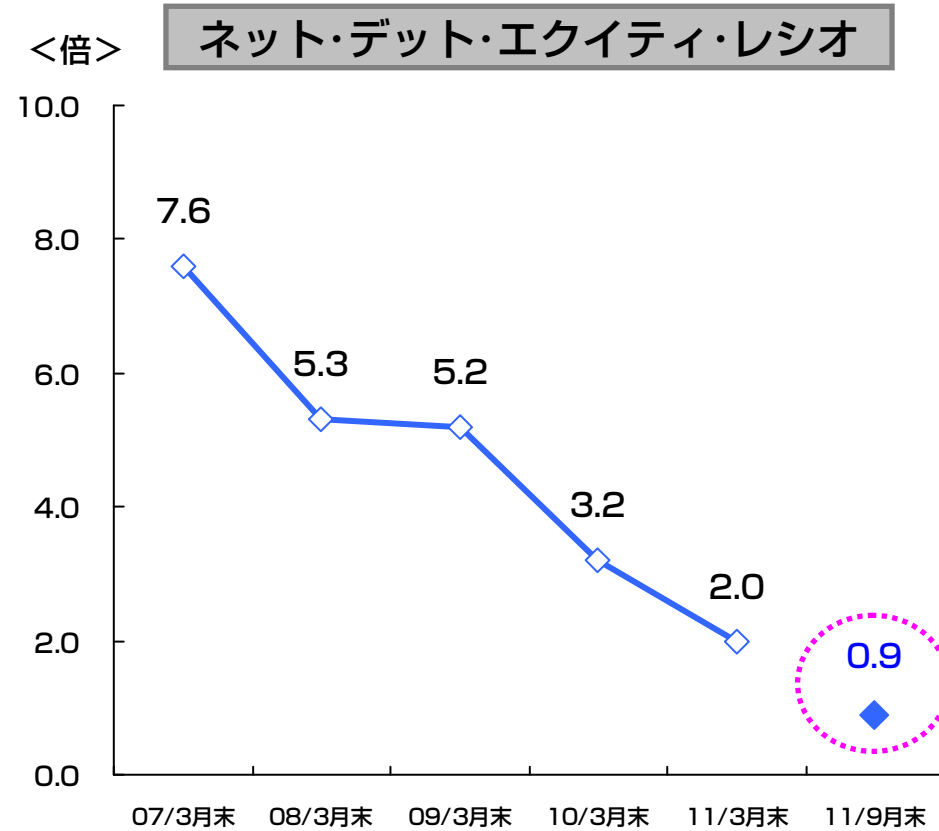
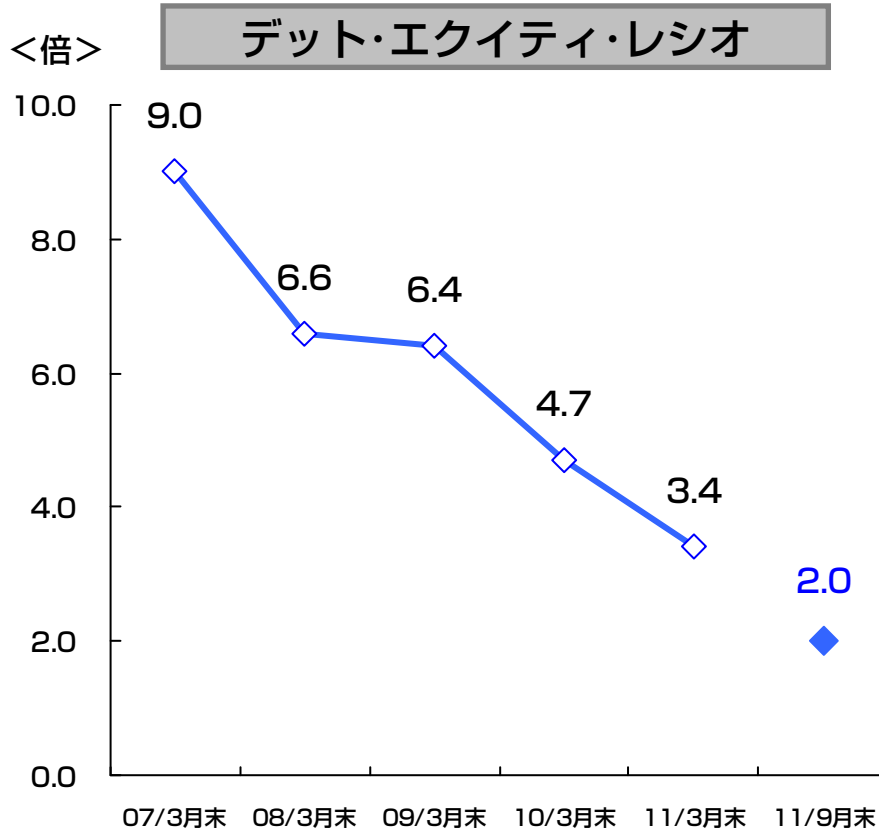
■ 純有利子負債／EBITDA倍率が1倍未満へ



- ※ 1. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性
 2. 有利子負債＝短期借入金＋商業ペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を含まず
 2010年3月末以降は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング(株)）のうち、当社が取得した額面270億円を除く
 3. 手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）
 4. FY06の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正
 5. EBITDA＝営業損益＋減価償却費＋のれん償却費＋営業費用に含まれる固定資産除却損
 6. FY11/Q2の有利子負債/EBITDA倍率および純有利子負債/EBITDA倍率：EBITDAのQ1-2実績を2倍し年換算した値を基に算出

指標改善② デット・エクイティ・レシオ

■ ネット・デット・エクイティ・レシオが1倍未満へ

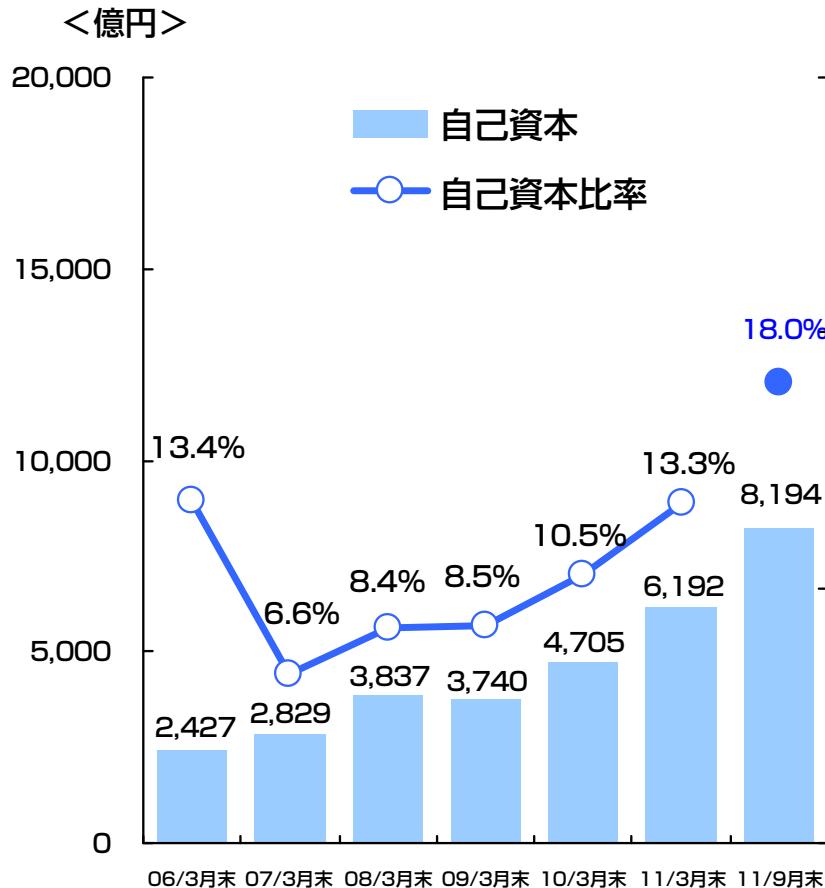


- ※ 1. デット・エクイティ・レシオ=有利子負債÷自己資本
- 2. ネット・デット・エクイティ・レシオ=純有利子負債÷自己資本
- 3. 純有利子負債=有利子負債-手元流動性
- 4. 有利子負債=短期借入金+商業紙+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金。リース債務を含まず
2010年3月末以降は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング株式会社）のうち、当社が取得した額面270億円を除く
- 5. 手元流動性=現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）
- 6. 07/3月末の有利子負債・純有利子負債は株券寄託取引に係る預り担保金残高を加算して遡及修正

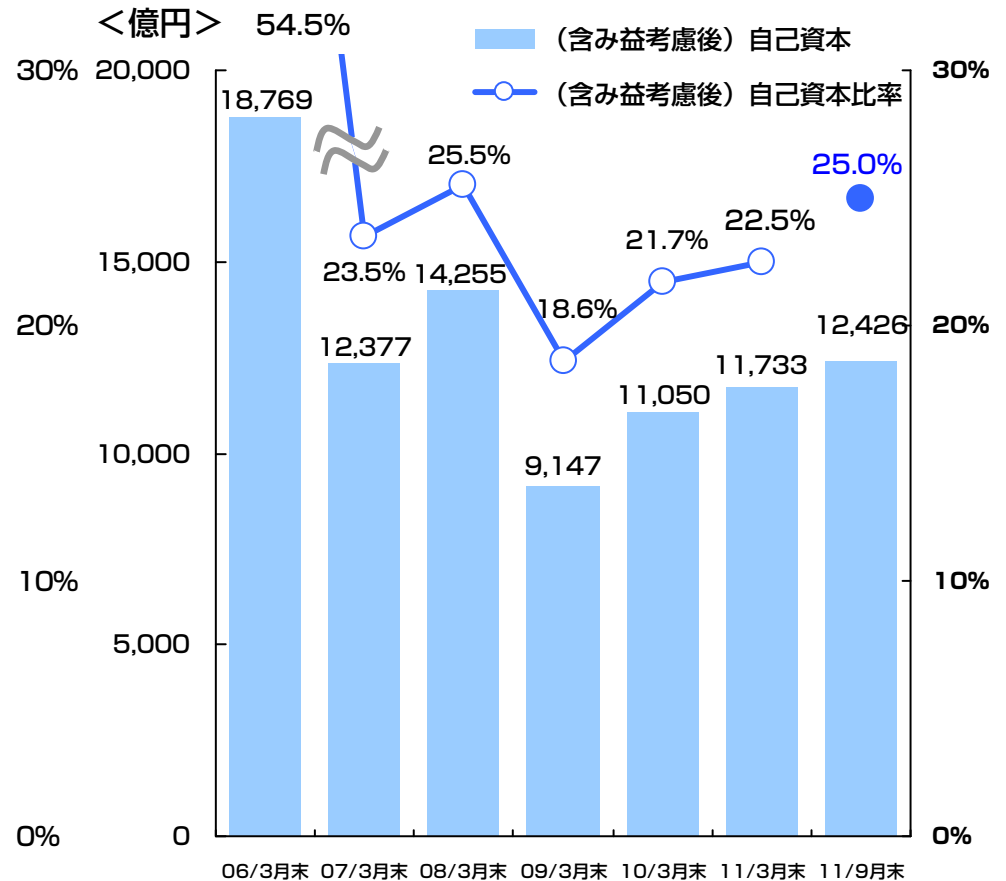
指標改善③ 自己資本比率

■ 自己資本比率が大幅改善

自己資本比率



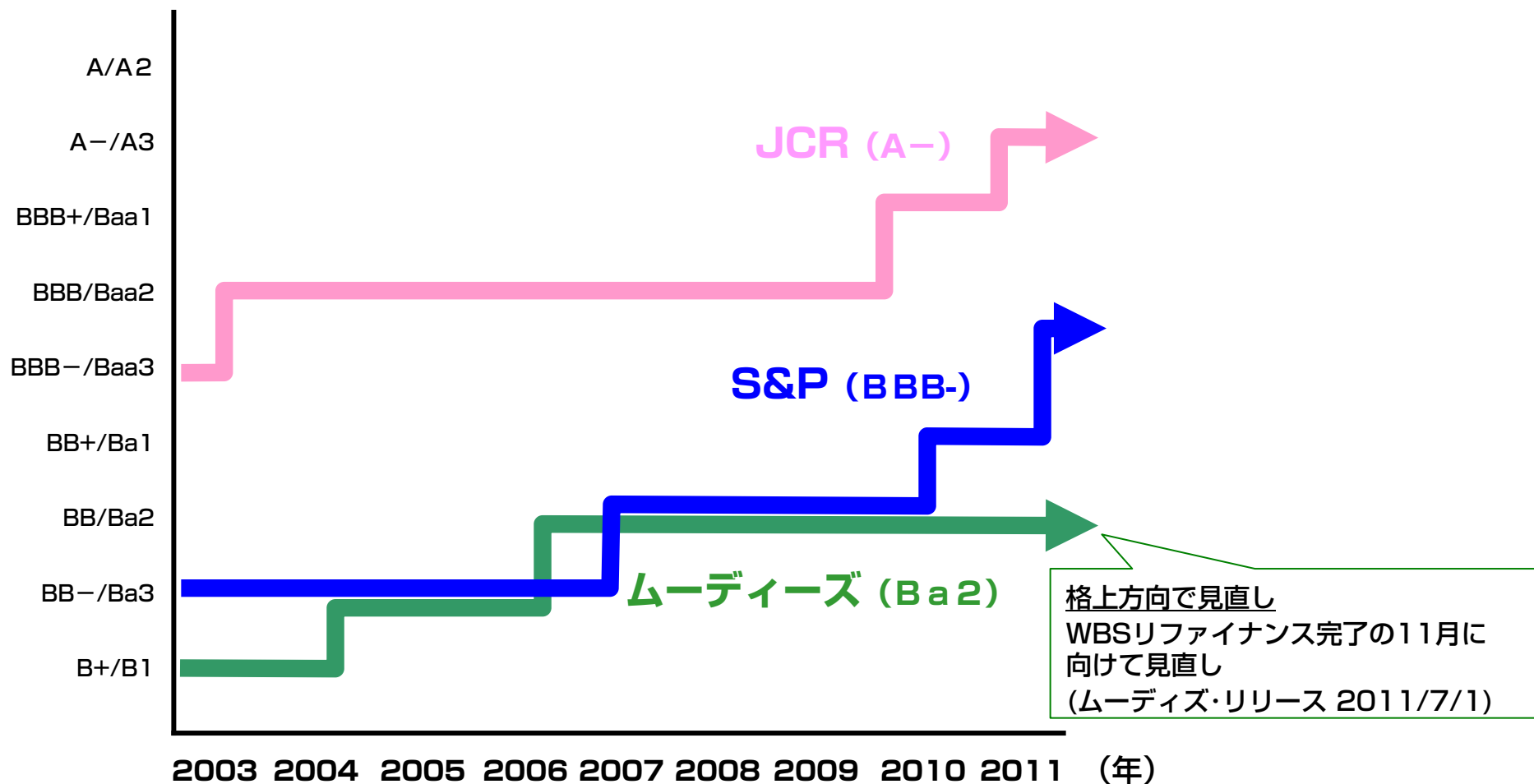
(ご参考) 自己資本比率[※]
 <株式含み益考慮後>



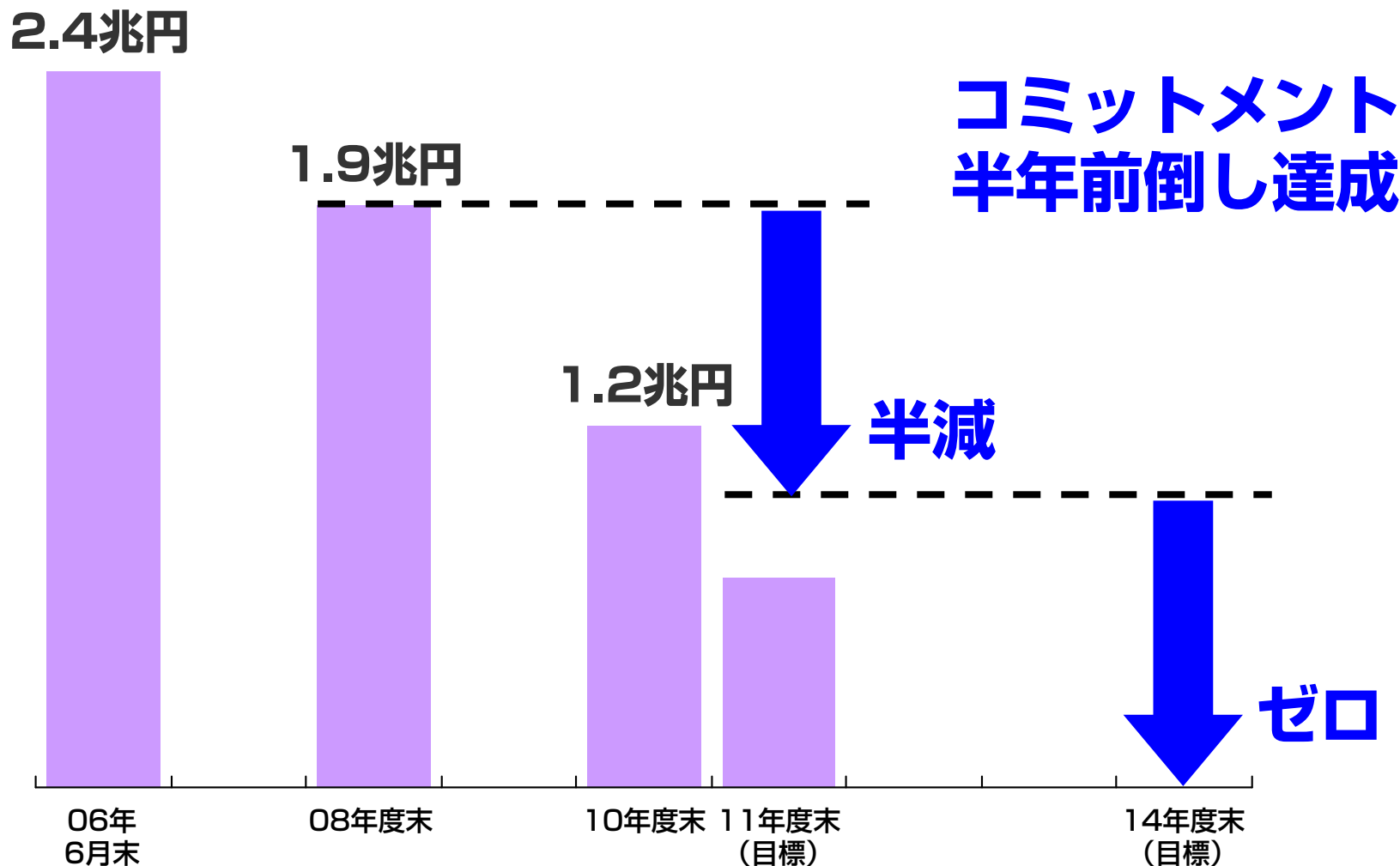
※ 株式含み益考慮後の自己資本および自己資本比率は、当社および当社国内外100%子会社などが直接保有する、投資有価証券(上場・公開企業のみ)の各期末の株価に基づき当社算出
 算出過程の詳細は「2012年3月期第2四半期 決算アナリスト説明会 補足資料」の8ページを参照

ソフトバンク格付けの推移

■ ムーディーズは格上方向で見直し中



純有利子負債削減コミットメント



- ※ 1. 純有利子負債＝有利子負債－手元流動性
- 2. 有利子負債＝短期借入金＋コマーシャルペーパー＋1年内償還予定の社債＋社債＋長期借入金。リース債務を含まず
2010年3月末以降は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング株）のうち、当社が取得した額面270億円を除く
- 3. 手元流動性＝現金及び預金＋流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）
- 4. 半減：08年度末から

コミットメントに変更なし

3年間累計FCF[※] 1兆円超 (2009~2011年度)

純有利子負債[※] 半減 (2011年度末までに)

純有利子負債[※] ゼロ (2014年度末までに)

達成までの間は大規模投資は実行しない

※1. フリーキャッシュフロー(FCF、純現金収支) = 営業活動によるキャッシュフロー + 投資活動によるキャッシュフロー

2. 純有利子負債 = 有利子負債 - 手元流動性

3. 有利子負債 = 短期借入金 + コマーシャルペーパー + 1年内償還予定の社債 + 社債 + 長期借入金。リース債務を含まず
2010年3月末以降は、ボーダフォン日本法人の買収に伴う事業証券化スキームにおいて発行された社債（銘柄：WBS Class B2 Funding Notes、発行体：J-WBSファンディング(株)）のうち、当社が取得した額面270億円を除く

4. 手元流動性 = 現金及び預金 + 流動資産に含まれる有価証券（当社米国子会社が保有していたYahoo! Inc.株式を除く）

2011年度の財務戦略

成長戦略と財務改善のバランス追求

1. さらなる成長への足固め

- フリーキャッシュフローを設備投資に優先配分
- 戦略的事業投資にも積極対応
- 投資先企業の価値向上に注力

2. 信用力強化は新たなステージへ

- WBSリファイナンスによりノンリコースローン完済へ
- 純有利子負債ゼロへ向けた着実な債務削減
- 財務改善・WBSリファイナンスにより格付けUP実現へ

3. 投資家および市場重視の徹底

- 調達手段の多様性と柔軟性を引き続き追求
- 国内外金融機関との関係強化継続し、主要市場へアクセス

(ご参考) 社債明細表

<百万円>

会社名	銘柄	発行年月日	償還期限	利率 (%、年)	担保	11年3月末	11年9月末	対前期末比
ソフトバンク	第27回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス)*	2009年6月11日	2011年6月10日	5.10	なし	60,000	-	▲ 60,000
	第25回無担保普通社債	2007年6月19日	2011年6月17日	3.39	なし	53,500	-	▲ 53,500
	第28回無担保普通社債	2009年7月24日	2012年7月24日	4.72	なし	30,000	30,000	-
	第29回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス)*	2009年9月18日	2012年9月18日	4.52	なし	65,000	65,000	-
	2013年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債**	2003年12月30日	2013年3月31日	1.50	なし	49,998	49,988	▲ 10
	第31回無担保普通社債	2010年6月2日	2013年5月31日	1.17	なし	25,000	25,000	-
	第33回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス)*	2010年9月17日	2013年9月17日	1.24	なし	130,000	130,000	-
	2014年満期ユーロ円建 転換社債型新株予約権付社債	2003年12月30日	2014年3月31日	1.75	なし	49,992	-	▲ 49,992
	第37回無担保普通社債	2011年6月10日	2014年6月10日	0.65	なし	-	30,000	30,000
	第26回無担保普通社債	2007年6月19日	2014年6月19日	4.36	なし	14,900	14,900	-
	第30回無担保普通社債	2010年3月11日	2015年3月11日	3.35	なし	30,000	30,000	-
	第32回無担保普通社債	2010年6月2日	2015年6月2日	1.67	なし	25,000	25,000	-
	第34回無担保普通社債	2011年1月25日	2016年1月25日	1.10	なし	45,000	45,000	-
	第36回無担保普通社債 (福岡ソフトバンクホークス)*	2011年6月17日	2016年6月17日	1.00	なし	-	100,000	100,000
	第35回無担保普通社債	2011年1月25日	2018年1月25日	1.66	なし	10,000	10,000	-
ソフトバンクテレコム	第2回無担保普通社債	2004年12月7日	2011年12月7日	2.88	なし	15,000	15,000	-
Phoenix JT	Subordinated Notes Due 2016	2004年12月24日	2016年12月15日	5.95	なし	32,400	32,400	-
その他の社債	-	-	-	-	-	100	100	-
合計	-	-	-	-	-	635,890	602,388	▲ 33,502

* 2013年満期ユーロ円建転換社債は、一定の条件を満たした場合、当社の請求による繰上償還の可能性がある

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

事業編

ソフトバンクモバイル株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクBB株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括 兼 CFO
ソフトバンクテレコム株式会社 取締役 常務執行役員 財務統括

ふじはら
藤原 和彦

通信関連事業の業績概要

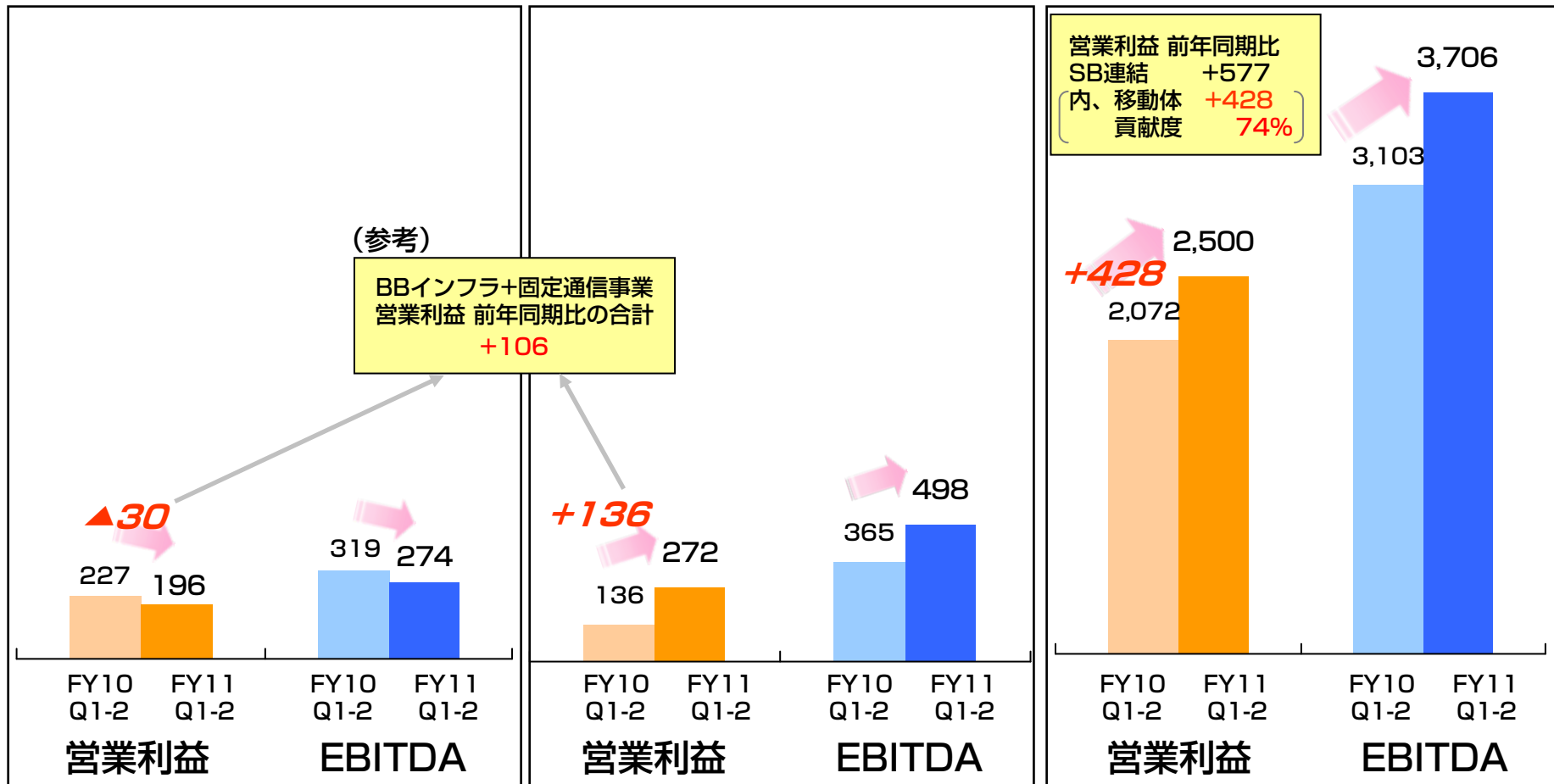
■通信3事業で連結最高益を牽引

<億円>

BBインフラ事業

固定通信事業

移動体通信事業



※ 1. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損
2. BBインフラ事業：ブロードバンド・インフラ事業、SB：ソフトバンク、移動体：移動体通信事業

ブロードバンド・インフラ事業

営業利益・EBITDA

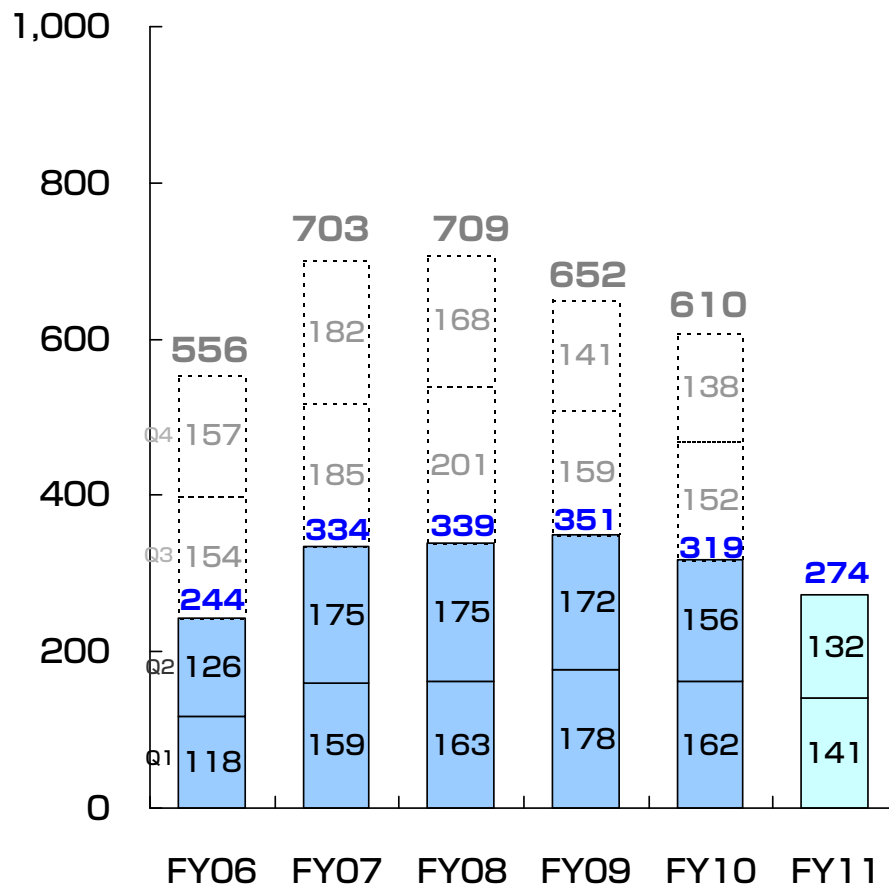
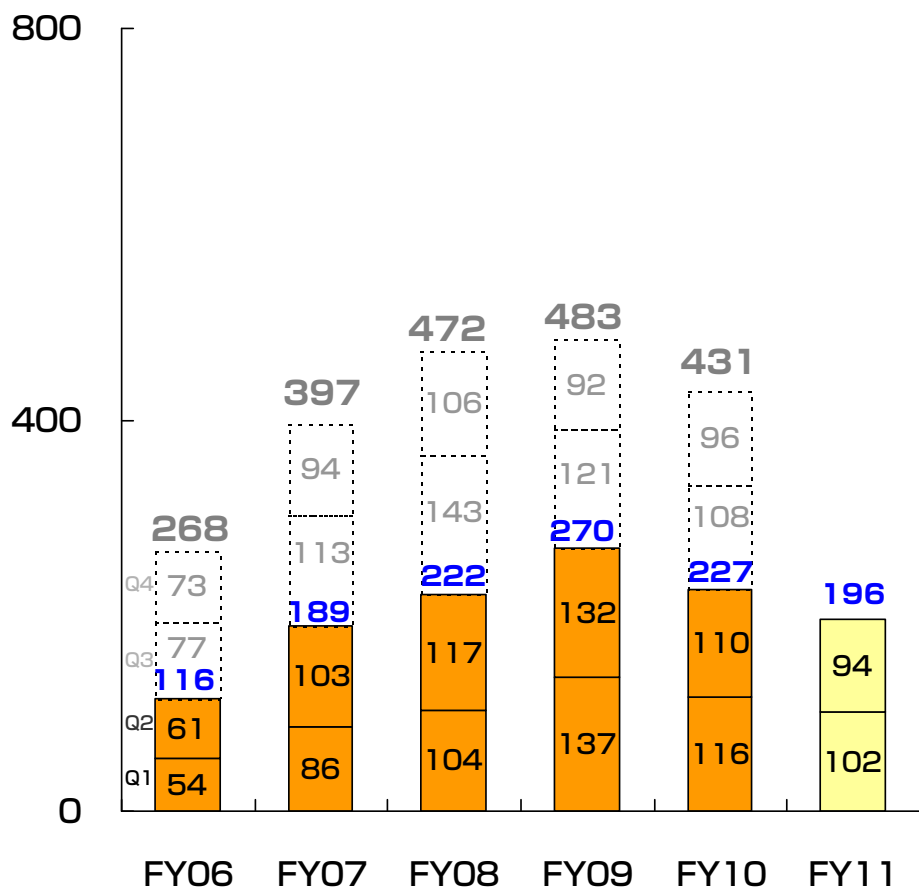
<BB>

■前年同期比減益。回線数増加の取り組みを推進

<億円>

営業利益

EBITDA

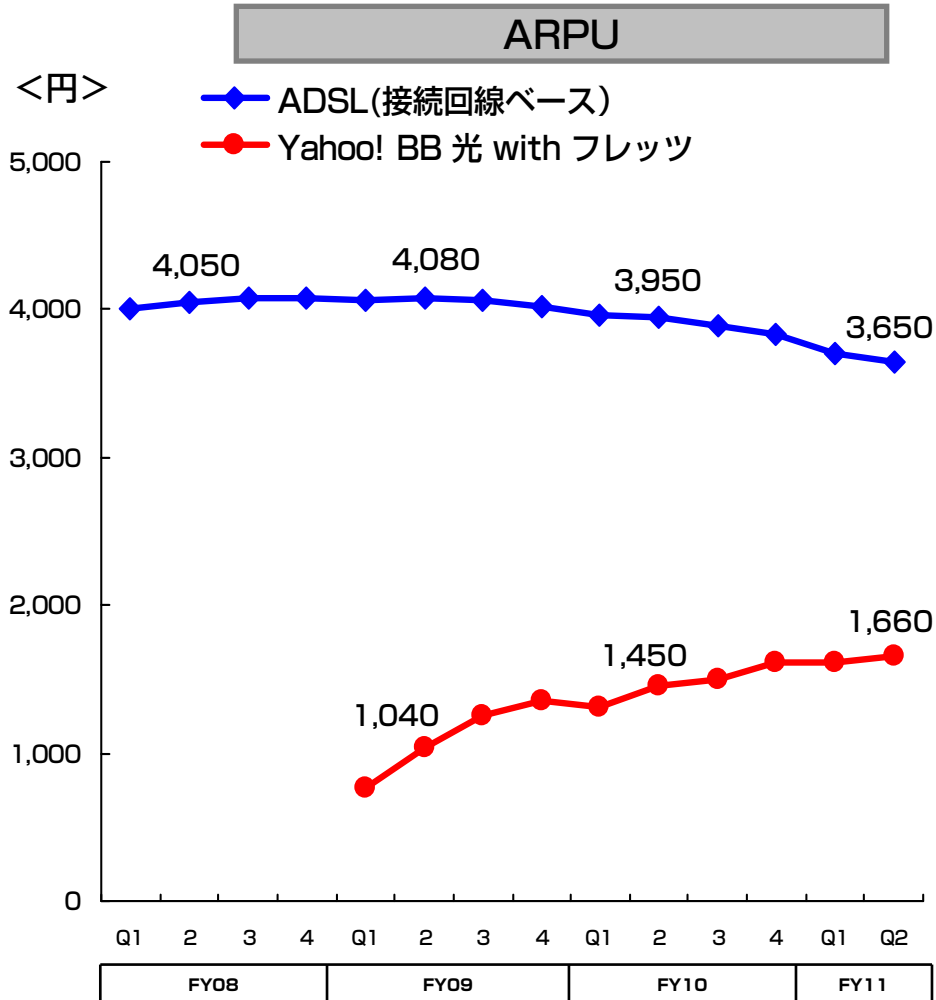
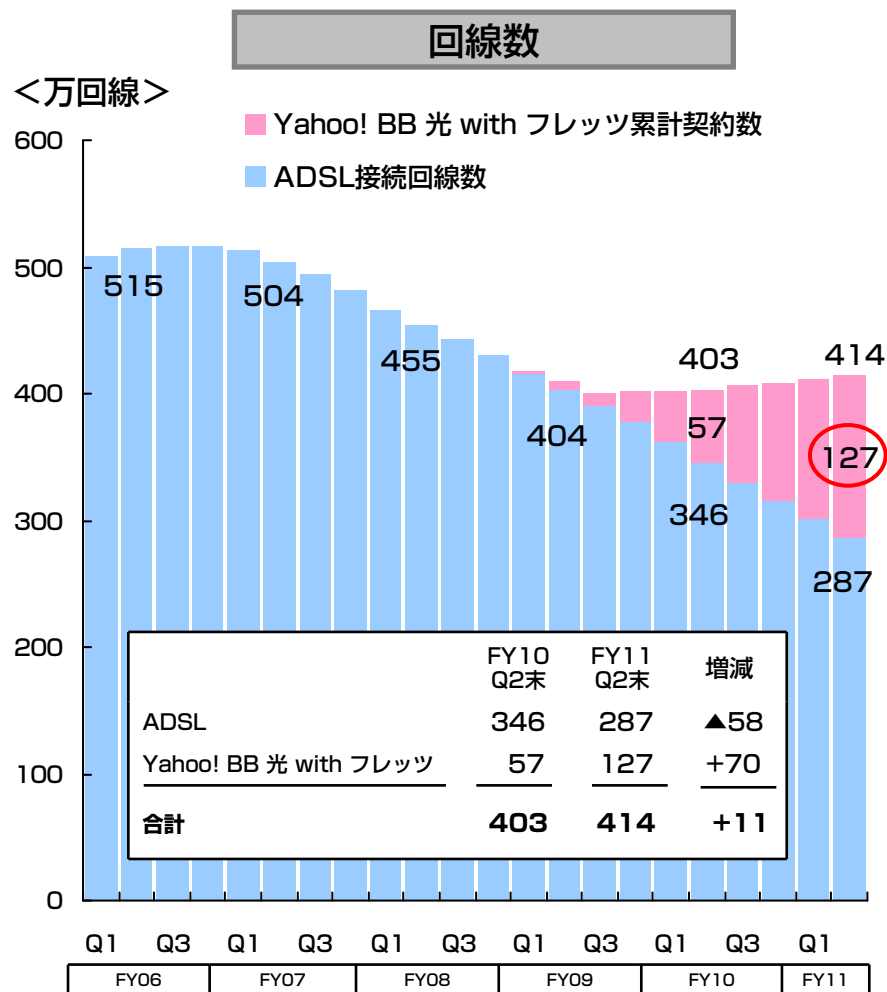


※ 1. セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示
 2. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

Yahoo! BB の回線数・ARPU

<BB>

■ADSL回線数は減少、Yahoo! BB 光 with フレッツが増加。トータルで純増。

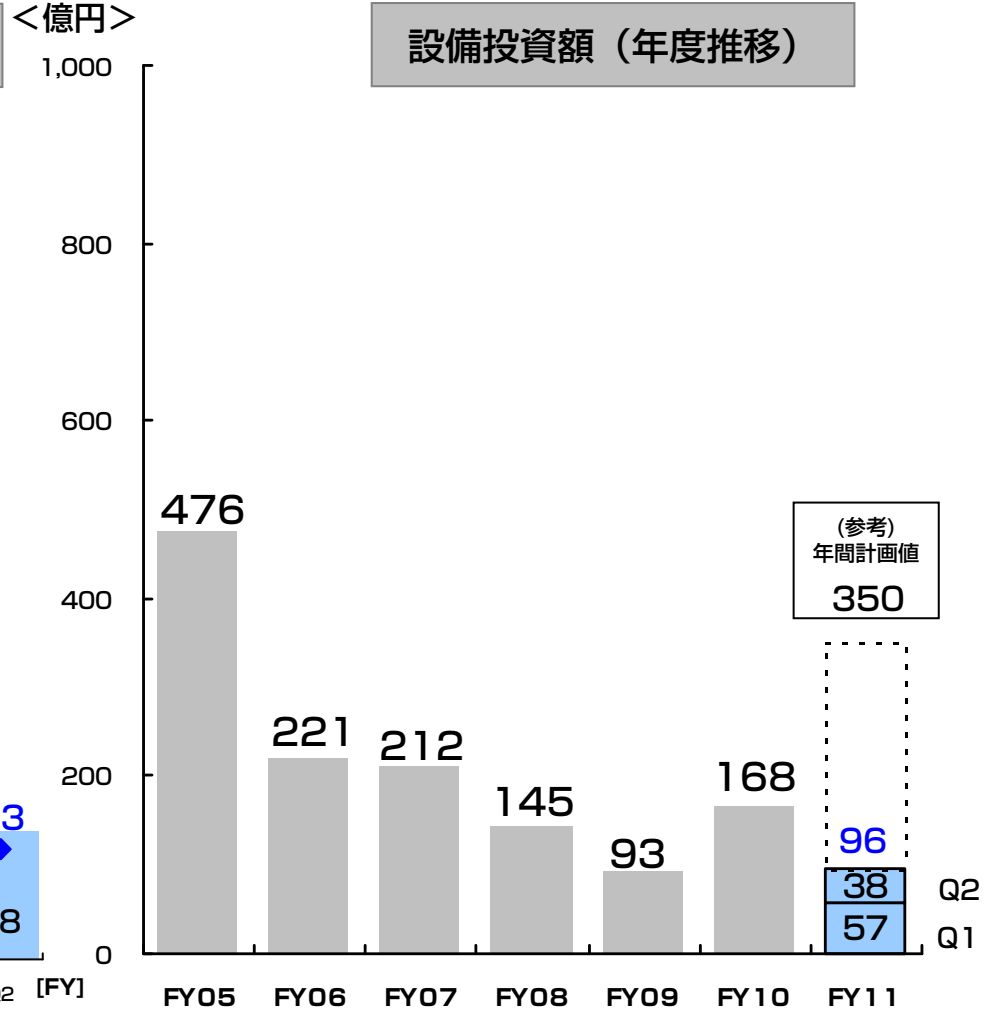
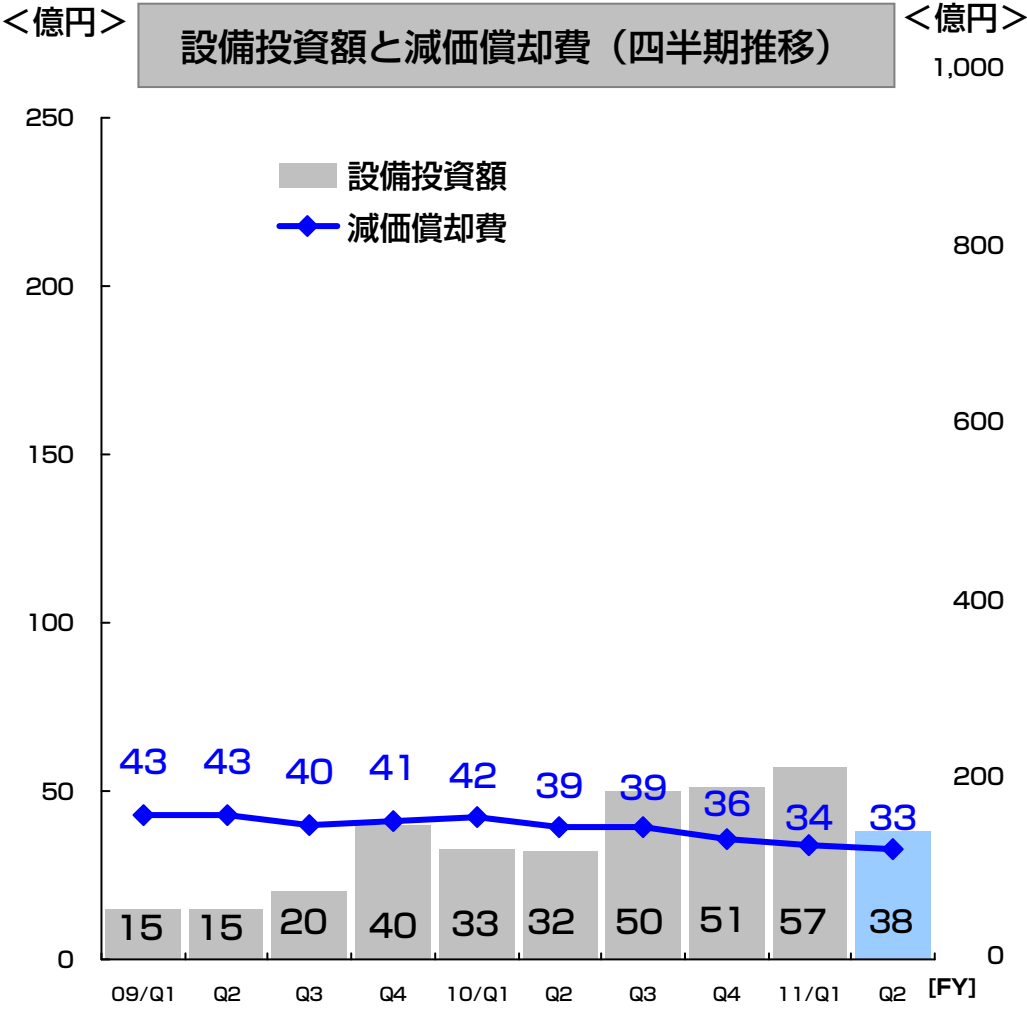


- ※ 1. ADSL接続回線数：東日本電信電話株式会社（以下「NTT東日本」）および西日本電信電話株式会社（以下「NTT西日本」）の局舎において、ADSL回線の接続工事が完了している回線数
 Yahoo! BB 光 with フレッツ累計契約数：NTT東日本およびNTT西日本の局舎において、フレッツ光回線の接続工事が完了しているユーザー数。
 2. Yahoo! BB 光 with フレッツ（YBB光 フレッツ）：インターネット接続サービス「Yahoo! BB」と、NTT東日本とNTT西日本の提供する光回線「フレッツ光」を組み合わせたブロードバンド接続サービス
 「フレッツ」および「フレッツ光」はNTT東日本およびNTT西日本の商標
 3. ARPU（Average Revenue Per User）：1ユーザー当たりの平均収入（10円未満を四捨五入して開示）

設備投資（検収ベース）

<BB>

■設備投資を増強。年間計画350億円（Q1-2進捗率27.4%）



※セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示

固定通信事業

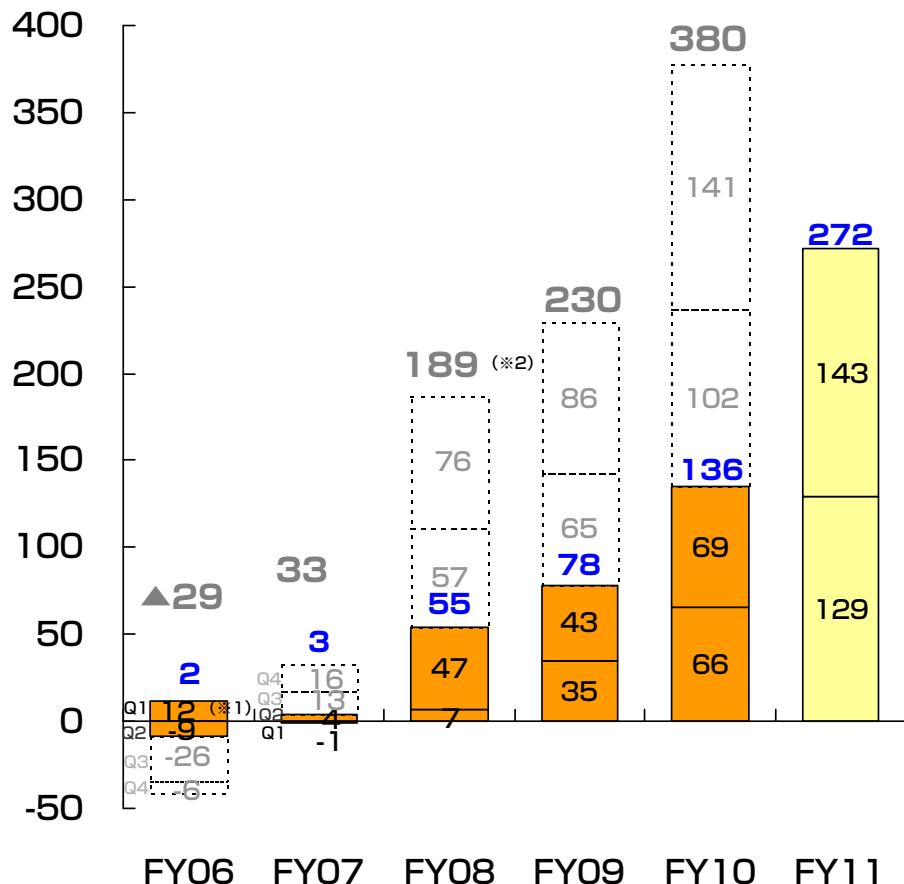
営業損益・EBITDA

<固定>

■法人営業の強化、経営効率化とグループシナジーで増収増益を維持

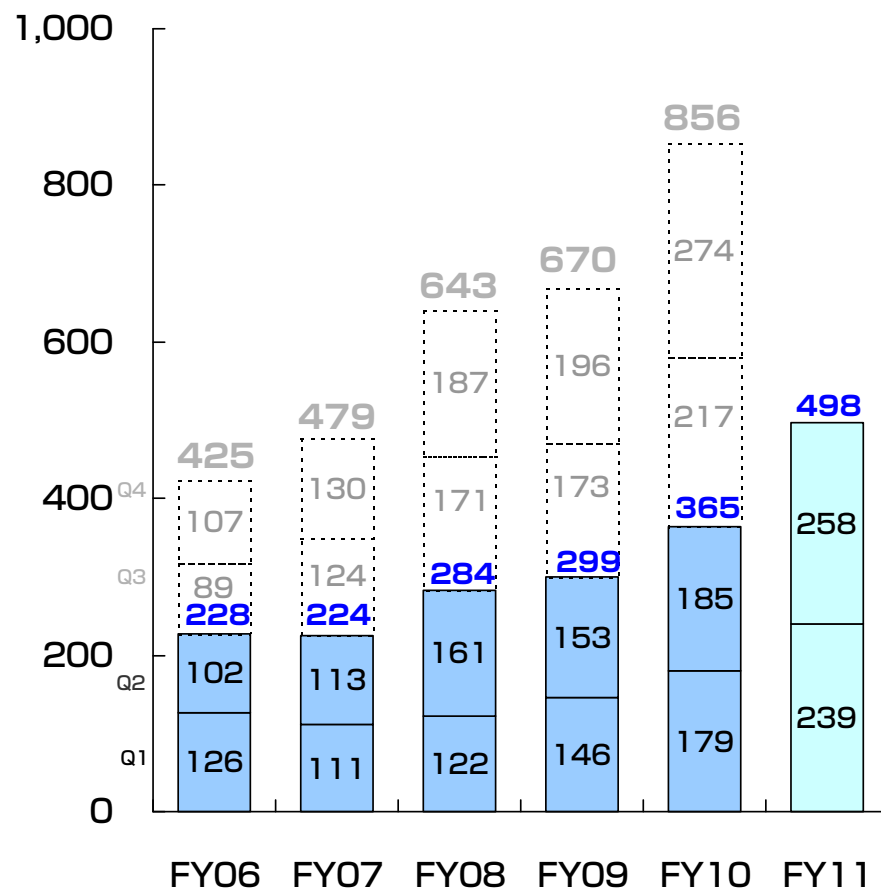
<億円>

営業損益



<億円>

EBITDA



※1. FY06/Q1：一時的要因（退職給付戻入）25億円を含む

※2. FY08：旧ソフトバンク | DCソリューションズ(株) (FY08年度末ヤフー(株)と合併) による営業利益20億円を含む

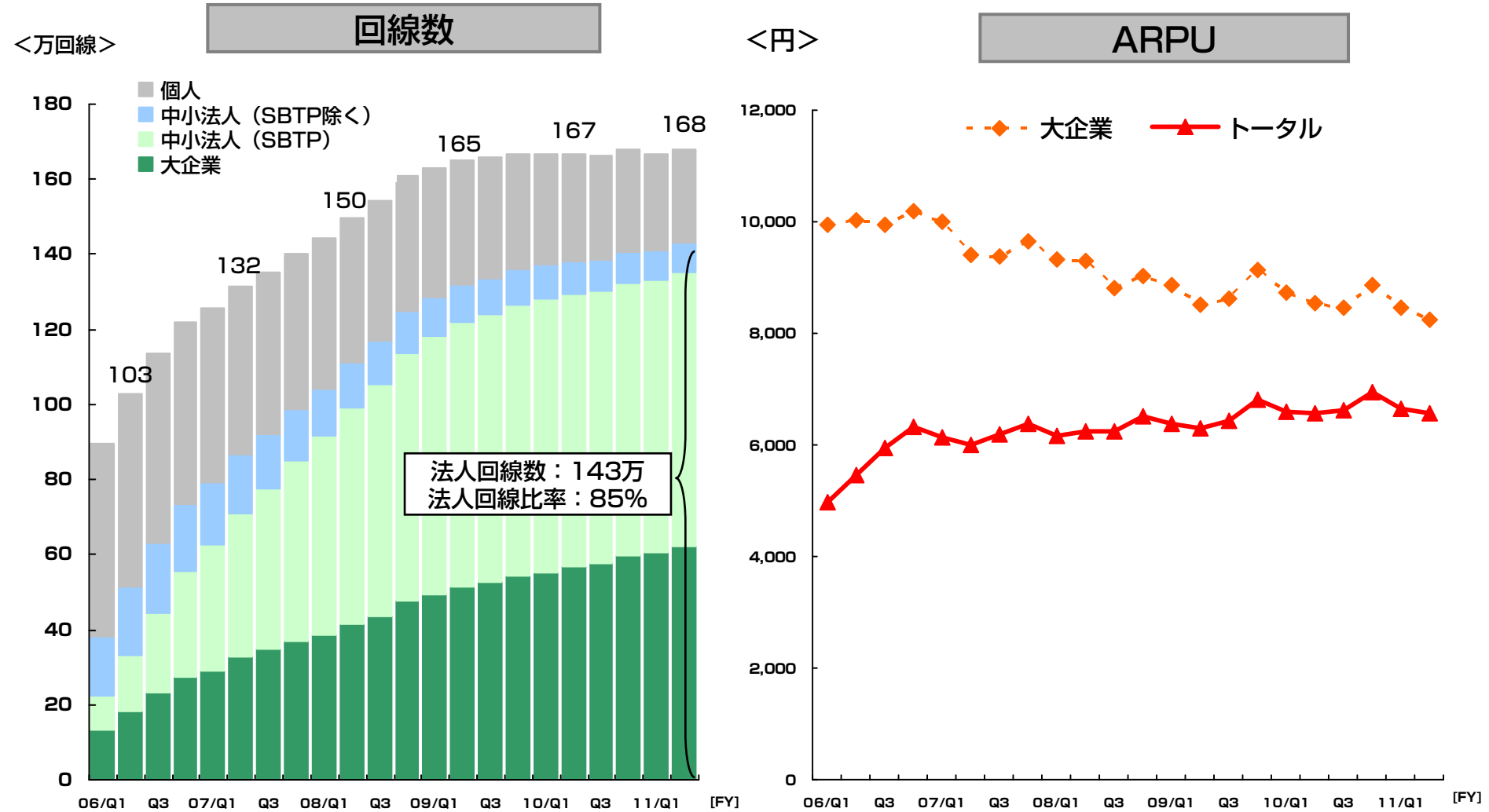
※3. EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

※4. セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示

おとくライン 回線数・ARPU

<固定>

■回線数とARPUは法人営業の強化で堅調に推移

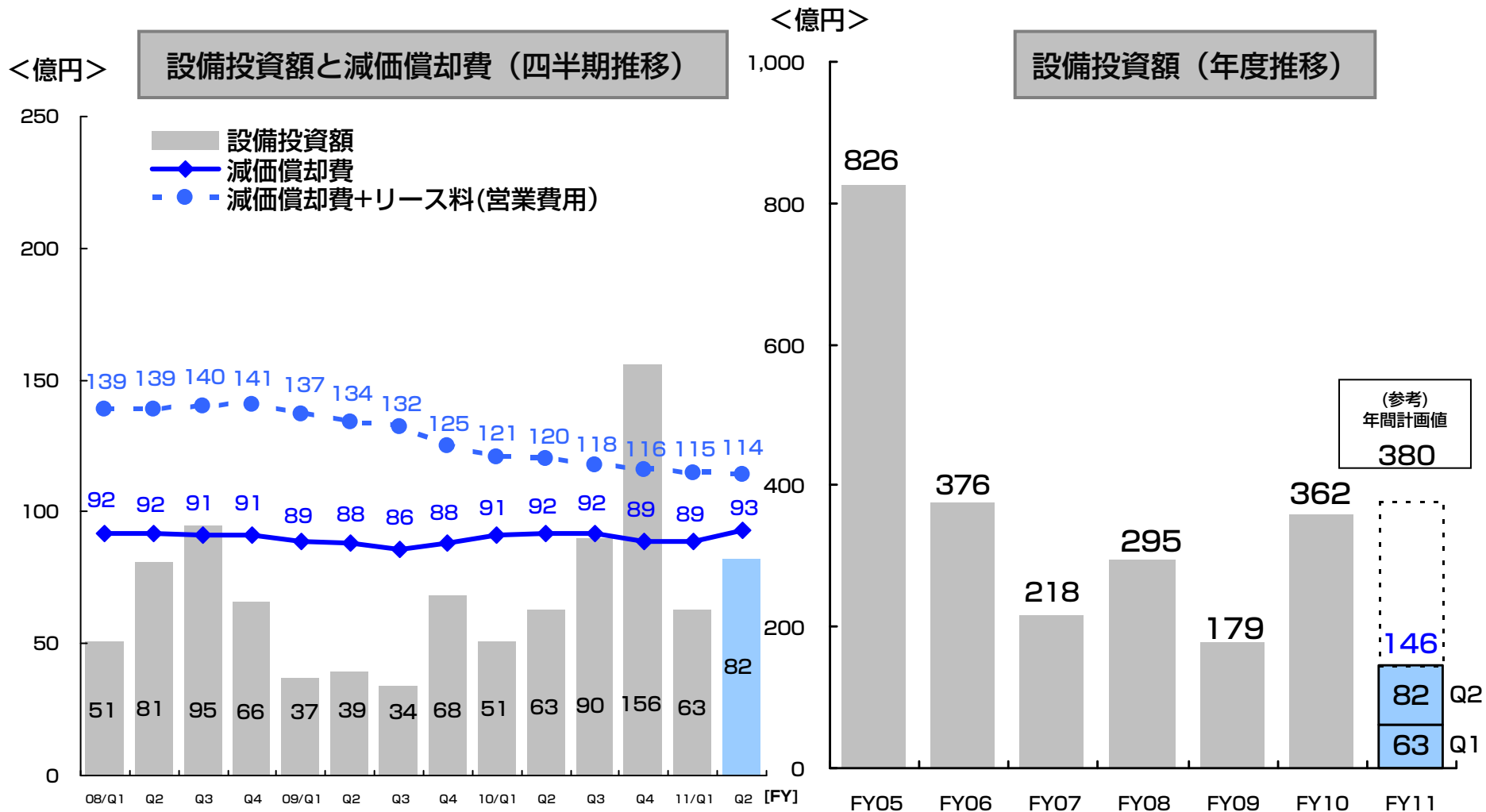


※ 1. ARPU (Average Revenue Per User) : 1回線当たりの平均収入 (10円未満を四捨五入して開示)
2. SBTP : ソフトバンクテレコムパートナーズ

設備投資（検収ベース）

<固定>

■年間計画380億円(Q1-2進捗率38.4%)。減価償却費+リース料は減少傾向



※セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示

移動体通信事業

The logo consists of two horizontal gray bars stacked vertically, positioned to the left of the text.

SoftBank

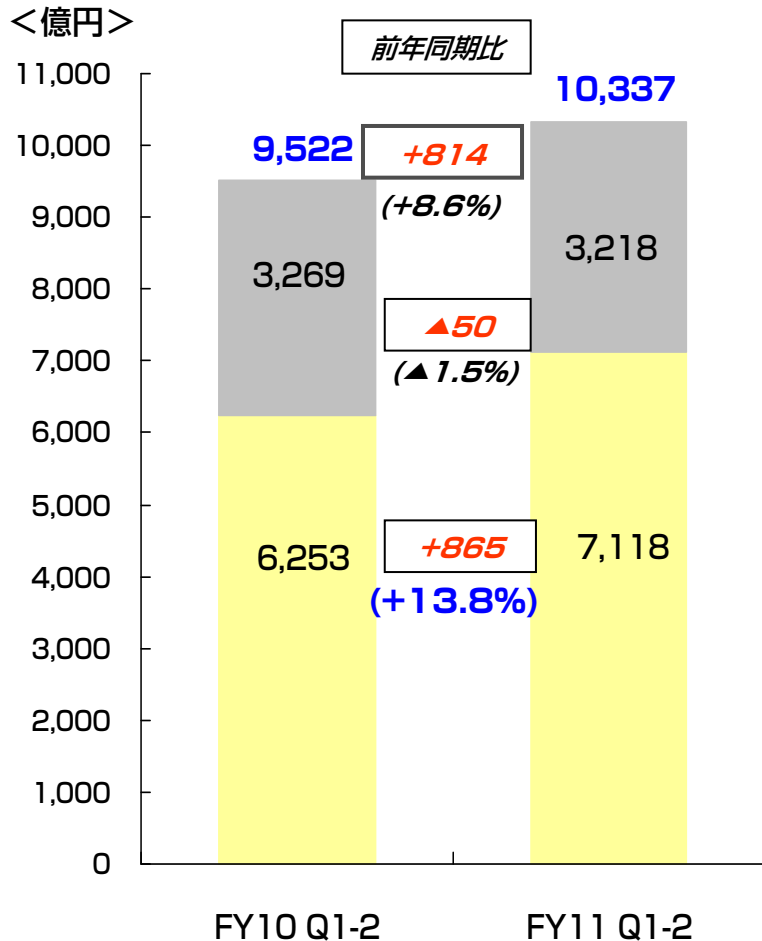
SBM連結 売上高

<移動体>

■売上8.6%増 (電気通信事業の増加率13.8%は過去最高)^{*}

SBM連結 営業収益

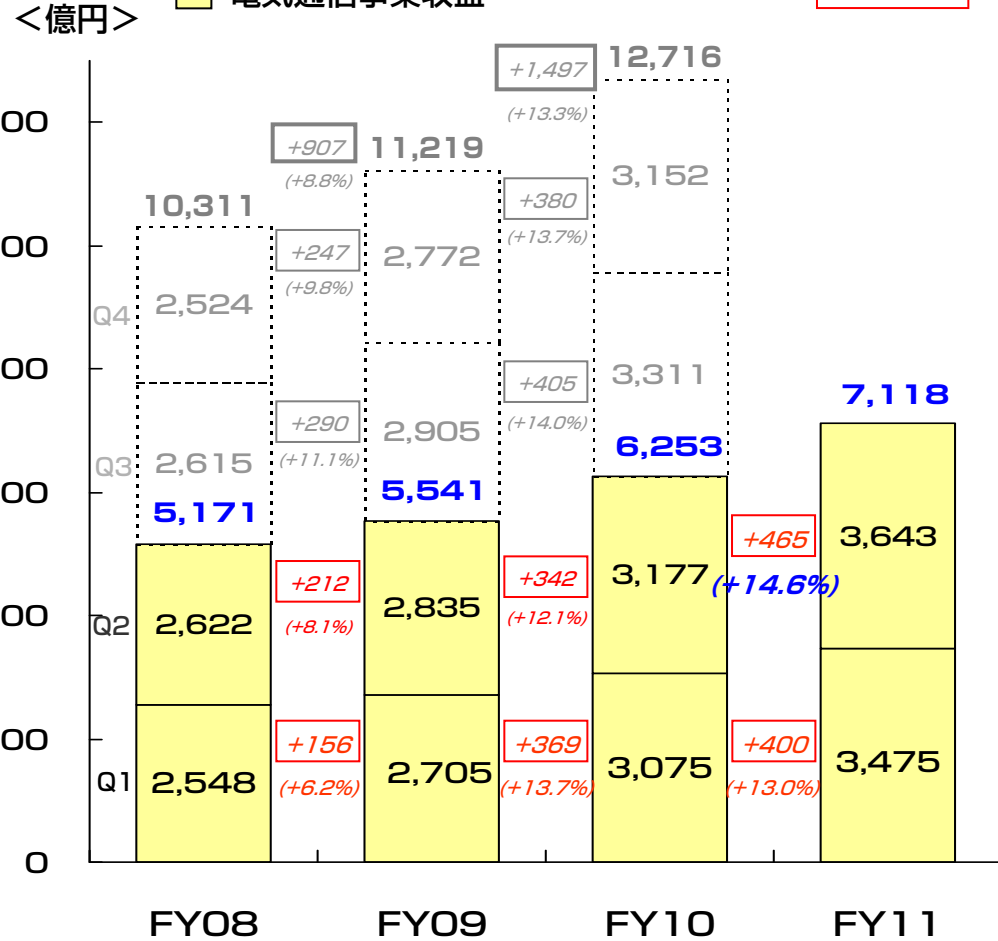
■ 電気通信事業収益 ■ 附帯事業収益



SBM連結 電通収益 (四半期比較)

■ 電気通信事業収益

前年同期比

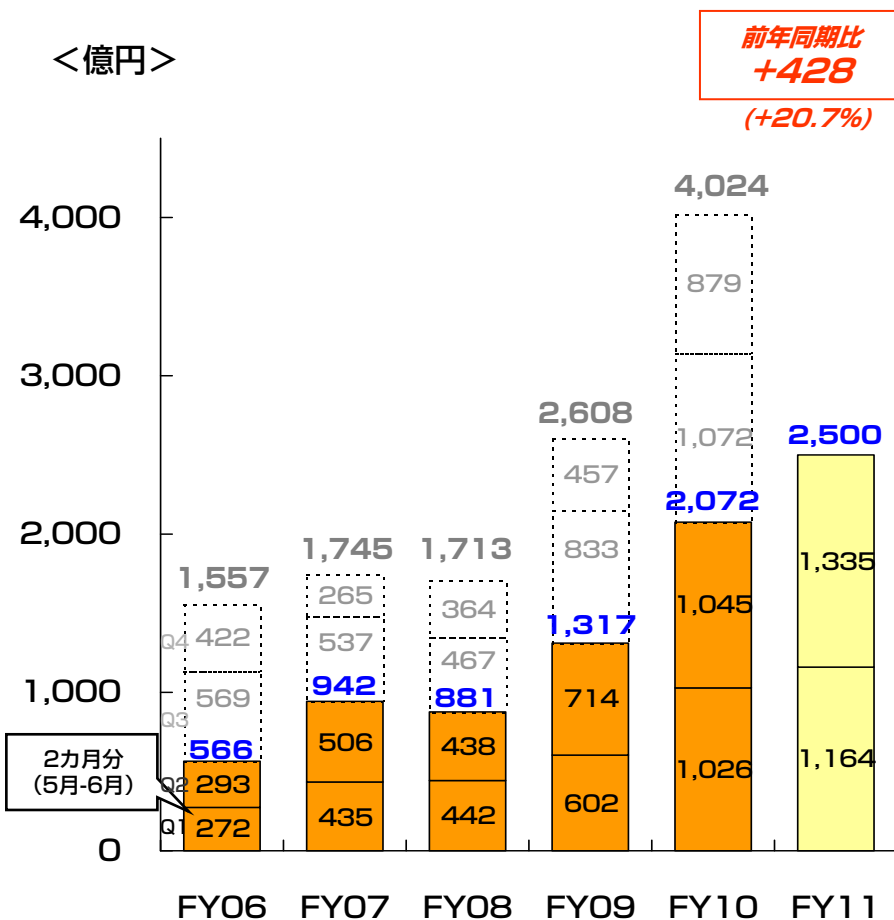


営業利益・EBITDA (SB連結)

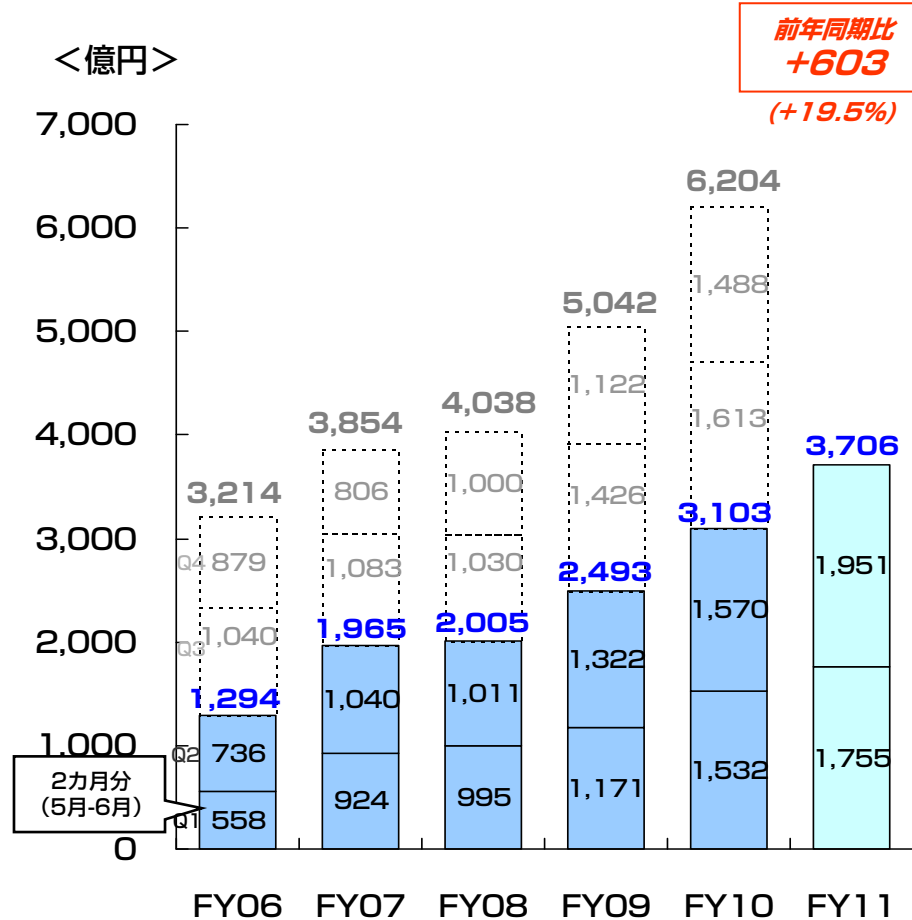
<移動体>

■増収増益で最高益更新。[※] 前年同期比**20.7%**の増益

営業利益 (移動体通信事業)



EBITDA (移動体通信事業)



※ 当社が移動体通信事業セグメントを設置した2006年度以降セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示

EBITDA=営業損益+減価償却費+のれん償却額+営業費用に含まれる固定資産除却損

SB：ソフトバンク

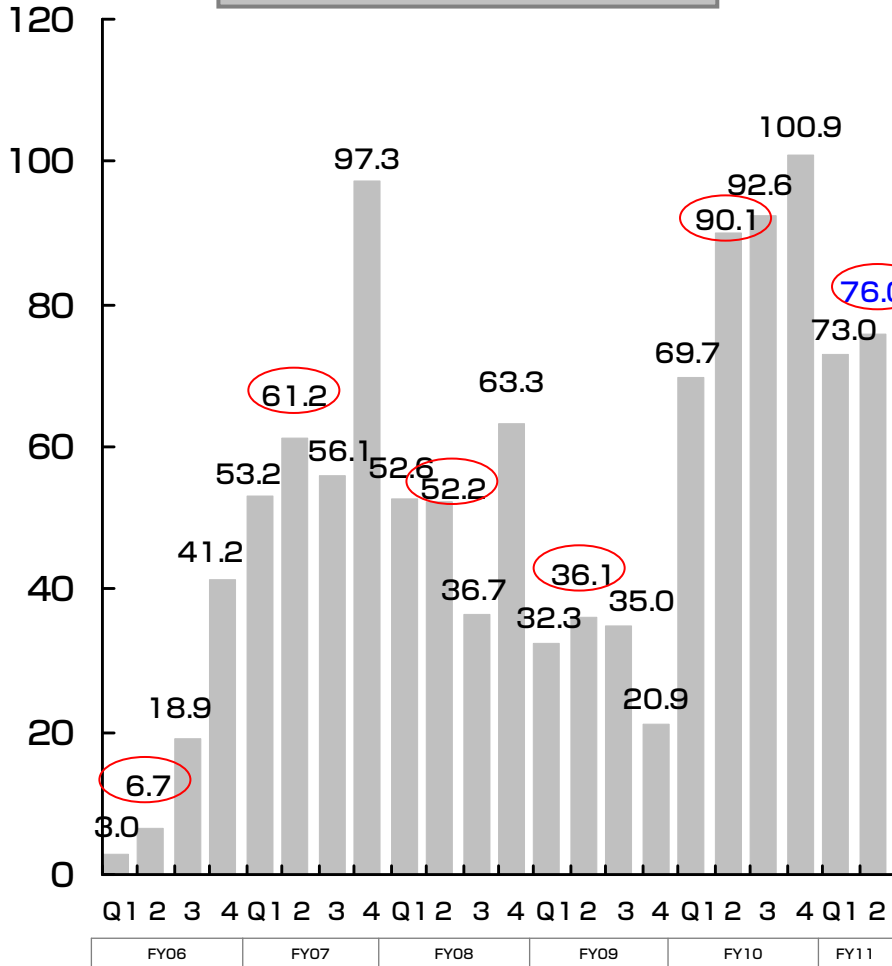
契約数（四半期純増数・累計）

<移動体>

■2Q純増数は76万件。累計契約数は、前年同期末比 +342万件

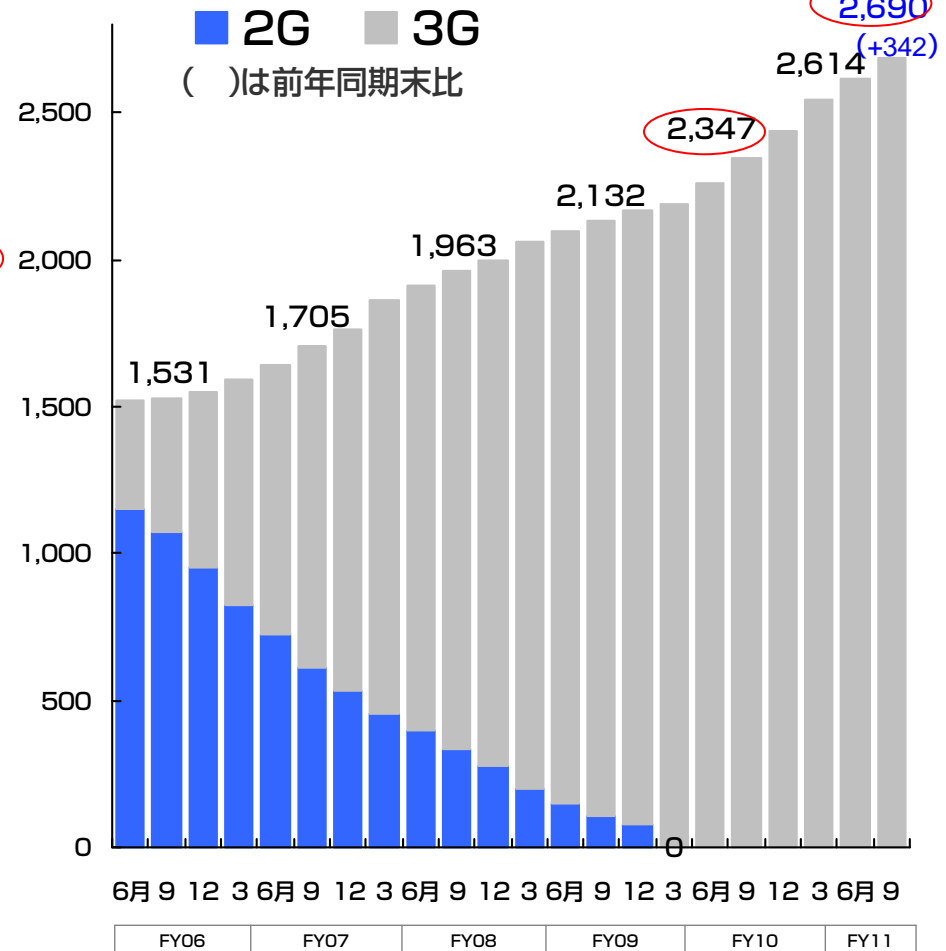
<万件>

純増契約数



<万件>

累計契約数

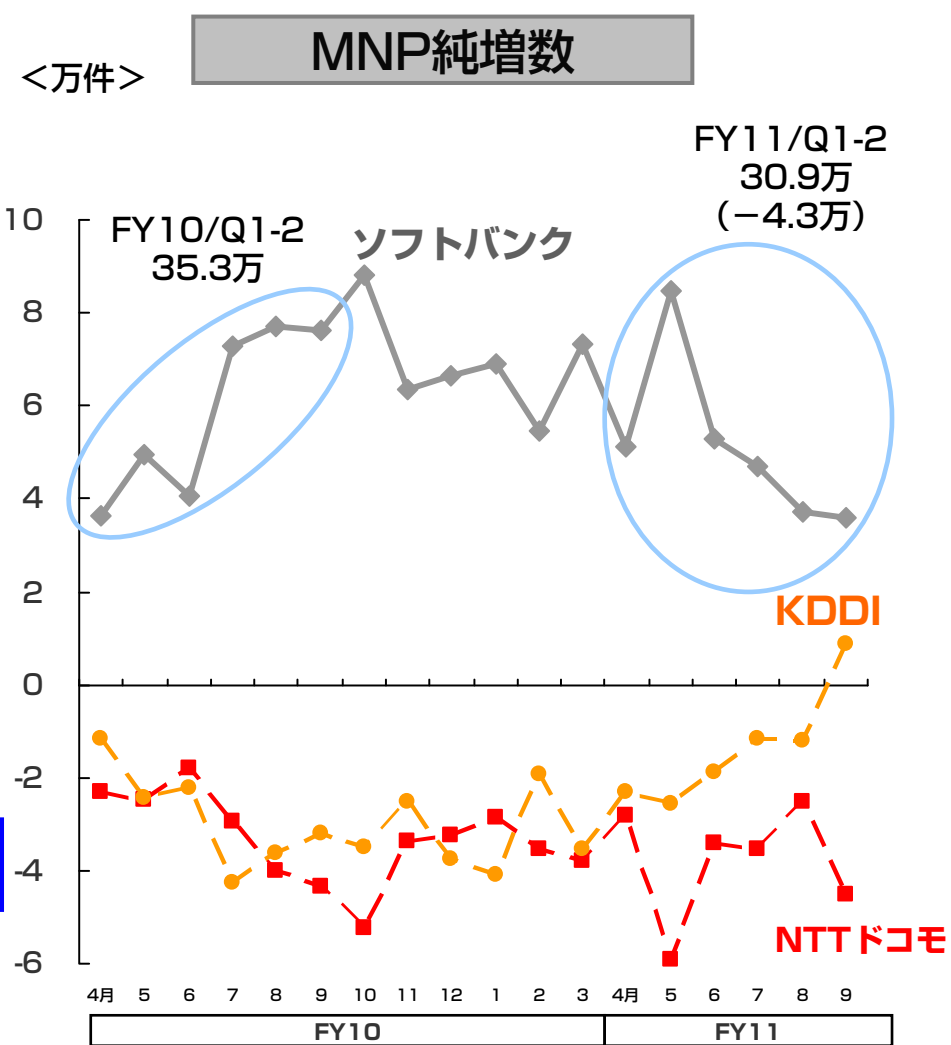
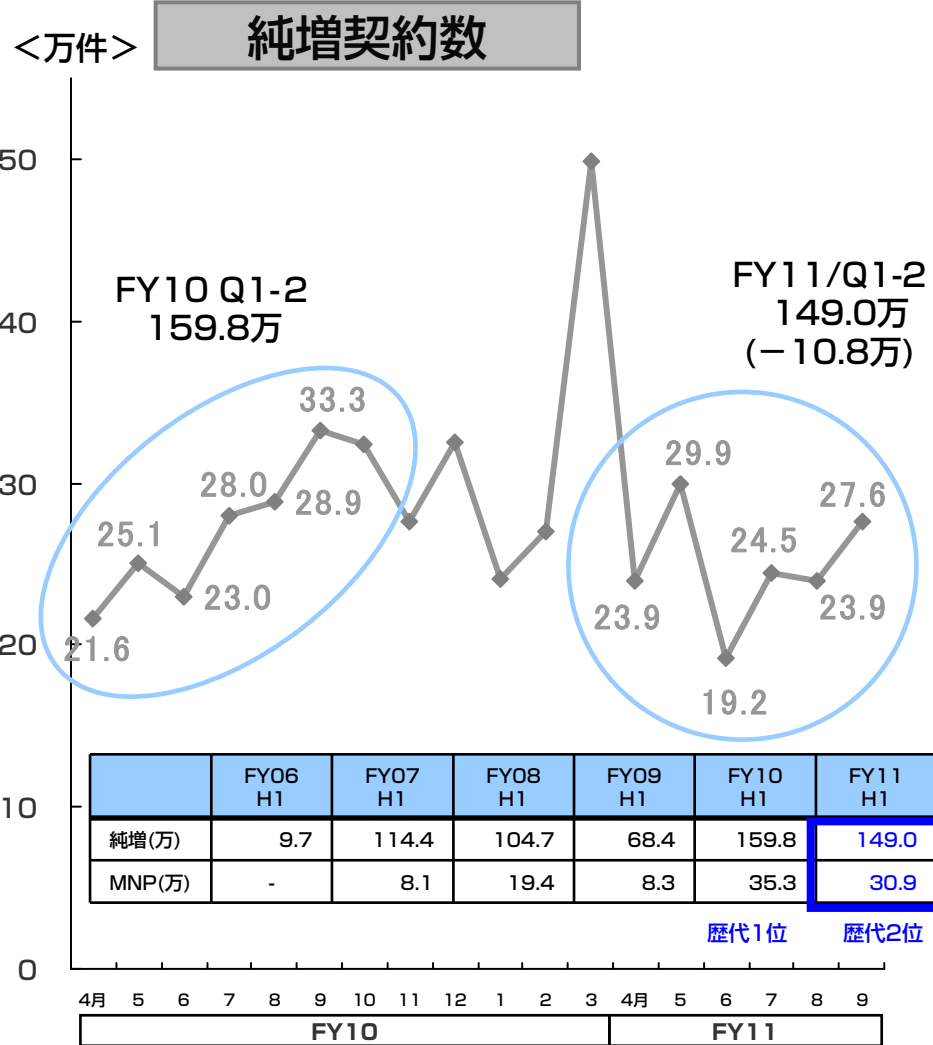


※プリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数を含む

純増契約数 (月次)

<移動体>

■ 上期純増は149万、MNPは30.9万でいずれも歴代2位の実績



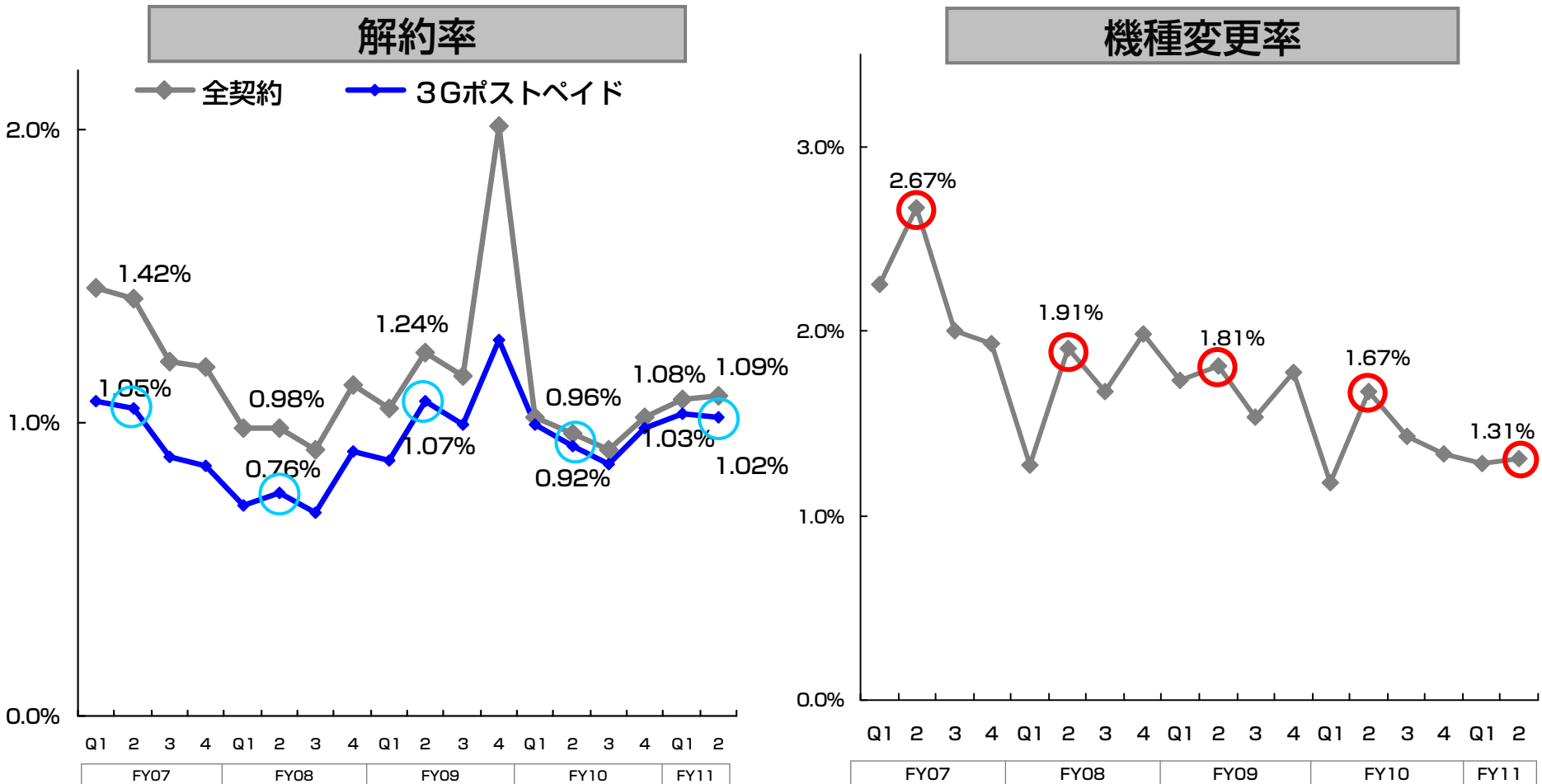
※純増契約数：プリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数を含む

※当社調べ

解約率と機種変更率

<移動体>

■解約率：前年同期比上昇。機種変更率：前年同期比減少
 (解約率・機種変更率ともFY09末までは2G停波の影響あり)



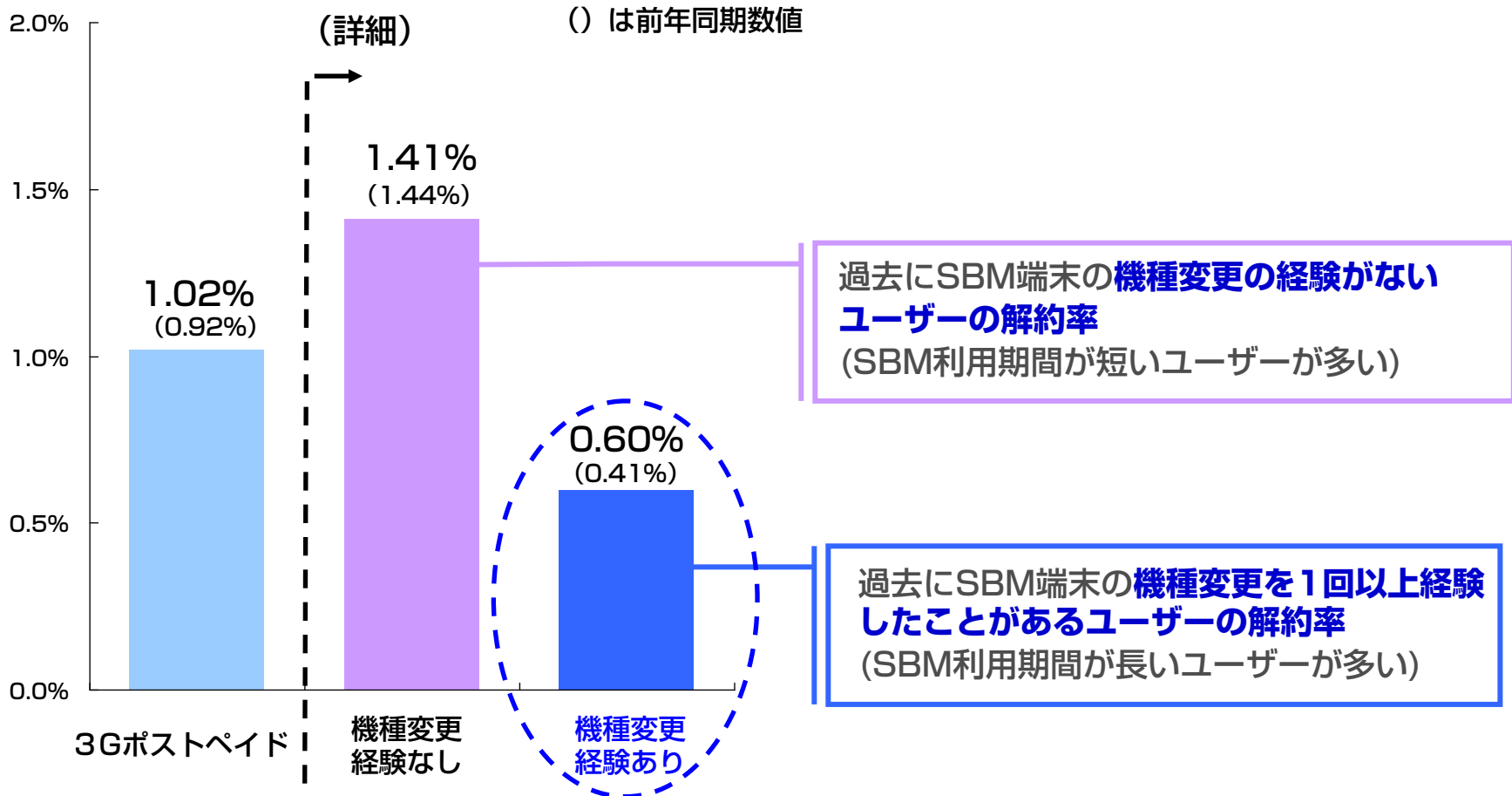
※1. 解約率(全契約)、機種変更率はプリペイド式携帯電話および通信モジュールの契約数、解約数および機種変更数を含めて算出
 ※2. 解約率(3Gポストペイド)は通信モジュールの契約数および解約数を含めて算出

解約率詳細 (FY11/Q2)

<移動体>

■機種変更経験の有無で大きな差

3Gポストペイド解約率 (FY11/Q2)
<機種変更経験の有無別>



※3Gポストペイド解約率：通信モジュールを契約数および解約数に含めて算出

※SBM：ソフトバンクモバイル

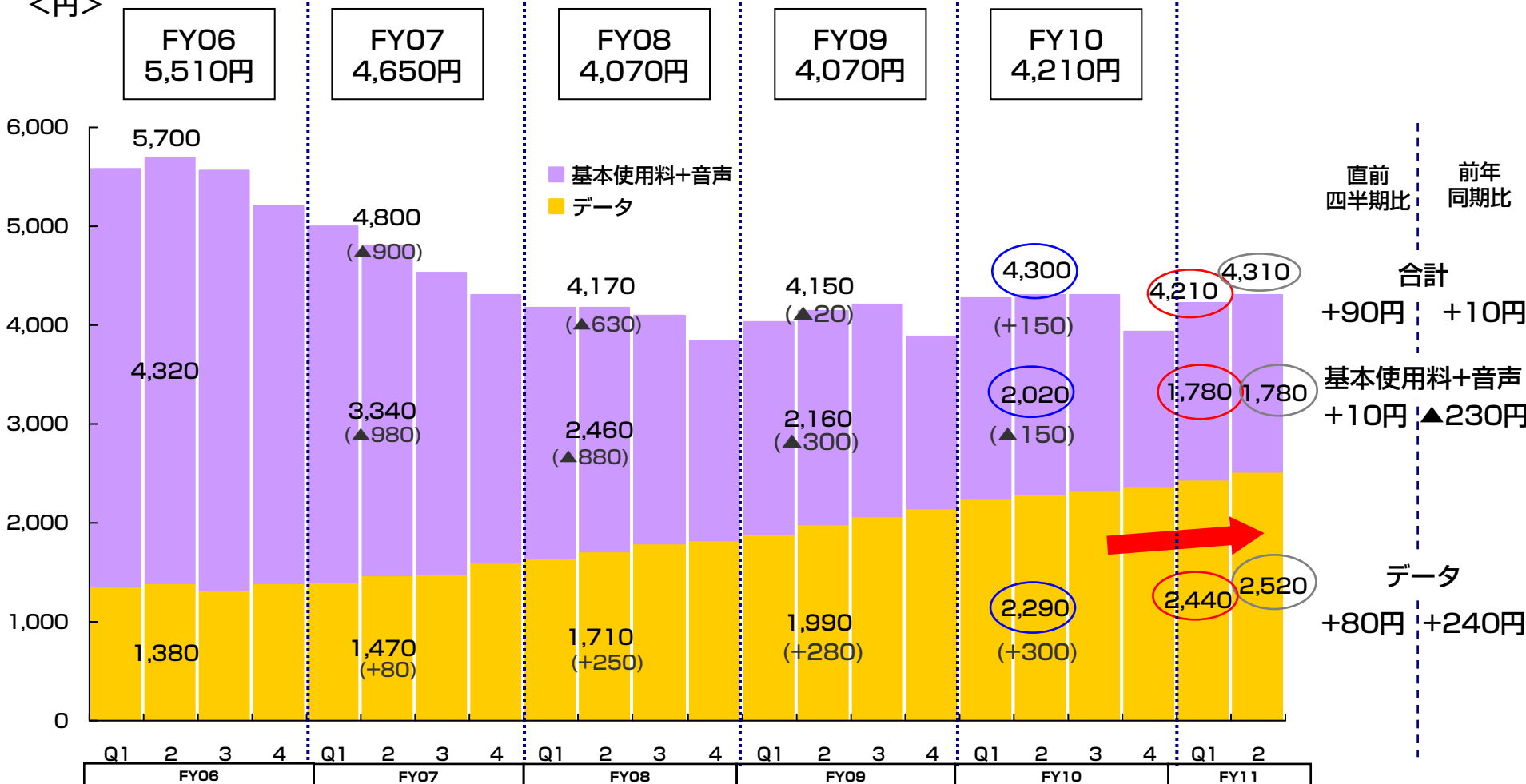
ARPU (1契約あたり平均収入)

<移動体>

■直前四半期比：90円増加、データは80円増加

■前年同期比：10円増加、データは240円増加、AC値下げ影響100円

<円>



※ ARPU (Average Revenue Per User)：1契約当たりの平均収入 (10円未満を四捨五入して開示)。収入および契約数にはプリペイド式携帯電話および通信モジュールを含む
ARPU=基本使用料+月額使用料+通話料・通信料など-月月割 (新スーパーボーナス特別割引)。「ARPU」と記載する場合は「基本使用料+音声 ARPU」と「データ ARPU」の合計値
なお、FY08およびFY09の四捨五入前の年間ARPUは、それぞれ4,065円および4,068円

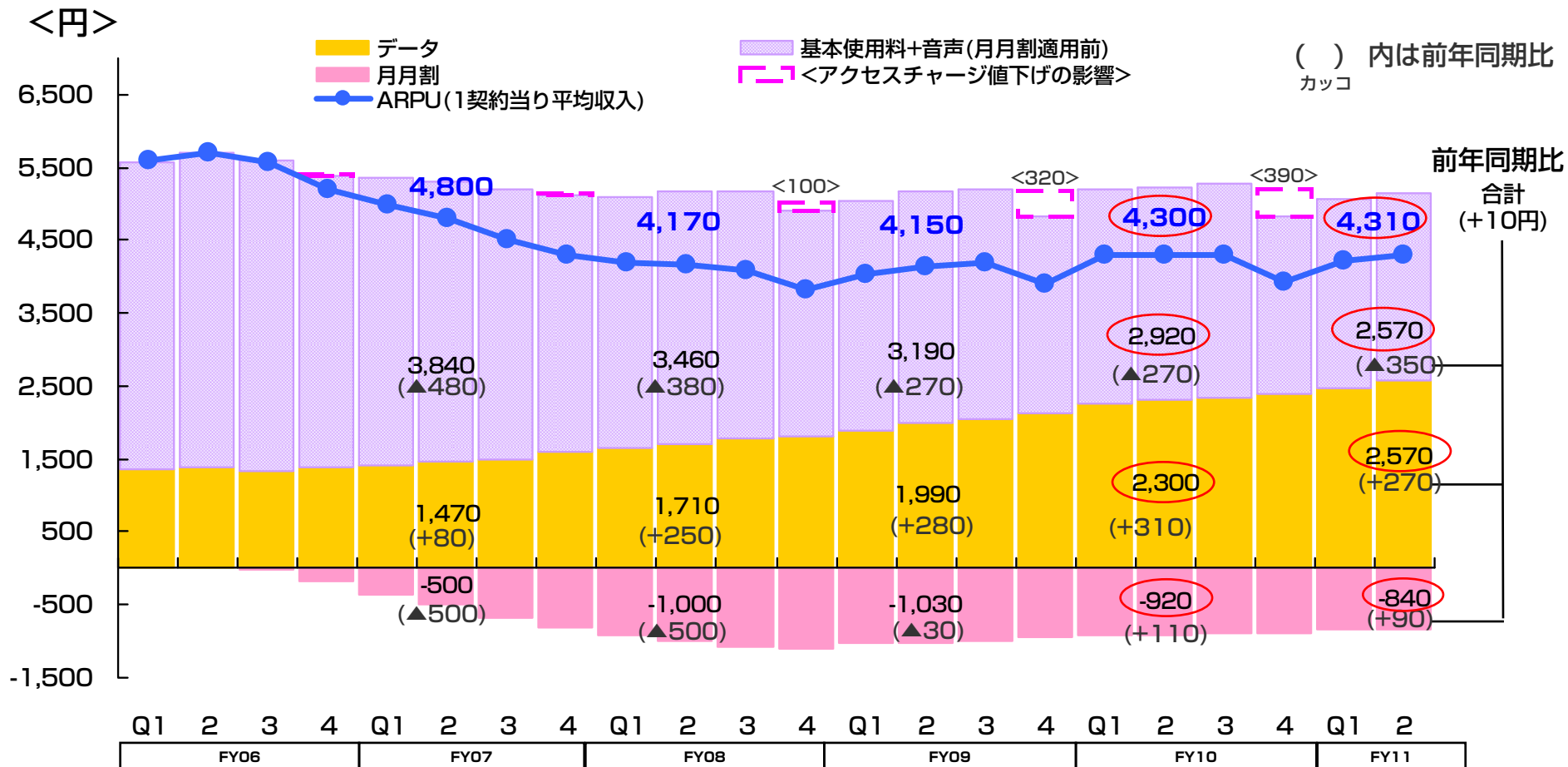
(参考) 月割の影響

ARPU (1契約当たりの平均収入)

<移動体>

(月割別記)

■ 前年同期比：基本使用料+音声 ▲350円、データ +270円、月割の影響 +90円

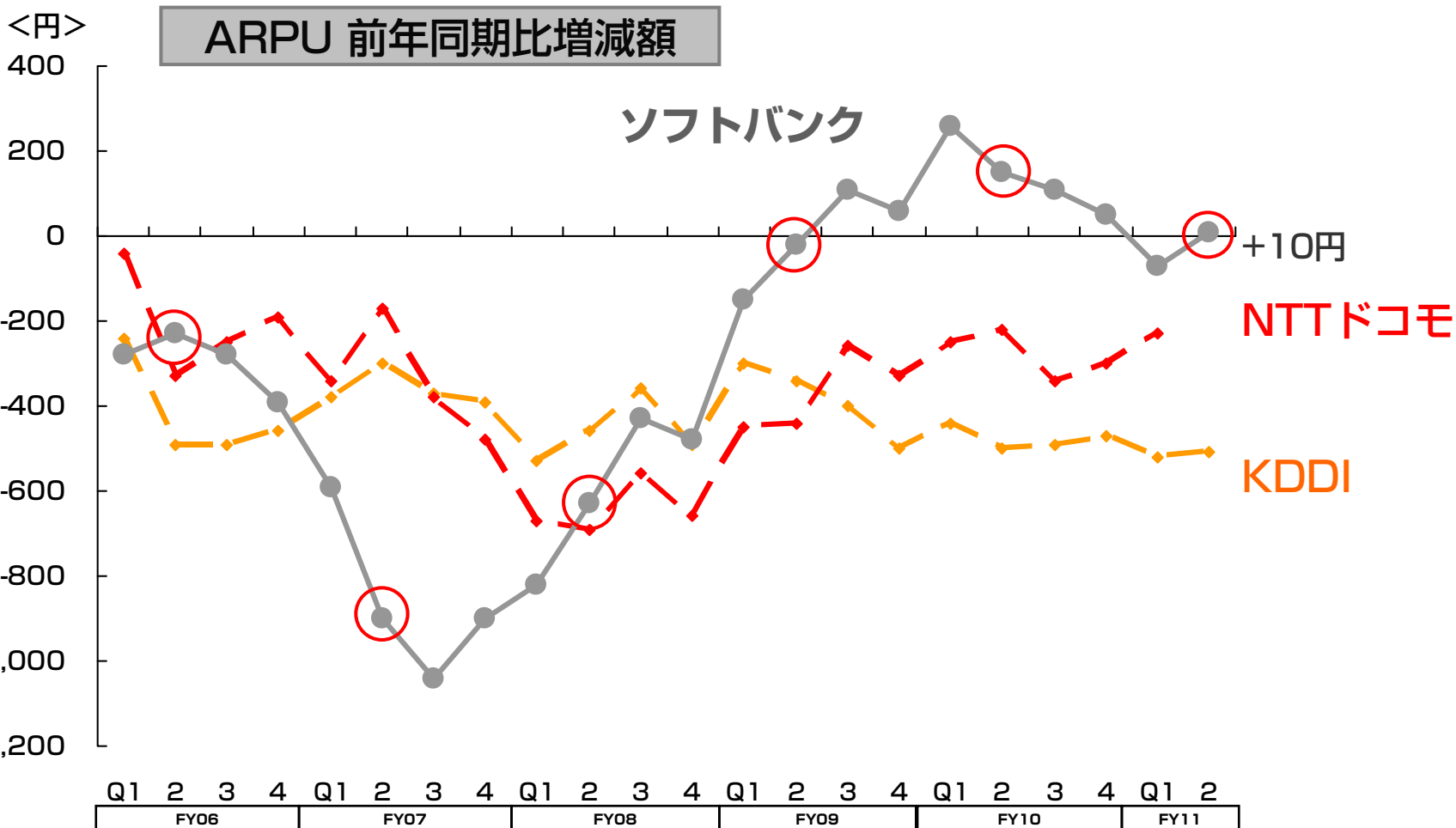


※ARPU (Average Revenue Per User)：1契約当たりの平均収入(10円未満を四捨五入して開示)。収入および契約数にはプリペイド式携帯電話および通信モジュールを含む
 ARPU=基本使用料+月額使用料+通話料・通信料など-月割(新スーパーボーナス特別割引)「ARPU」と記載する場合は「基本使用料+音声 ARPU」と「データ ARPU」の合計値
 基本使用料+音声(月割適用前)は基本使用料+音声 ARPUから月割の割引額を差し引く前の金額
 アクセスチャージ値下げの影響：事業者間接続料金の改定による値下げの影響(各期の12ヵ月分)を一括して表示

ARPU(1契約当たりの平均収入)増減

<移動体>

■前年同期比10円の増加。(アクセスチャージ値下げによる影響100円を吸収)

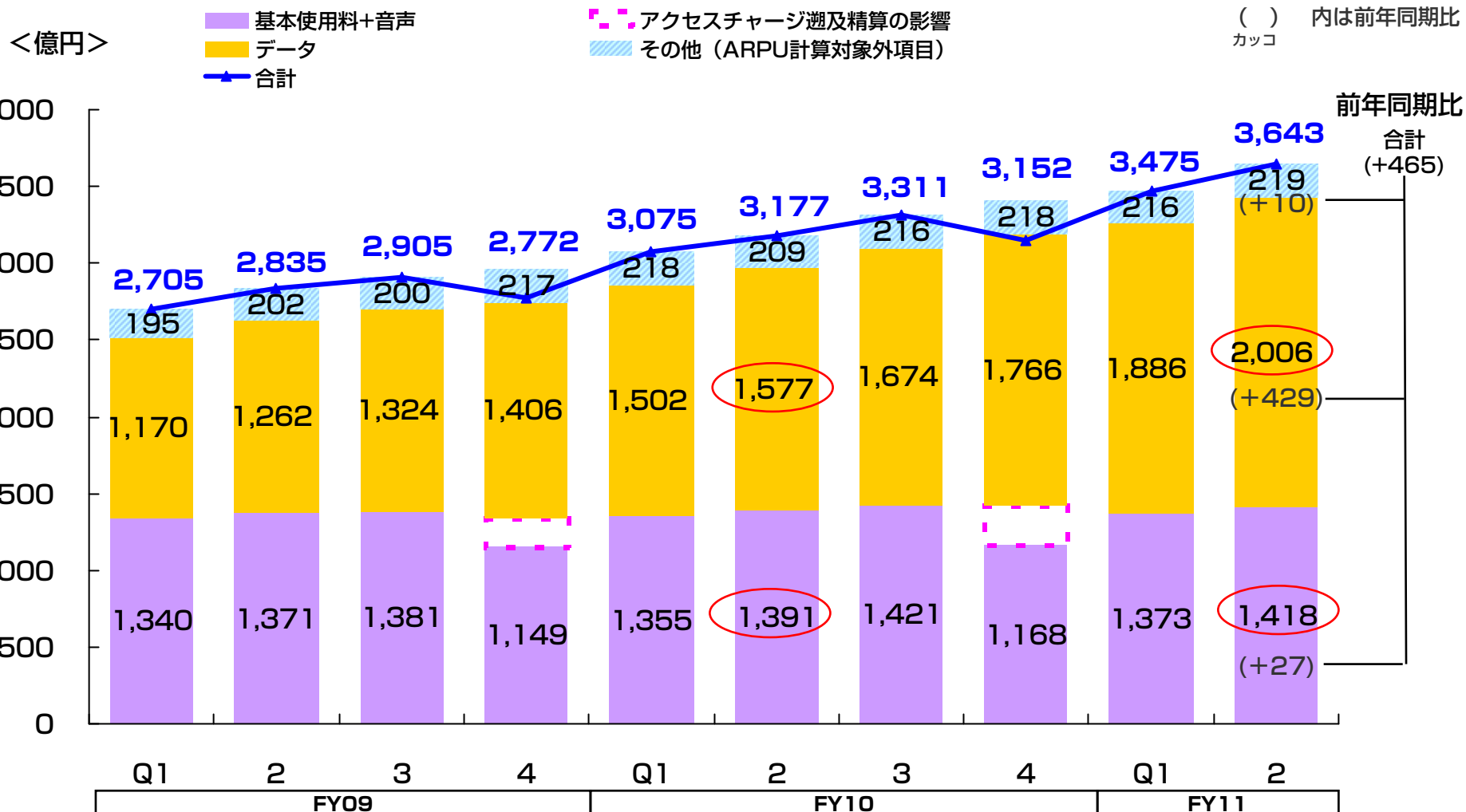


※ ARPU (Average Revenue Per User : 1契約当たりの平均収入 (10円未満を四捨五入して開示)。収入および契約数にはプリペイド式携帯電話および通信モジュールを含む
 ARPU=基本使用料+月額使用料+通話料・通信料など一月月割 (新スーパーボーナス特別割引) 「ARPU」と記載する場合は「基本使用料+音声 ARPU」と「データ ARPU」の合計値
 ※各社の開示資料を基に当社作成

SBM通信料収入の推移

<移動体>

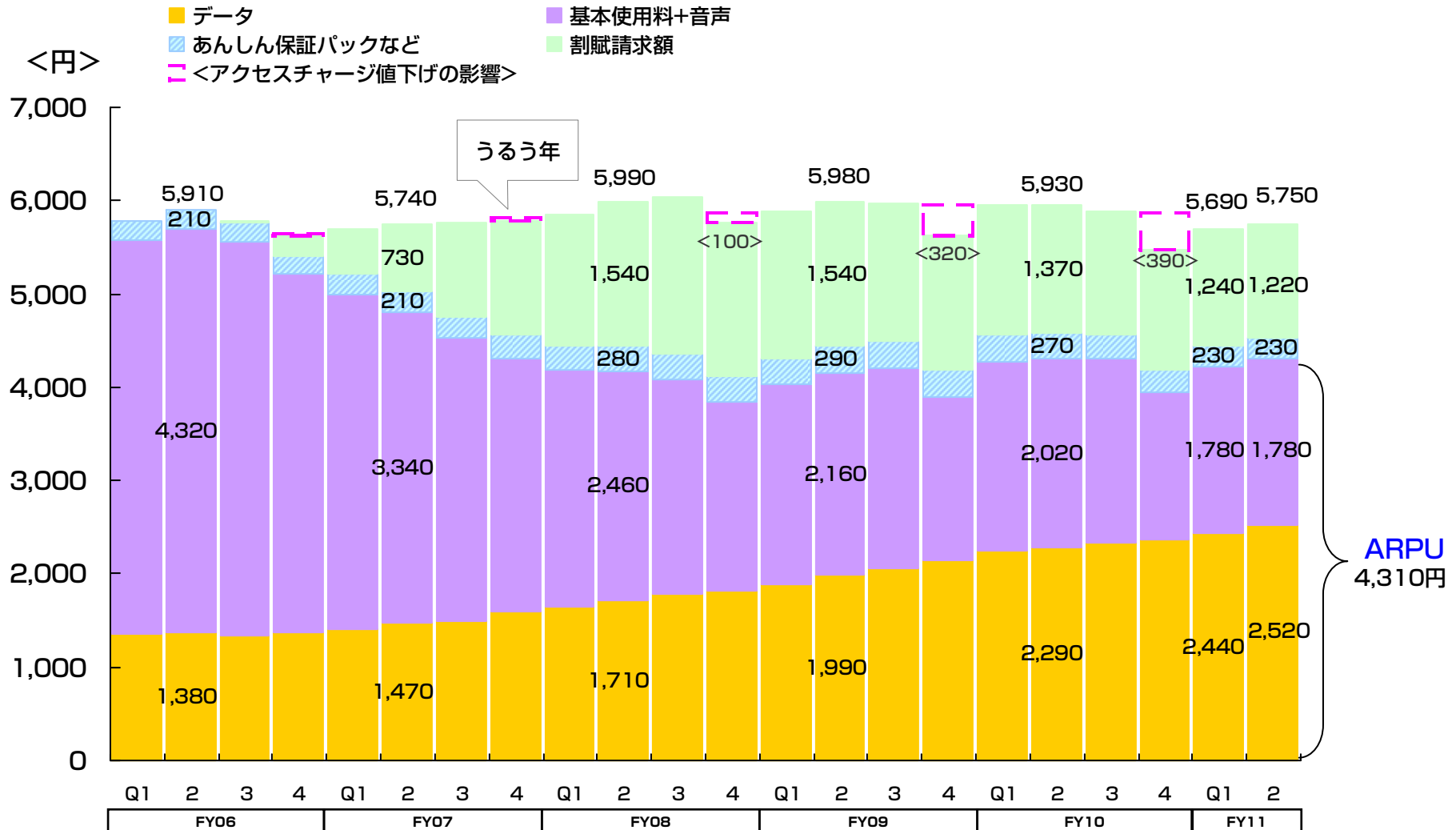
■音声(基本使用料含む)は安定推移。データが電通収益(通信料売上)の増加を牽引。



1 契約当たり現金収入(割賦請求額含む)

<移動体>

1 契約当たり現金収入は割賦満期あけの影響等で減少

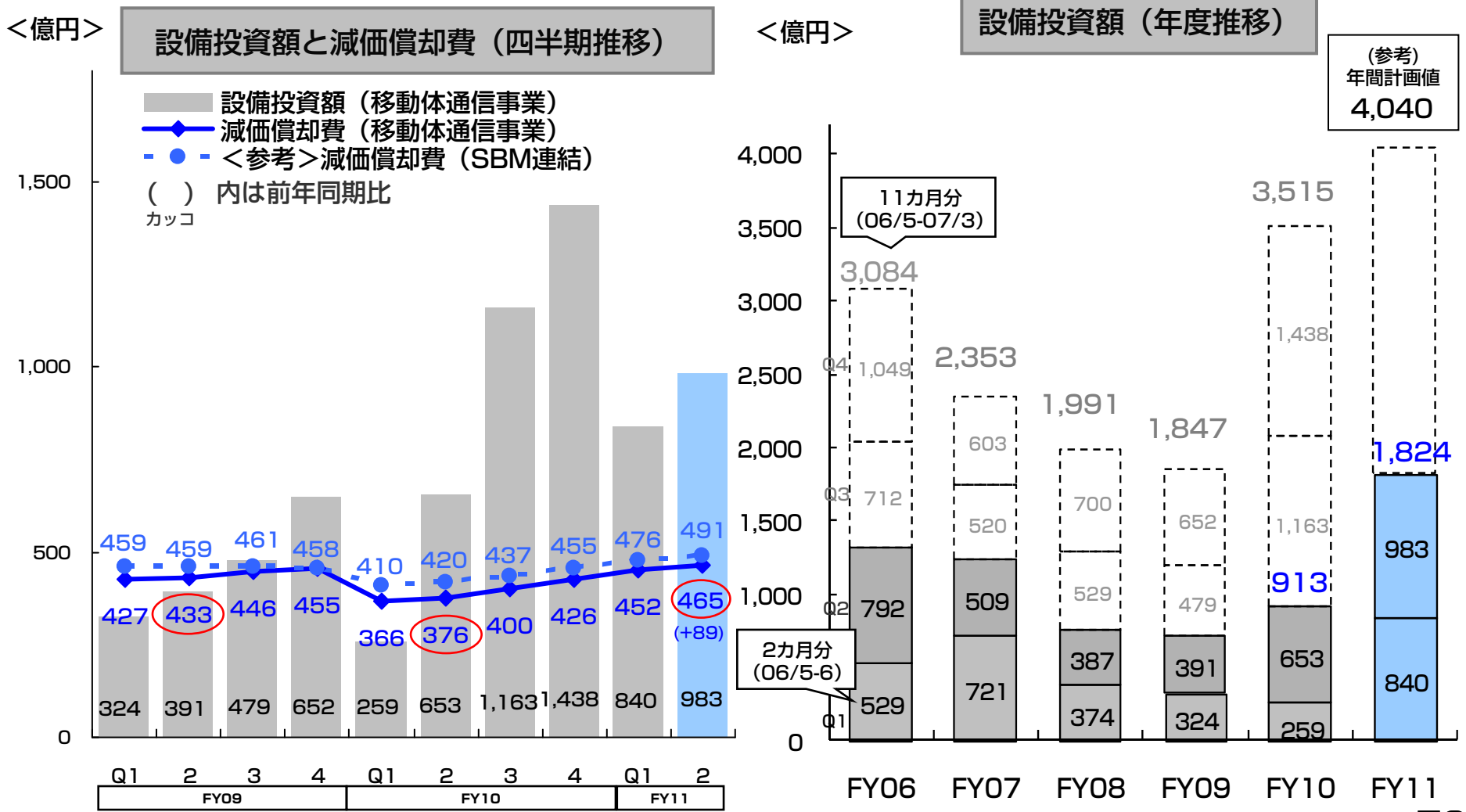


※1 契約当たり現金収入=ARPU (基本使用料+音声 ARPU+データ ARPU) + 端末割賦請求分+あんしん保証パックなど (10円未満を四捨五入して開示)
 アクセスチャージ値下げの影響: 事業者間接続料金の改定による値下げの影響 (各期の12ヵ月分) を一括して表示

設備投資 (検収ベース)

<移動体>

■年間計画は4,040億円(Q1-2進捗率45.2%)、減価償却は上昇傾向



※セグメント別業績について：新基準の適用に伴い、2009年度の業績は新基準が適用されていたと仮定して算出した数値を表示

SBM：ソフトバンクモバイル、SB：ソフトバンク

新スーパーボーナス加入率

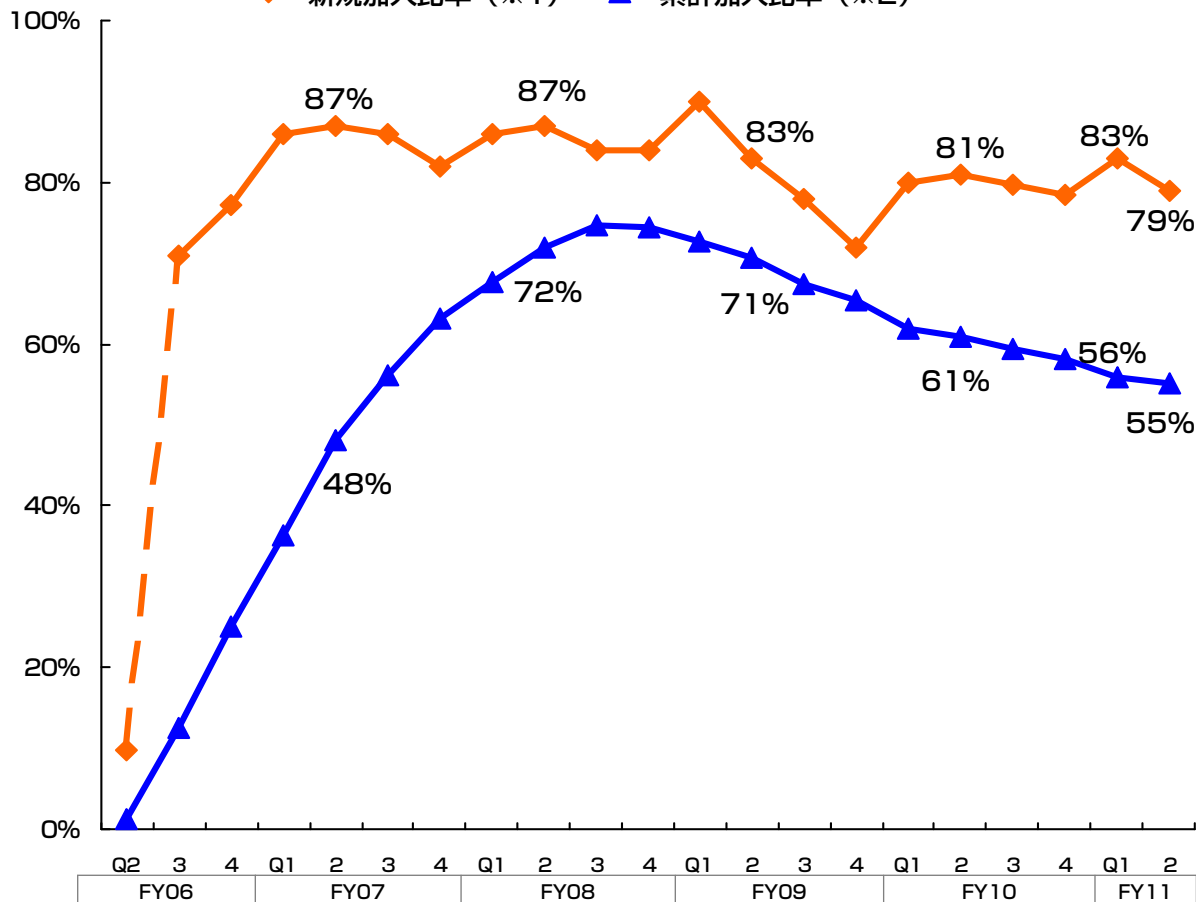
<移動体>

■加入率は80%前後で安定推移。累計加入率は割賦満期あけの影響等で減少傾向

新スーパーボーナス加入率

(スーパーボーナスを含む)

◆ 新規加入比率 (※1) ▲ 累計加入比率 (※2)



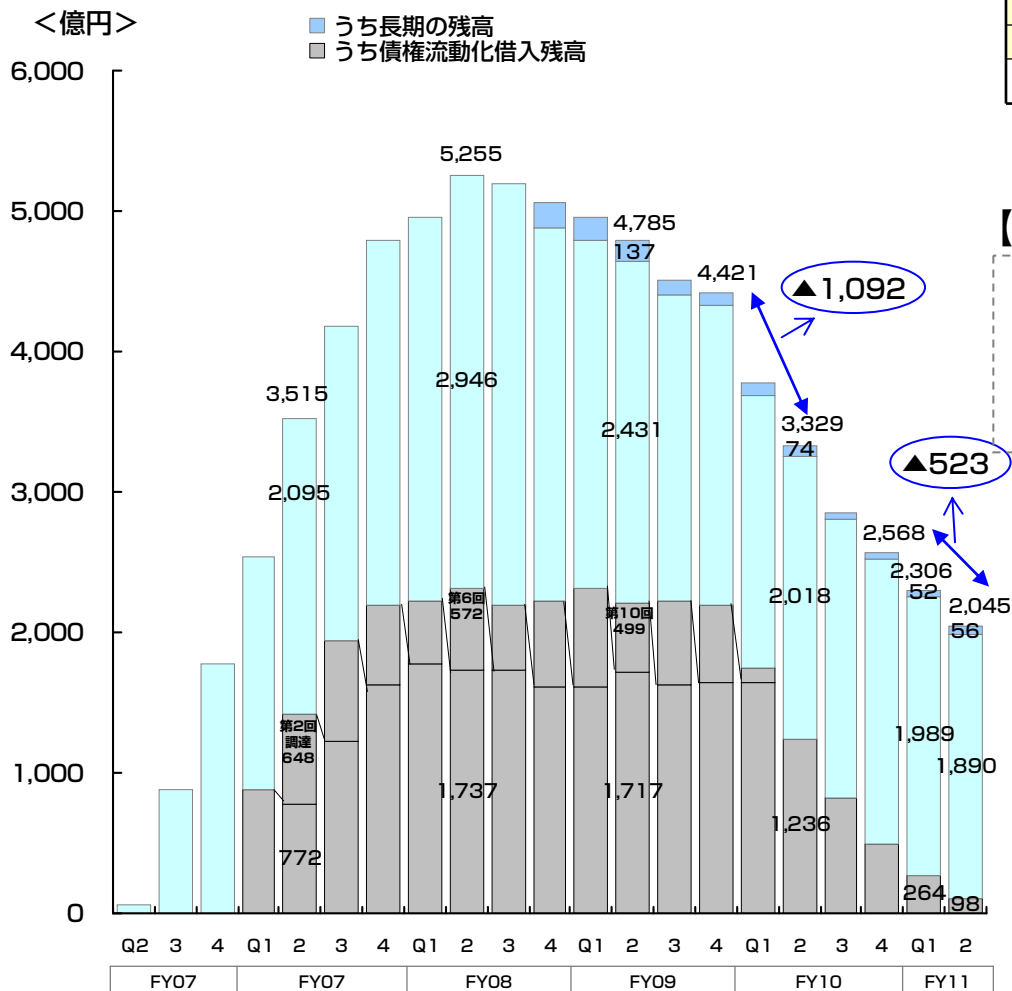
※1. 新規加入比率=期中の新規契約数(ポストペイド)および機種変更件数に占める新スーパーボーナス加入比率
 ※2. 累計加入比率=ポストペイド契約数に占める新スーパーボーナス契約数(月月割が終了した契約を除く)の比率

割賦債権残高

<移動体>

■割賦債権売却を継続。営業CFへのインパクトは減少の傾向

割賦債権残高



<参考> 割賦債権売却額

(億円)

FY09			FY10				FY11	
Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2
103	103	-	557	579	633	628	629	601

1,231

【割賦債権の増減と営業CFの関係】

(億円)

① 当期発生	+1,724		
② 当期回収	▲1,016	⑤ 売却なしの場合	▲1,835
③ 当期売却	▲1,231	⑥ 売却影響(累積)	+818
④ 計	▲523	計	▲1,016

SB連結
営業CF : +523億円
(前年同期 : +1,092億円)

【売却の影響】

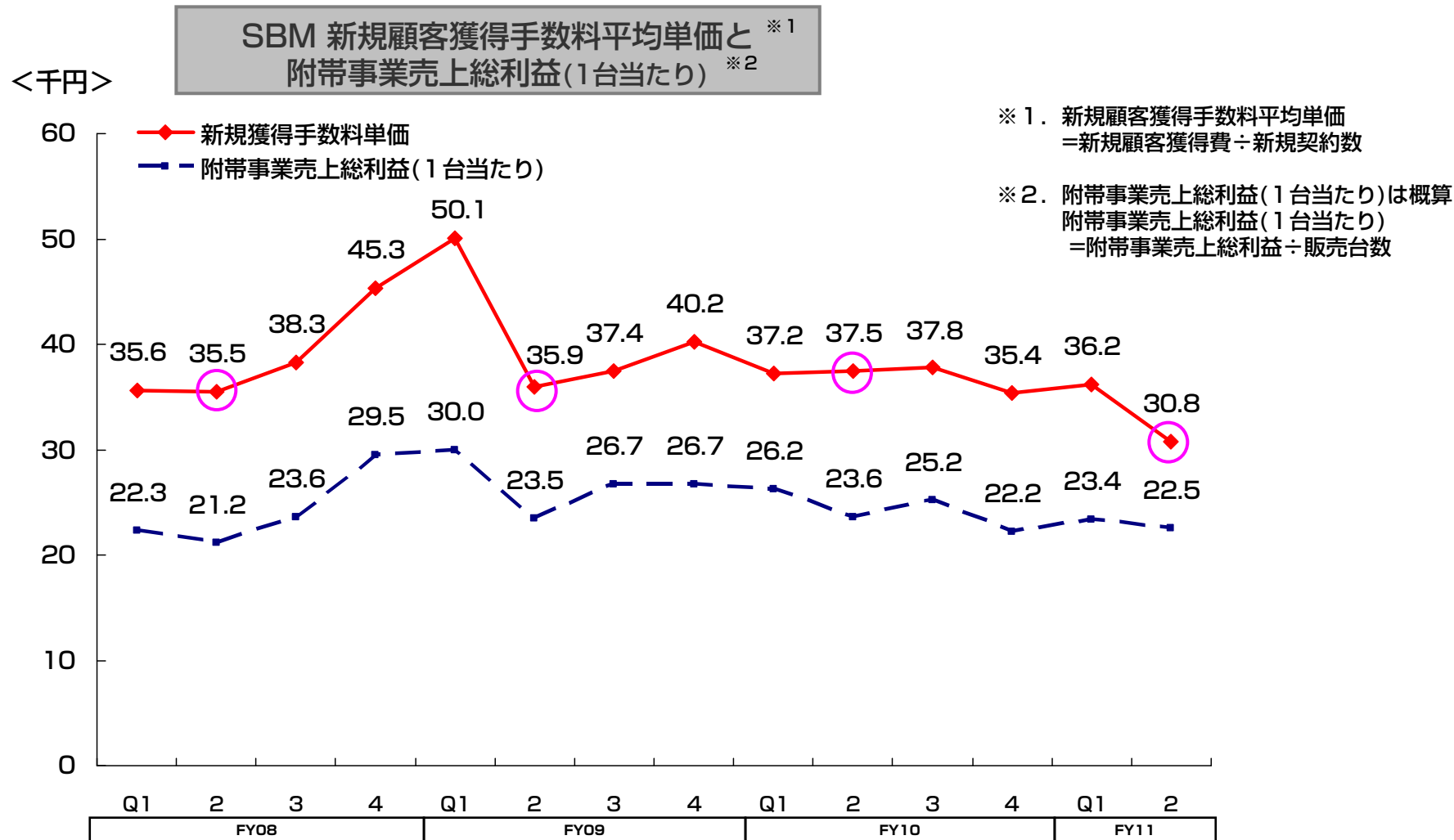
(億円)

売却(上記③)	+1,231	
回収(上記⑥)	▲818	… 売却の影響で増加傾向
計	413	… ⑥の影響で減少傾向

新規顧客獲得手数料と附帯事業売上総利益

<移動体>

■新規顧客獲得手数料単価は、商品の販売構成比率の変化により減少



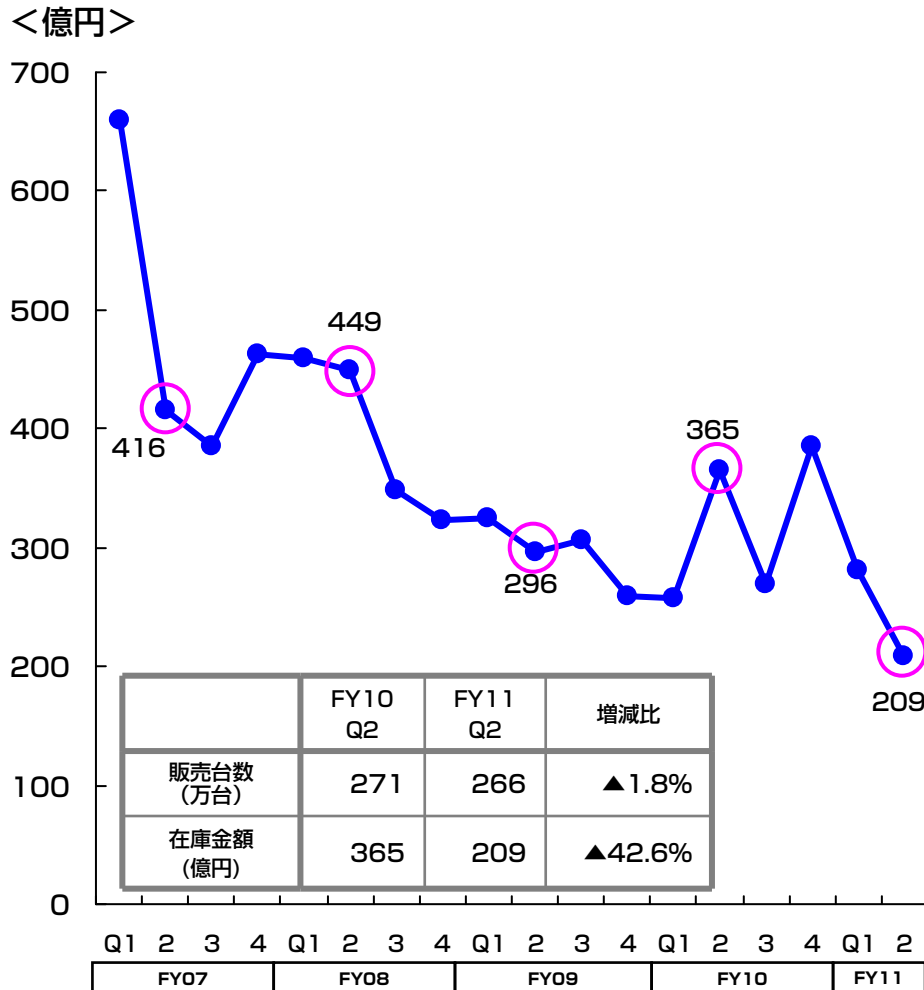
※新規契約数にはプリペイド式携帯電話および通信モジュールを含む
販売台数：新規契約数と機種変更数の合算値
SBM：ソフトバンクモバイル

経営の効率化推進

<移動体>

在庫は過去最低の水準

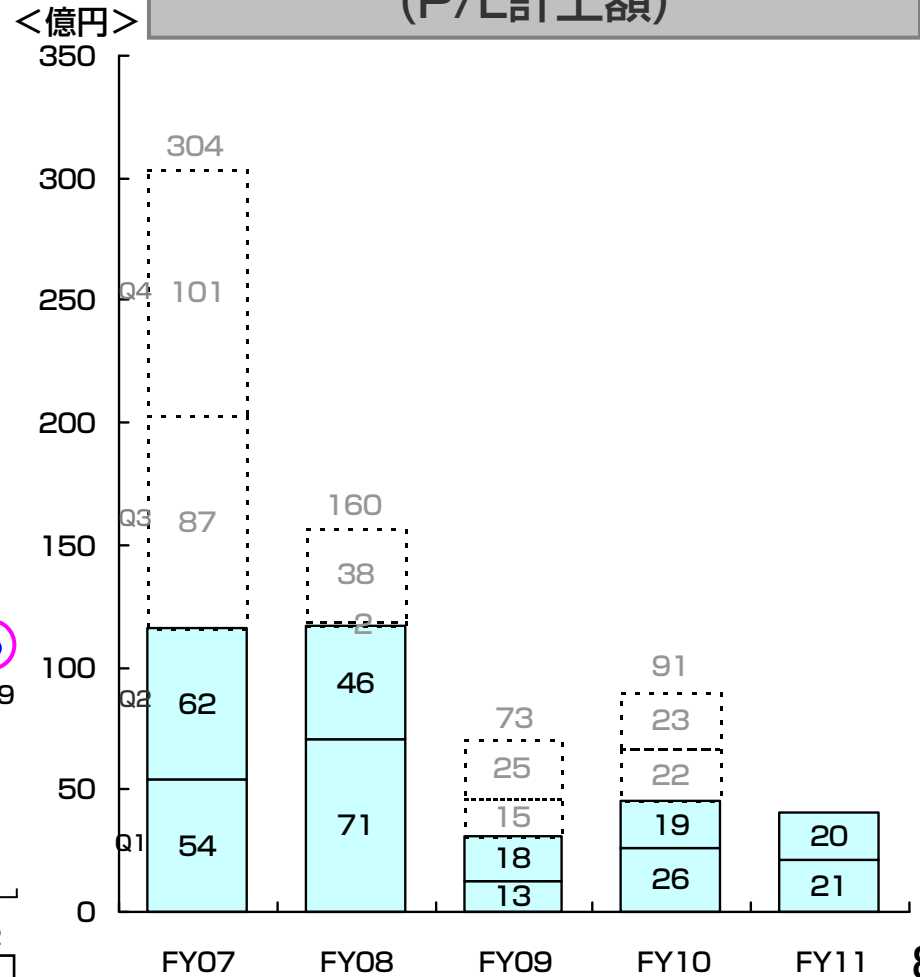
SBM 在庫金額(B/S計上額)



※ 販売台数：新規契約数と機種変更数の合算値 SBM：ソフトバンクモバイル

貸倒関連費用は堅調に推移

SBM 割賦債権貸倒関連費用推移 (P/L計上額)





- 本資料に掲載されている会社名、ロゴ、製品名、サービス名およびブランドなどは、ソフトバンク株式会社または該当する各社の登録商標または商標です。
- 本資料の一部あるいは全体について、当社の許可なく複製および転載することを禁じます。